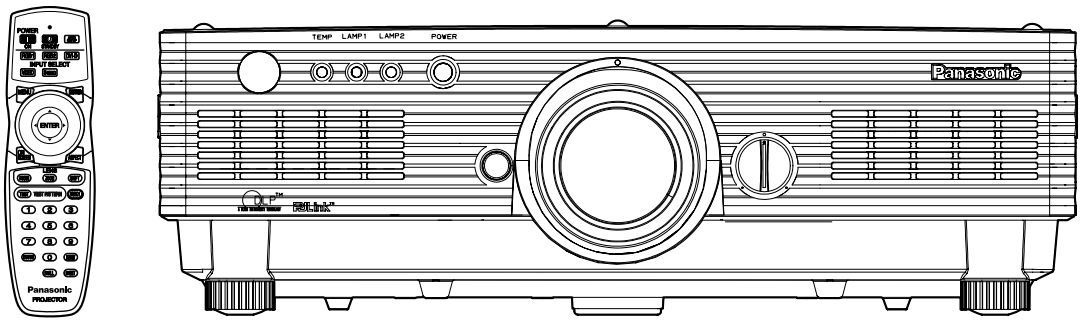
Panasonic

取扱説明書

高輝度DLP™方式プロジェクター　業務用

品番 PT-D5700
PT-D5700L
PT-DW5100
PT-DW5100L



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この説明書はPT-D5700（レンズ付）、PT-D5700L（レンズ別売）、PT-DW5100（レンズ付）、PT-DW5100L（レンズ別売）共用の取扱説明書にしています。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（4〜7ページ）、「取り扱い上の留意点」（8ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。
  お買い上げの際は製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

TQBH0180-1

もくじ　安全上のご注意を必ずお読みください。(4〜7ページ)

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・4

付属品の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
取り扱い上の留意点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
運搬上の留意点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
設置に関する留意点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
廃棄について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
使用上の注意点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
お掃除とお手入れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
各部の名前と働き ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
リモコン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
本体前面・側面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
本体後面・後面操作部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
側面接続端子部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

投写する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
電源を入れる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
調整・選択をする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
電源の切りかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
ダイレクトパワーオフ機能について ・・・・・・・・・・23
投写レンズの取り付け／取り外しかた ・・24
投写レンズの取り付けかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・24
投写レンズの取り外しかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・24
レンズ調整のしかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
フォーカス、ズーム、シフト調整のしかた ・・・・24
レンズ位置左右調整のしかた ・・・・・・・・・・・・・・・25
ステータス機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
オートセットアップ(AUTO SETUP)機能について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
シャッター(SHUTTER)機能を使う ・・・・25
オンスクリーンメニューについて ・・・・・・26
メニュー画面一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
メニュー画面の基本操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
前の画面に戻すには ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
メニュー画面の項目の黒色文字表示について ・・27
メニュー画面の表示について ・・・・・・・・・・・・・・・27
調整値を工場出荷状態に戻す ・・・・・・・・・・・・・・・27

オプション1の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
カラーマッチング ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
測定器を用いたカラーマッチング ・・・・・・・・・・・・33
カラーコレクション ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
コントラストモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
入力自動セットアップ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
バックカラー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
スタートアップロゴ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
サブメモリー一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
DVI EDID ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
DVI信号レベル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
FUNC1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
オンスクリーン位置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
OSDメモリー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
オプション2の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
プロジェクターID ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
設置設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
ファン制御 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
設置角度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
ランプ選択 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
ランプリレー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
ランプ出力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
RS-232C ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
システム情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
オートパワーオフ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
日付と時刻 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
パスワード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
テストパターンの表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
内蔵テストパターンの表示チャート ・・・・・・・・・・38
ネットワークの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
ネットワーク機能の設定を工場出荷状態に戻す ・・39
パソコンの接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
必要なシステム構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
接続例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39

モニター部の表示について ・・・・・・・・・・・・・・52
エアーフィルターの清掃と交換 ・・・・・・・・53
清掃手順 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
ランプユニットの交換 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・54
ランプユニットの交換時期 ・・・・・・・・・・・・・・・・54
ランプユニットの交換手順 ・・・・・・・・・・・・・・・・55
天つり金具取り付け時の注意事項 ・・・・・・56

リモコンの使いかた ……14
乾電池の入れかた ……14
リモコンの有効操作範囲 ……14
リモコンのIDナンバーを指定する ……15
ケーブルで本体と接続して使う ……15

設置する ……16
投写方式 ……16
投写関係 ……16
投写レンズごとの投写距離 ……17
投写レンズ別投写距離計算式 ……19

接続する ……20
接続する前に ……20
AV機器との接続例 ……21
パソコンとの接続例 ……21

映像の調整 ……28
映像モード ……28
ピクチャー ……28
黒レベル ……28
色の濃さ ……28
色あい ……28
色温度設定 ……28
白ゲイン ……28
システムデイライトビュー ……28
シャープネス ……29
ノイズリダクション ……29
AI ……29
システムセレクター ……29

ポジションの調整 ……29
シフト ……29
アスペクト ……29
ズーム ……30
クロックフェーズ ……30
台形補正 ……30

アドバンスドメニュー ……30
デジタルシネマリアリティー ……30
ブランキング ……30
入力解像度 ……31
クランプ位置 ……31
エッジブレンディング ……31
ラスターポジション ……32
XGAモード ……32
SXGAモード ……32

表示言語の切り換え ……32

Webブラウザコントロールを使用する ‥40
Webブラウザからのアクセスのしかた ……40
パスワード変更ページ ……40
基本制御ページ ……41
詳細制御ページ ……41
モニター情報ページ ……42
エラー情報ページ ……42
Eメール設定ページ ……43
認証サーバー設定ページ ……45
DNSサーバー設定ページ ……45
接続テストページ ……45
送信するメール内容 ……46
時刻設定ページ ……46
IPアドレス設定ページ ……47
ネットワーク情報ページ ……47

PJLink™プロトコルを使用する ……48
対応コマンド ……48
PJLink™セキュリティ認証 ……48

セキュリティの設定 ……49
パスワード入力 ……49
パスワード変更 ……49
表示設定 ……49
テキスト変更 ……49
操作設定 ……49

シリアル端子を使う ……50
接続例 ……50
ピン配列と信号名 ……50
通信条件 ……50
基本フォーマット ……50
制御コマンド ……51
ケーブル仕様 ……51

リモート2端子を使う ……51

修理を依頼される前に ……57
仕様 ……58
対応信号リスト ……60

保証とアフターサービス ……61
外形寸法図 ……62
設置寸法図 ……62

安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

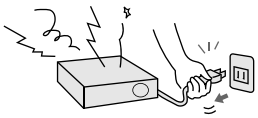
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下表は絵表示の一例です）

⚠	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

⚠警告

■煙やへんな臭いや異音がしたら電源プラグを抜く

電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですからおやめください。

■天井取り付け(天つり)などの設置工事は専門の技術者に依頼する

工事の不備があると事故の原因となります。
- 指定された機種専用の天つり金具を使用ください。
  付属のワイヤーで落下防止の処置を行ってください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100 V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

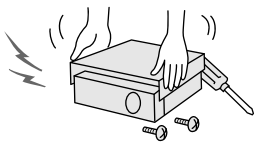
■使用中は投写レンズをのぞかない

禁止

投写レンズからは強い光が出ます。
直接、中をのぞくと目を痛める原因となります。
- 特に小さなお子様にはご注意ください。
  また、本機から離れる場合は主電源を切ってください。

■カバー、ケースを外したり、改造したりしない

分解禁止



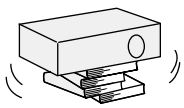
内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

⚠警告 高圧注意
サービスマン以外の方はケースをあけないでください。
内部には高電圧部分が数多くあり万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」
- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない

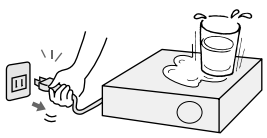
禁止



強度が弱い所や不安定な場所に設置すると、落下などで大きな事故やけがの原因となります。

■内部に異物や水などが入ったり、落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く



火災・感電の原因となります。
- 修理は販売店にご依頼ください。

⚠警告

■上に水などが入った容器を置かない 水をかけたり、ぬらしたりしない

禁止

水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

●水が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。

■異物を入れない

禁止

内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。

■同梱の電源コード以外は使用しない 同梱の電源コードは本機以外使用しない

禁止

感電の原因になります。

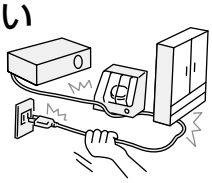
■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

禁止



傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。

●傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

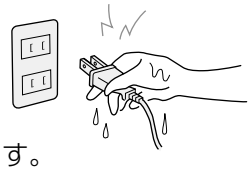
■電源プラグのほこりは定期的に掃除をする

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

●長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

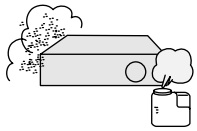
ぬれ手禁止



感電の原因となります。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない

禁止



火災・感電の原因となることがあります。
また、油により樹脂が劣化し、天つり設置のときに落下する恐れがあります。

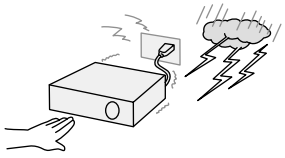
■カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しない

禁止

内部に熱がこもり本機の故障、火災ややけどの原因となることがあります。

■雷が鳴り出したら、本機やケーブルに触れない

接触禁止



感電の原因となります。

■排気孔には手や物を近づけない

禁止

排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

●周辺の壁や物から50 cm以上離して設置してください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠警告

■電池は誤った使い方をしない

液もれ・発熱・破裂・発火の原因となります。

禁止

- 乾電池は分解しない。
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない。
- ＋と－を針金などで接続しない。
- 金属製ネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない。
- ＋と－を逆に入れない。
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない。
- 被覆のはがれた電池は使わない。
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない。
- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

■電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるのできれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

■使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

- そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

■ランプ交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く

感電や破裂の原因となります。

電源プラグを抜く

■ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1時間以上待って）行う

カバー内部がかなり熱く、やけどの原因になります。

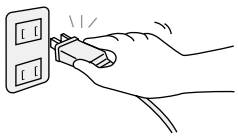
■ランプユニットを分解しない

ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。

禁止

⚠注意

■電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずプラグを持って抜く



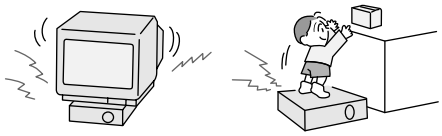
コードをひっぱるとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

■移動させる場合は、必ず接続線を外す

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■本機の上にセットや重い物を載せたり、乗ったりしない

禁止



バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
セットが破損したり、変形の原因になることがあります。

■放熱を妨げない

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 押し入れ、本棚など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- 布や紙などの上に置かないでください。吸気孔に吸着する場合があります。

⚠注意

■ランプが破裂したときは、直ちに換気を行い、触ったり、顔を近づけない

散乱したガラス片でけがをしたり、破裂により発生したガス（蛍光灯程度の水銀を含有）を吸い込んでしまう恐れがあります。

- 万が一吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合は直ちに医師にご相談ください。
- 販売店にランプの交換と内部の点検を依頼ください。

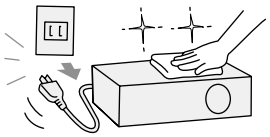
■長時間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く



感電の原因となることがあります。

■レンズシフト動作中はレンズ周辺の開口部に手を入れない

指に注意

レンズシフト動作中にレンズ周辺の開口部に手を入れないでください。手をはさみけがの原因となることがあります。

■1年に1度は内部の清掃を販売店に依頼する

本機の内部にほこりがたまったまま、長い間清掃しないと火災の原因となることがあります。

- 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。販売店にご依頼ください。なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

■長時間ご使用にならないときはリモコンから電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

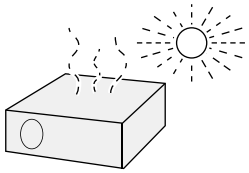
■古いランプユニットは使用しない

禁止

破裂する場合があります。

■異常に温度が高くなるところに置かない

禁止

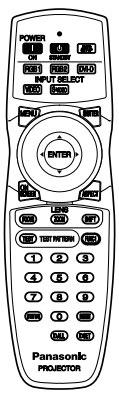
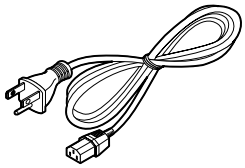
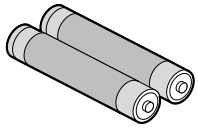
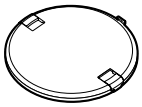


外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

付属品の確認

以下の付属品が入っていることをご確認ください。

リモコン　1個 [N2QAYB000164] 	電源コード　1本 [K2CG3FH00015] 	リモコン用 単3形乾電池　2個 	レンズキャップ 1個 [TKKL5244-1] 	天吊用落下防止具 [TTRA0146] ワイヤーロープ　1本 ワイヤー止めM6ねじ （首下長さ：10 mm） 1本

取り扱い上の留意点

■ 運搬上の留意点

運搬時は必ずレンズキャップをかぶせてください。
本機および投写レンズは振動や衝撃に対して影響を受けやすい精密機器です。運搬時はお買い上げ時の箱に入れ、振動や衝撃を与えないようご留意ください。

■ 設置に関する留意点

本機の設置については下記の事項を必ずお守りください。

● 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください

動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両・船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

● 動作中に移動させたり、振動や衝撃を与えたりしないでください

内蔵されているモーターの寿命を早める恐れがあります。

● 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください

高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

● ビニールシートやじゅうたんの上には設置しないでください

エアーフィルター部にビニールシートなどがはり付き、本機内部温度が上昇するため保護回路が働き、電源が切れる場合があります。

● 本機を天井に取り付ける場合は必ず専門の技術者にご依頼ください

天井からつり下げて設置される場合は、別売の天つり金具（高天井用品番：ET-PKD56H)、(低天井用品番：ET-PKD55S）をお買い求めください。取り付け工事は、専門の技術者もしくは購入店にご依頼ください。

● 本機を底面を除く部分で支えるような設置は行わないでください

● 海抜2 700 m以上の場所に設置しないでください
また海抜1 400 m以上でご使用になるときは、36ページの「ファン制御」を「高地」に設定してください

そのまま使用すると、製品の寿命に影響する恐れがあります。海抜2 700 m以上の場所でご使用の場合は販売店にご相談ください。

● レンズフォーカスに関して

スイッチオン直後（およそ30分以内）はレンズフォーカス調整をしないでください。
高輝度プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響でスイッチオン直後フォーカスが安定しません。
レンズフォーカス調整をされる場合は30分以上のエージングを行い調整してください。エージングを実施せずにフォーカス調整を実施した場合はフォーカスズレの原因となります。

■ 廃棄について

本機を廃棄する場合は、販売店に依頼するか専門の業者に依頼してください。

■ 使用上の注意点

● 美しい映像をご覧いただくために

- スクリーン面に外光や照明などの光が入ると、ハイコントラストで美しい映像を見ることができません。窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの配慮をしてください。
- 使用環境によっては排気孔からの熱せられた空気やエアコンの影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。排気孔付近の遮蔽物やエアコンの風向きなどに配慮してください。

● 投写レンズ面は素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れがつくと、拡大されてスクリーンに映りますのでレンズ面には手をふれないでください。また本機を使用されないときは、付属のレンズキャップを取り付けてください。

● ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプには次のような特性があります。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって寿命に大きなバラツキがあります。特に頻繁な電源オン／オフの繰り返しは、寿命に大きな影響を及ぼします。
- ごくまれに使用後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を越えると破裂の可能性が高くなります。
- 破裂したときには内部のガスが噴出し、煙のように見えることがあります。
- **24時間以上連続で使用する場合はランプの劣化が早くなります。ランプリレー機能を使用することで、連続使用による劣化を軽減することができます。**

注意

パソコンや外部機器に接続する際、シールドされたインターフェースケーブルを使用してください。

お掃除とお手入れ

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットはやわらかい乾いた布で

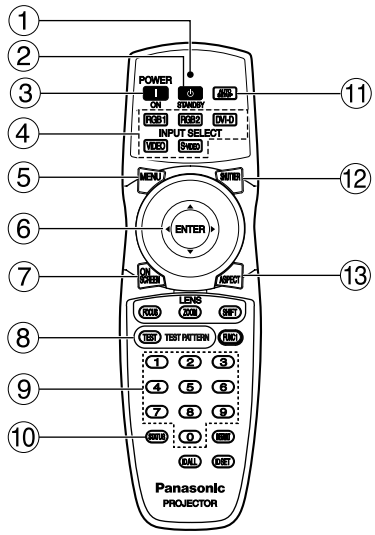
汚れがひどいときは水で薄めた台所用洗剤（中性）にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。

レンズ面は毛羽だつ布やほこりのついた布でふかないでください

レンズにゴミやほこりが付着しますとスクリーン面へ、ゴミやほこりが拡大されて映ります。
やわらかいきれいな布でふいてください。

各部の名前と働き

リモコン



① **リモコン操作表示ランプ**
リモコンボタンを押すと点滅します。

② **電源スタンバイ(⏻)ボタン(23ページ)**
本体の主電源(MAIN POWER)が「｜」側のとき、電源を「スタンバイ」にします。

③ **電源入(｜)ボタン(22ページ)**
本体の主電源(MAIN POWER)が「｜」側のとき、電源を「入」にします。

④ **入力切り換え(RGB1、RGB2、DVI-D、VIDEO、S-VIDEO)ボタン**
RGB1、RGB2、DVI-D、VIDEO、S-VIDEOの入力切り換えができます。

⑤ **メニュー(MENU)ボタン(27ページ)**
メインメニューを表示したり、消したりします。メニューが表示されているときは1つ前の画面に戻したりすることができます。

⑥ **▲ ▼ ◀ ▶ ボタン(27ページ)**
メニュー画面の項目の選択や、設定の切り換え、およびレベルの調整ができます。
また、「セキュリティ」のパスワード入力にも使用します。
エンター(ENTER)ボタン(27ページ)
メニュー画面の項目の決定や実行をすることができます。

⑦ **オンスクリーン(ON SCREEN)ボタン**
オンスクリーン表示機能を「入」「切」します。

⑧ **テストパターン（TEST PATTERN）ボタン(38ページ)**
テストパターンを表示します。

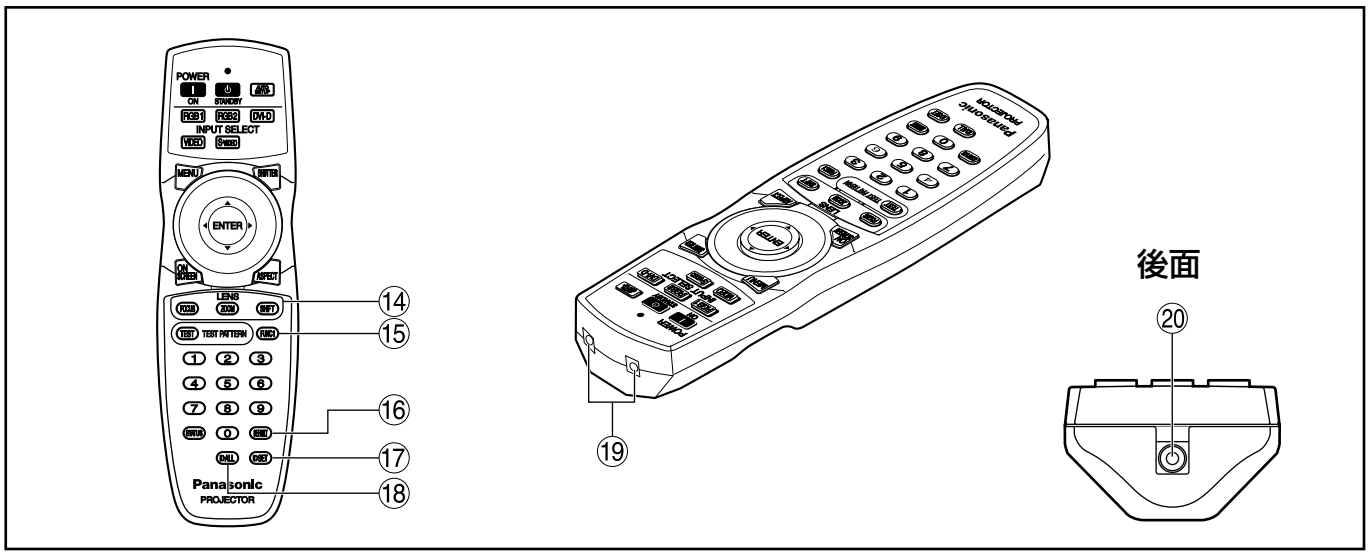
⑨ **数字(0〜9)ボタン(15、38ページ)**
本機を複数台使用するシステムで、本機を指定するボタンです。
ID SET時のID番号の入力、サービスマン用のパスワード入力に使用します。

⑩ **ステータス（STATUS）ボタン(25ページ)**
本体の情報を表示します。また本体の状態をEメールで送信することができます。

⑪ **オートセットアップ(AUTO SETUP)ボタン(25ページ)**
映像を投写して、このボタンを押すと画面表示位置が自動調整されます。自動調整中は画面に「自動位置補正」と表示されます。

⑫ **シャッター(SHUTTER)ボタン(25ページ)**
映像を一時的に消したいとき押します。

⑬ **アスペクト（ASPECT）ボタン(29ページ)**
映像のアスペクト比を切り換えます。



⑭ **レンズ(FOCUS、ZOOM、SHIFT)ボタン(24ページ)**
投写レンズを調整します。

⑮ **ファンクション1(FUNC1)ボタン(35ページ)**
メインメニュー内から「オプション1」画面の「FUNC1」で設定した機能をこのボタンで操作できます。

⑯ **デフォルト(DEFAULT)ボタン(27ページ)**
設定を工場出荷時に戻したいとき押します。

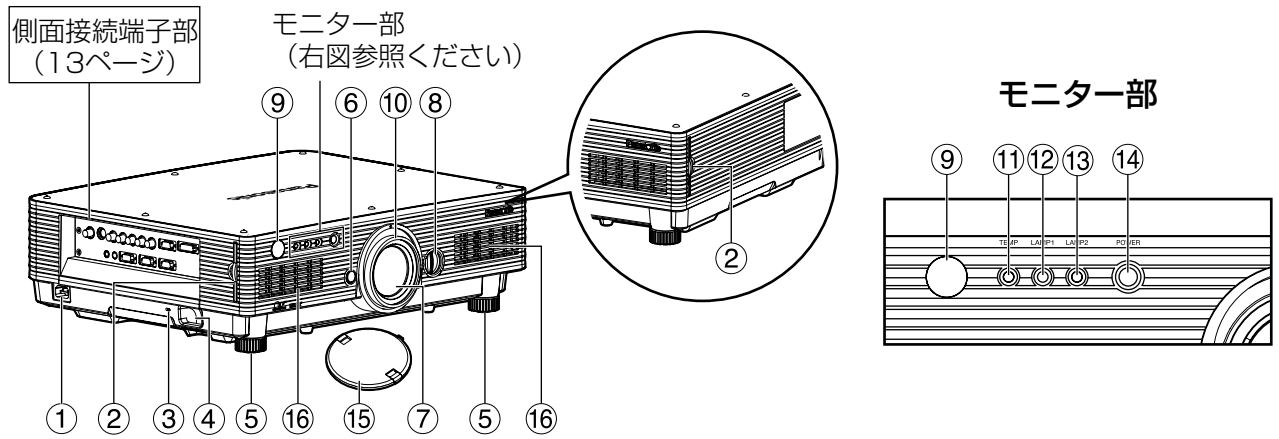
⑰ **IDセット(ID SET)ボタン(15ページ)**
本体を複数台使用するシステム時、リモコンのIDを設定します。

⑱ **IDオール(ID ALL)ボタン(15ページ)**
本体を複数台使用するシステム時、1つのリモコンで同時制御するモードに設定します。

⑲ **リモコン発信部**
本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

⑳ **リモコンワイヤード端子(15ページ)**
ワイヤード出力端子を使用する場合は市販のM3ステレオミニジャックケーブルでリモコンと本体を接続します。

本体前面・側面



① **AC 入力(AC IN)端子(22ページ)**
付属の電源コードを接続する端子です。
付属のもの以外は接続しないでください。

② **エアーフィルター部(53ページ)**

③ **セキュリティースロット**
このセキュリティースロットは、Kensington社製セキュリティーケーブルに対応しています。
Kensington社製セキュリティーケーブルについてのお問い合わせは、下の通りです。

七陽商事株式会社　情報機器事業部
〒103-0007
東京都中央区日本橋浜町2-55-7
ナナヨウビル
Tel ：03-3663-7740
Fax：03-3669-2367
http://www.nanayo.japan.co.jp/
※ 連絡先は変更になる可能性があります。
ご了承ください。

④ **盗難防止用フック**
市販の鎖などを通すことができます。

⑤ **高さ調整機能付セット脚(22ページ)**
本体の傾き調整に使用します。
(前の左右のセット脚が調整できます。)

⑥ **レンズリリースボタン(24ページ)**
投写レンズを取り外すときに使用します。

⑦ **投写レンズ**
スクリーンに映像を投写するレンズです。

⑧ **レンズ左右調整ダイヤル(25ページ)**
時計方向に回すと画面は左へ動き、反時計方向に回すと画面は右へ動きます。

⑨ **リモコン受光部（前）(14ページ)**
リモコン信号の受光部です。

⑩ **フォーカスリング(24ページ)**
リングを回すと、フォーカスの調整ができます。
電動でも、フォーカス調整ができます。

⑪ **温度モニター(TEMP)(52ページ)**
本体内の内部温度の異常を点灯や点滅で表示します。

⑫ **ランプ1 モニター(LAMP1)(52ページ)**
ランプユニット1の交換時期になると点灯します。
またランプ回路に異常が発生すると点滅します。

⑬ **ランプ2 モニター(LAMP2)(52ページ)**
ランプユニット2の交換時期になると点灯します。
またランプ回路に異常が発生すると点滅します。

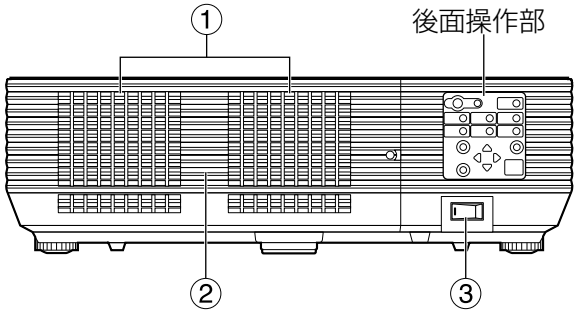
⑭ **電源モニター(22、52ページ)**
主電源(MAIN POWER)スイッチが 「｜」(入)のとき赤色に点灯します。このとき本体またはリモコンの電源入(｜)ボタンを押すと緑色に点灯します。

⑮ **レンズキャップ**
使用しないときは、レンズに取り付けてください。

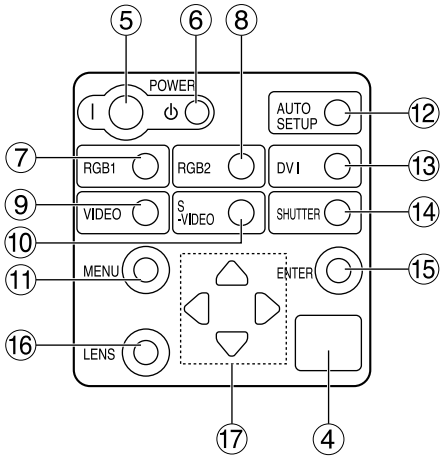
⑯ **吸気孔**

お願い
- 上部のカバー（白色または黒色の天板）は外さないでください。

本体後面



後面操作部



① **排気孔**

■排気孔には手や物を近づけない

禁止

排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

- 周辺の壁や物から50 cm以上離して設置してください。

② **ランプユニット収納扉**
ランプユニットが収納されています。

③ **主電源(MAIN POWER)スイッチ(22ページ)**
主電源を「｜」(入)、「○」(切)にすることができます。

④ **リモコン受光部(後)(14ページ)**
リモコン信号の受光部です。

⑤ **電源入(｜)ボタン(22ページ)**
電源を「入」にします。

⑥ **電源スタンバイ(⏻)ボタン(23ページ)**
電源を「スタンバイ」にします。

⑦ **RGB1ボタン(22ページ)**
RGB1に入力切り換えができます。

⑧ **RGB2ボタン(22ページ)**
RGB2に入力切り換えができます。

⑨ **ビデオ(VIDEO)ボタン(22ページ)**
ビデオに入力切り換えができます。

⑩ **S-VIDEOボタン(22ページ)**
S-VIDEOに入力切り換えができます。

⑪ **メニュー(MENU)ボタン(27ページ)**
メインメニューを表示したり、消したりします。
メニューが表示されているときは1つ前の画面に戻したりすることができます。
メニューキーを3秒以上長押しすると、オンスクリーン表示(OSD)の選択メニューが表示されます。

⑫ **オートセットアップ(AUTO SETUP)ボタン(25ページ)**
映像を投写して、このボタンを押すと画面表示位置の自動調整がされます。

⑬ **DVIボタン(22ページ)**
DVI-Dに入力切り換えができます。

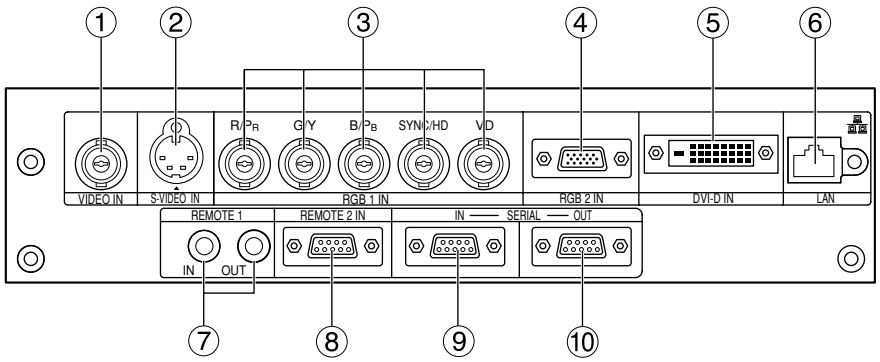
⑭ **シャッター(SHUTTER)ボタン(25ページ)**
映像を一時的に消すことができます。

⑮ **エンター(ENTER)ボタン(27ページ)**
メニュー画面の項目の決定や実行をすることができます。

⑯ **レンズ(LENS)ボタン(24ページ)**
レンズのフォーカス、ズーム、シフト(位置)の調整モードに設定します。

⑰ **▲ ▼ ◀ ▶ 選択ボタン(27ページ)**
メニュー画面の項目を選択したり、設定の切り換えおよびレベルの調整ができます。
また、「セキュリティ」のパスワード入力にも使用します。

側面接続端子部



① **ビデオ入力(VIDEO IN)端子(21ページ)**
ビデオ信号の入力端子です。(BNC)

② **Sビデオ入力(S-VIDEO IN)端子(21ページ)**
Sビデオ信号の入力端子です。(MIN4ピンDIN)
S1信号に対応しており入力信号のサイズに合わせて16：9と4：3の自動切り換えを行います。

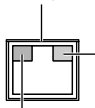
③ **RGB1入力(RGB 1 IN)端子(21ページ)**
RGB信号またはYPBPR信号を入力する端子です。(BNC)

④ **RGB2入力(RGB 2 IN)端子(21ページ)**
RGB信号またはYPBPR信号を入力する端子です。(D-Sub 15ピンメス型)

⑤ **DVI-D入力(DVI-D IN)端子(21ページ)**
DVI-D信号を入力する端子です。(DVI-D 24ピン)

⑥ **LAN端子(39ページ)**
パソコンから本機を制御するための端子です。(10BASE-T/100BASE-TX準拠)

LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX)
LANケーブルを接続します。



LAN 10/100ランプ（黄色）
100BASE-TX接続時に点灯します。

LAN LINK/ACTランプ（緑色）
接続時に点灯します。
送受信時に点滅します。

⑦ **リモート1入力／出力(REMOTE1 IN/OUT)端子(15ページ)**
本体を複数台使用するときに市販のM3ステレオミニジャックケーブルで連結制御することができます。

⑧ **リモート2入力(REMOTE2 IN)端子(51ページ)**
本体を外部制御回路を使用して遠隔操作することができます。(D-Sub 9ピンメス型)

⑨ **シリアル入力(SERIAL IN)端子(21、50ページ)**
パソコンを接続して本体を外部制御するためのRS-232C準拠の入力端子です。(D-Sub 9ピンメス型)

⑩ **シリアル出力(SERIAL OUT)端子(21、50ページ)**
シリアル入力端子に接続されている信号を出力する端子です。(D-Sub 9ピンオス型)

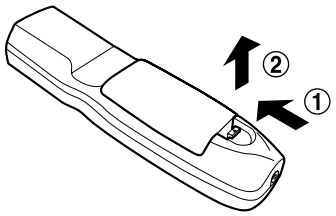
リモコンの使いかた

■ 乾電池の入れかた

付属の単3形乾電池を極性に注意して入れてください。

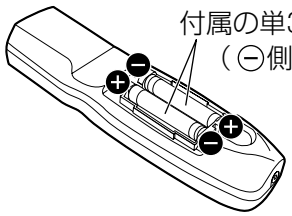
1.電池ふたを開ける

① ②の順でふたを開けます。



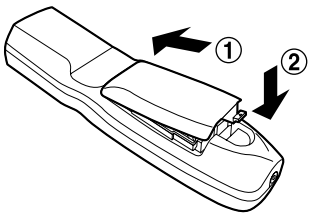
2.乾電池を入れる

極性表示（⊕、⊖）に合わせて乾電池を入れます。



3.電池ふたを閉める

ふたを元どおりにカチッと音がするまで閉めます。



お願い

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないようにしてください。
- ニカド電池は使用しないでください。

■ リモコンの有効操作範囲

リモコンの操作は、直接本体の前面・後面のリモコン受光部に向けて操作します。（図1）
また、図2のようにスクリーンの反射を利用して操作することもできます。

操作可能距離は前面または後面受光部の正面より約30 m以内です。

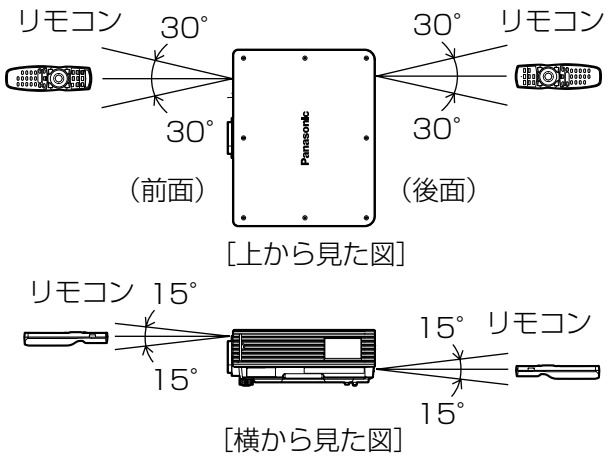


図1

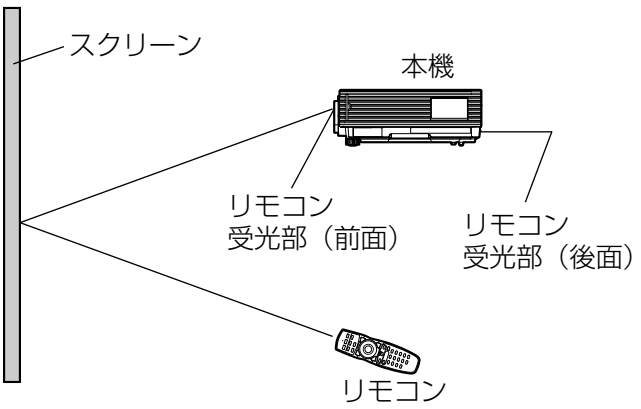


図2

お知らせ

- スクリーンに向けて操作する場合は、スクリーン特性による光反射ロスで操作有効範囲に制限が出る場合があります。
- リモコンと受光部の間に障害物があると正しく動作しない場合があります。
- リモコン受光部に蛍光灯などの強い光が当たるとリモコンが誤動作する場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

■ リモコンのIDナンバーを指定する

本機にはIDナンバーが設定されており、リモコンを使用するためには、事前に制御する本機のIDナンバーをリモコンに指定しないと操作できません。なお、**本機のIDナンバーは工場出荷時は「オール」に設定されていますので1台だけでご使用の場合は、リモコンはIDオール(ID ALL)ボタンをご使用ください。**

設定方法

IDセット(ID SET)ボタンを押したあと、5秒以内に、本機側で設定されている2けたのIDナンバーを数字(0〜9)ボタンで設定する。

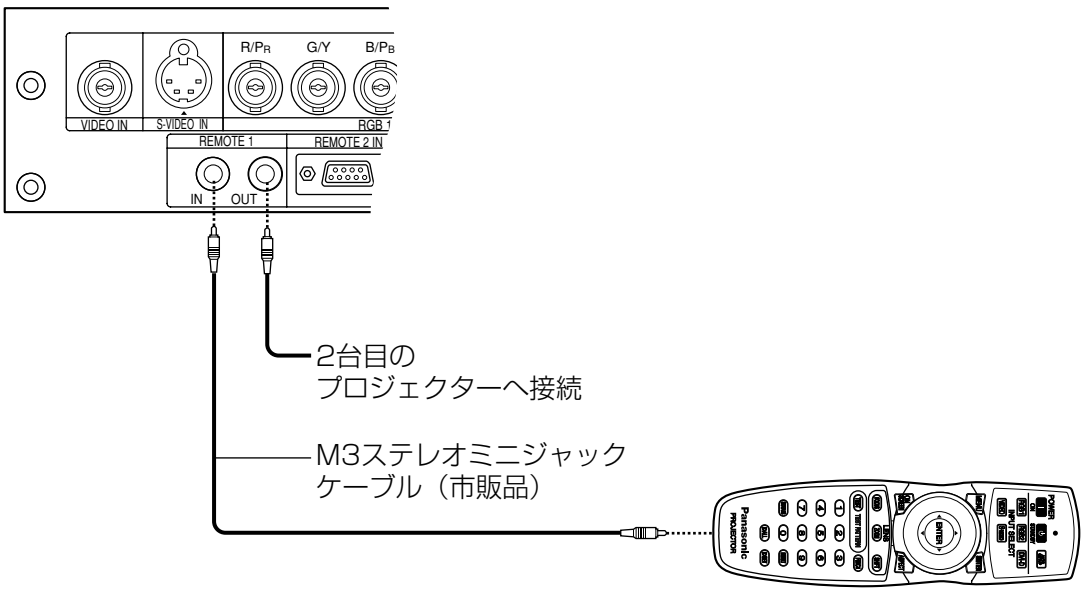
ただし、IDオール(ID ALL)ボタンを押した場合は、本機のIDナンバー設定に関係なく制御できます。(同時制御モード)

お願い

- リモコンのIDナンバー指定は、本機がなくても可能なため、IDセット(ID SET)ボタンは不用意に押さないでください。
  IDセット(ID SET)ボタンを押した場合は、5秒以内に数字ボタンを押さないとIDセット(ID SET)ボタンを押す以前のIDナンバーに戻ります。
- リモコンに入力されたIDナンバーの指定は、再度指定しない限り記憶しています。ただし、リモコンの電池が消耗したまま放置しておくと消去されます。乾電池を交換した場合は、同じIDナンバーを再度設定してください。

■ ケーブルで本体と接続して使う

本体を複数台接続するシステムでリモート1入力/出力端子を利用して複数台を1つのリモコンで同時制御したい場合は、市販のM3ステレオミニジャックケーブルを接続して制御します。また本機の設置環境によっては、本機とリモコンの間に障害物があったり外光の影響を受けやすい場所で使用する場合などに効果的です。



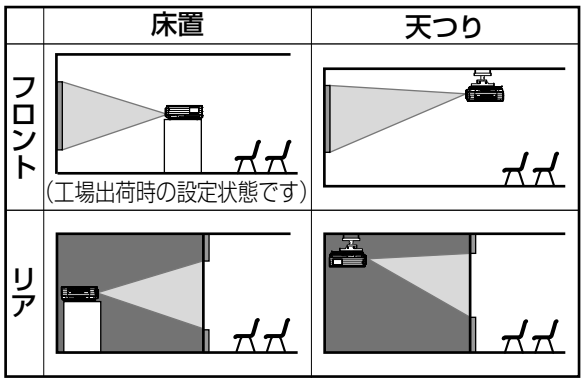
お願い

- ケーブルは長さが15 m以下、線種は2芯シールドケーブルを使用してください。ケーブルの長さが15 mを超える場合やケーブルのシールドが不十分な場合は動作しない場合があります。

設置する

■ 投写方式

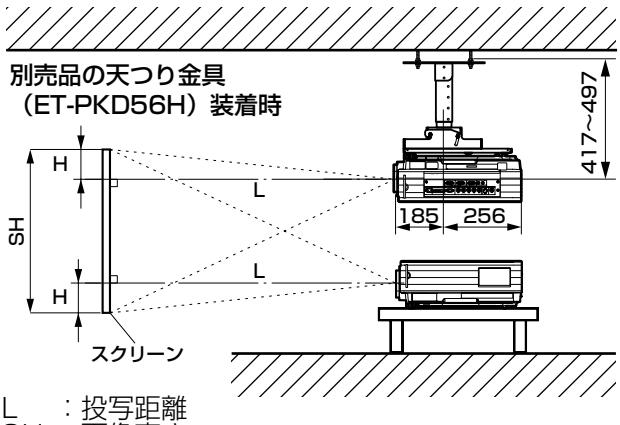
本機は、下図の4通りの投写方式が可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。
投写方式の設定方法については、メインメニュー画面の「オプション2」で行うことができます。（36ページ）



■ 投写関係

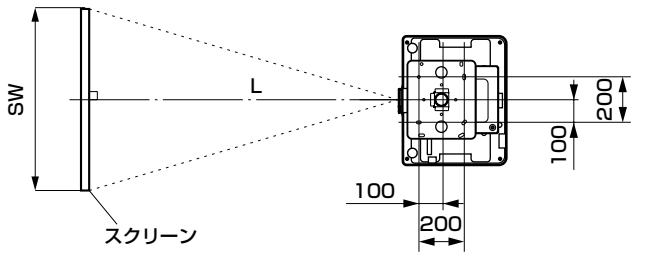
本機の設置は、下図や次ページを参考にして設置してください。なお、電動ズームレンズの採用により画面サイズの調整と、レンズ位置移動機能による画面位置の高さ調整が可能です。

横から見たとき



真上から見たとき

〈単位：mm〉



L　：投写距離
SH ：画像高さ
SW ：画像幅
H　：レンズセンターと画像下端の距離

お願い
- プロジェクターを積み重ねて使用しないでください。
- 後面の排気口をふさがないように 50 cm以上の隙間をあけて設置してください。（62ページ）

■ 投写レンズごとの投写距離

下表はPT-D5700（レンズ付）、PT-D5700L（レンズ別売）、PT-DW5100（レンズ付）、PT-DW5100L（レンズ別売）のレンズ投写距離です。

● PT-D5700、PT-D5700Lの場合

画面アスペクト比 4：3

（単位： メートル、SD：インチ）

レンズタイプ			標準ズームレンズ		別売品レンズ									高さ位置(H)※2
					広角固定焦点レンズ	広角ズームレンズ		中焦点ズームレンズ		長焦点ズームレンズ		超長焦点ズームレンズ		
投写レンズ品番					ET-DLE050	ET-DLE100		ET-DLE200		ET-DLE300		ET-DLE400		
スローレシオ※1			(1.8～2.4:1)		(0.8:1)	(1.3～1.8:1)		(2.4～4.0:1)		(3.8～6.0:1)		(5.8～8.1:1)		
投写画面サイズ			投写距離（L）											
対角(SD)	高さ(SH)	幅(SW)	最短(LW)	最長(LT)	(L)	最短(LW)	最長(LT)	最短(LW)	最長(LT)	最短(LW)	最長(LT)	最短(LW)	最長(LT)	
50	0.76	1.02	1.79	2.38	0.79	1.33	1.81	2.45	4.04	3.84	6.03	5.90	8.30	0～0.38
60	0.91	1.22	2.16	2.86	0.96	1.61	2.18	2.96	4.87	4.63	7.26	7.08	9.94	0～0.46
70	1.07	1.42	2.53	3.35	1.13	1.89	2.56	3.46	5.69	5.43	8.49	8.26	11.59	0～0.53
80	1.22	1.63	2.90	3.84	1.29	2.16	2.93	3.97	6.52	6.22	9.73	9.43	13.23	0～0.61
90	1.37	1.83	3.27	4.33	1.46	2.44	3.30	4.47	7.34	7.02	10.96	10.61	14.88	0～0.69
100	1.52	2.03	3.64	4.82	1.62	2.71	3.67	4.97	8.16	7.81	12.19	11.78	16.53	0～0.76
120	1.83	2.44	4.38	5.79	1.96	3.27	4.42	5.98	9.81	9.40	14.65	14.14	19.82	0～0.91
150	2.29	3.05	5.49	7.26	2.45	4.09	5.53	7.49	12.28	11.79	18.35	17.66	24.76	0～1.14
200	3.05	4.06	7.34	9.70	3.28	5.47	7.39	10.01	16.40	15.76	24.51	23.54	32.99	0～1.52
250	3.81	5.08	9.19	12.14	–	6.85	9.25	12.53	20.52	19.74	30.67	29.42	41.22	0～1.91
300	4.57	6.10	11.04	14.58	–	8.23	11.11	15.05	24.64	23.71	36.83	35.30	49.45	0～2.29
350	5.33	7.11	12.89	17.02	–	9.61	12.97	17.57	28.76	27.69	42.99	41.18	57.68	0～2.67
400	6.10	8.13	14.74	19.46	–	10.99	14.83	20.09	32.88	31.66	49.15	47.06	65.91	0～3.05
500	7.62	10.16	18.44	24.34	–	13.75	18.55	25.13	41.12	39.61	61.47	58.82	82.37	0～3.81
600	9.14	12.19	22.14	29.22	–	16.51	22.27	30.17	49.36	47.56	73.79	70.58	98.83	0～4.57

画面アスペクト比 16：9

（単位： メートル、SD：インチ）

レンズタイプ			標準ズームレンズ		別売品レンズ									高さ位置(H)※2
					広角固定焦点レンズ	広角ズームレンズ		中焦点ズームレンズ		長焦点ズームレンズ		超長焦点ズームレンズ		
投写レンズ品番					ET-DLE050	ET-DLE100		ET-DLE200		ET-DLE300		ET-DLE400		
スローレシオ※1			(1.8～2.4:1)		(0.8:1)	(1.3～1.8:1)		(2.4～4.0:1)		(3.8～6.0:1)		(5.8～8.1:1)		
投写画面サイズ			投写距離（L）											
対角(SD)	高さ(SH)	幅(SW)	最短(LW)	最長(LT)	(L)	最短(LW)	最長(LT)	最短(LW)	最長(LT)	最短(LW)	最長(LT)	最短(LW)	最長(LT)	
50	0.62	1.11	1.95	2.60	0.87	1.46	1.98	2.68	4.41	4.19	6.58	6.43	9.03	−0.10～0.31
60	0.75	1.33	2.35	3.13	1.05	1.76	2.38	3.23	5.31	5.06	7.92	7.71	10.82	−0.12～0.37
70	0.87	1.55	2.76	3.66	1.23	2.06	2.79	3.78	6.21	5.92	9.26	8.99	12.62	−0.15～0.44
80	1.00	1.77	3.16	4.19	1.41	2.36	3.19	4.33	7.11	6.79	10.61	10.27	14.41	−0.17～0.50
90	1.12	1.99	3.56	4.72	1.59	2.66	3.60	4.88	8.01	7.66	11.95	11.55	16.20	−0.19～0.56
100	1.25	2.21	3.97	5.26	1.77	2.96	4.00	5.42	8.90	8.52	13.29	12.83	18.00	−0.21～0.62
120	1.49	2.66	4.77	6.32	2.14	3.57	4.81	6.52	10.70	10.25	15.97	15.40	21.58	−0.25～0.75
150	1.87	3.32	5.98	7.92	2.68	4.47	6.03	8.17	13.39	12.85	20.00	19.24	26.96	−0.31～0.93
200	2.49	4.43	8.00	10.58	3.58	5.97	8.05	10.91	17.88	17.18	26.71	25.64	35.93	−0.42～1.25
250	3.11	5.53	10.01	13.24	–	7.48	10.08	13.66	22.37	21.51	33.42	32.05	44.89	−0.52～1.56
300	3.74	6.64	12.03	15.90	–	8.98	12.10	16.40	26.86	25.84	40.13	38.45	53.86	−0.62～1.87
350	4.36	7.75	14.04	18.56	–	10.49	14.13	19.15	31.35	30.17	46.84	44.86	62.82	−0.73～2.18
400	4.98	8.86	16.06	21.22	–	11.99	16.15	21.89	35.84	34.50	53.55	51.26	71.79	−0.83～2.49
500	6.23	11.07	20.09	26.54	–	15.00	20.20	27.38	44.82	43.16	66.97	64.07	89.72	−1.04～3.11
600	7.47	13.28	24.12	31.86	–	18.01	24.25	32.87	53.80	51.82	80.39	76.88	107.65	−1.25～3.74

※1 スローレシオは、スクリーンサイズ80インチ投写時の値を基準にしています。

※2 ET-DLE050の際はレンズシフトが使用できないため、高さ位置（H）は SH/2 になります。

● PT-DW5100、PT-DW5100Lの場合

画面アスペクト比 15：9

（単位： メートル、SD：インチ）

レンズタイプ			標準ズームレンズ		別売品レンズ									高さ位置(H)※2
					広角固定焦点レンズ	広角ズームレンズ		中焦点ズームレンズ		長焦点ズームレンズ		超長焦点ズームレンズ		
投写レンズ品番					ET-DLE050	ET-DLE100		ET-DLE200		ET-DLE310		ET-DLE410		
スローレシオ※1			(1.8～2.4:1)		(0.8:1)	(1.4～1.8:1)		(2.5～4.1:1)		(3.5～4.7:1)		(4.7～8.9:1)		
投写画面サイズ			投写距離（L）											
対角(SD)	高さ(SH)	幅(SW)	最短(LW)	最長(LT)	(L)	最短(LW)	最長(LT)	最短(LW)	最長(LT)	最短(LW)	最長(LT)	最短(LW)	最長(LT)	
50	0.65	1.09	1.95	2.59	0.86	1.45	1.97	2.67	4.40	3.82	5.02	5.08	9.62	−0.09~0.33
60	0.78	1.31	2.35	3.12	1.04	1.75	2.38	3.22	5.29	4.61	6.05	6.13	11.57	−0.10~0.39
70	0.91	1.52	2.75	3.65	1.22	2.05	2.78	3.76	6.19	5.40	7.08	7.17	13.52	−0.12~0.46
80	1.05	1.74	3.15	4.18	1.40	2.35	3.18	4.31	7.08	6.18	8.10	8.21	15.47	−0.14~0.52
90	1.18	1.96	3.55	4.71	1.58	2.65	3.59	4.86	7.98	6.97	9.13	9.26	17.42	−0.16~0.59
100	1.31	2.18	3.96	5.24	1.76	2.95	3.99	5.40	8.87	7.75	10.15	10.30	19.37	−0.17~0.65
120	1.57	2.61	4.76	6.30	2.12	3.55	4.80	6.50	10.66	9.33	12.21	12.39	23.28	−0.21~0.78
150	1.96	3.27	5.97	7.89	2.66	4.45	6.01	8.14	13.35	11.68	15.28	15.52	29.13	−0.26~0.98
200	2.61	4.36	7.98	10.54	3.56	5.95	8.03	10.87	17.82	15.61	20.41	20.74	38.88	−0.35~1.31
250	3.27	5.45	9.99	13.19	−	7.45	10.05	13.61	22.30	19.54	25.54	25.96	48.64	−0.44~1.63
300	3.92	6.53	12.00	15.84	−	8.95	12.07	16.34	26.77	23.47	30.67	31.18	58.39	−0.52~1.96
350	4.57	7.62	14.01	18.49	−	10.45	14.09	19.08	31.25	27.40	35.80	36.40	68.15	−0.61~2.29
400	5.23	8.71	16.02	21.14	−	11.95	16.11	21.81	35.72	31.33	40.93	41.62	77.90	−0.70~2.61
500	6.53	10.89	20.04	26.44	−	14.95	20.15	27.28	44.67	39.19	51.19	52.06	97.41	−0.87~3.27
600	7.84	13.07	24.06	31.74	−	17.95	24.19	32.75	53.62	47.05	61.45	62.50	116.92	−1.05~3.92

画面アスペクト比 16：9

（単位： メートル、SD：インチ）

レンズタイプ			標準ズームレンズ		別売品レンズ									高さ位置(H)※2
					広角固定焦点レンズ	広角ズームレンズ		中焦点ズームレンズ		長焦点ズームレンズ		超長焦点ズームレンズ		
投写レンズ品番					ET-DLE050	ET-DLE100		ET-DLE200		ET-DLE310		ET-DLE410		
スローレシオ※1			(1.8～2.4:1)		(0.8:1)	(1.4～1.8:1)		(2.5～4.1:1)		(3.5～4.7:1)		(4.7～8.9:1)		
投写画面サイズ			投写距離（L）											
対角(SD)	高さ(SH)	幅(SW)	最短(LW)	最長(LT)	(L)	最短(LW)	最長(LT)	最短(LW)	最長(LT)	最短(LW)	最長(LT)	最短(LW)	最長(LT)	
50	0.62	1.11	1.98	2.63	0.88	1.48	2.01	2.71	4.47	3.89	5.11	5.17	9.78	−0.11~0.31
60	0.75	1.33	2.39	3.17	1.06	1.78	2.42	3.27	5.38	4.69	6.15	6.23	11.76	−0.13~0.37
70	0.87	1.55	2.80	3.71	1.24	2.09	2.83	3.83	6.29	5.49	7.20	7.29	13.75	−0.15~0.44
80	1.00	1.77	3.21	4.25	1.43	2.39	3.24	4.38	7.20	6.29	8.24	8.35	15.73	−0.17~0.50
90	1.12	1.99	3.62	4.79	1.61	2.70	3.65	4.94	8.11	7.08	9.28	9.41	17.71	−0.20 ~0.56
100	1.25	2.21	4.03	5.33	1.79	3.00	4.06	5.49	9.02	7.88	10.32	10.47	19.69	−0.22~0.62
120	1.49	2.66	4.84	6.40	2.16	3.61	4.88	6.61	10.84	9.48	12.41	12.59	23.66	−0.26~0.75
150	1.87	3.32	6.07	8.02	2.71	4.53	6.12	8.27	13.57	11.88	15.54	15.78	29.61	−0.33~0.93
200	2.49	4.43	8.12	10.72	3.62	6.05	8.17	11.05	18.12	15.87	20.75	21.08	39.52	−0.44~1.25
250	3.11	5.53	10.16	13.41	−	7.58	10.23	13.83	22.67	19.87	25.97	26.39	49.44	−0.55~1.56
300	3.74	6.64	12.21	16.11	−	9.10	12.28	16.61	27.22	23.86	31.18	31.69	59.35	−0.66~1.87
350	4.36	7.75	14.25	18.80	−	10.63	14.34	19.39	31.77	27.86	36.40	37.00	69.27	−0.77~2.18
400	4.98	8.86	16.30	21.50	−	12.15	16.39	22.17	36.32	31.85	41.61	42.30	79.18	−0.87~2.49
500	6.23	11.07	20.39	26.89	−	15.20	20.50	27.73	45.42	39.84	52.04	52.91	99.01	−1.09~3.11
600	7.47	13.28	24.48	32.28	−	18.25	24.61	33.29	54.52	47.83	62.47	63.52	118.84	−1.31~3.74

※1 スローレシオは、スクリーンサイズ80インチ投写時の値を基準にしています。

※2 ET-DLE050の際はレンズシフトが使用できないため、高さ位置（H）は SH/2 になります。

■ 投写レンズ別投写距離計算式

● PT-D5700、PT-D5700Lの場合　（L, LW, LT： メートル、SD：インチ）

レンズタイプ		アスペクト比	投写距離（L）計算式	
標準ズーム		4:3	最短 (LW)	L=0.0370×SD-0.0650
			最長 (LT)	L=0.0488×SD-0.0638
		16:9	最短 (LW)	L=0.0403×SD-0.0650
			最長 (LT)	L=0.0532×SD-0.0638
広角固定焦点	品番：ET-DLE050	4:3		L=0.0166×SD-0.0361
		16:9		L=0.0181×SD-0.0361
広角ズーム	品番：ET-DLE100	4:3	最短 (LW)	L=0.0276×SD-0.0452
			最長 (LT)	L=0.0372×SD-0.0478
		16:9	最短 (LW)	L=0.0301×SD-0.0452
			最長 (LT)	L=0.0405×SD-0.0478
中焦点ズーム	品番：ET-DLE200	4:3	最短 (LW)	L=0.0504×SD-0.0657
			最長 (LT)	L=0.0824×SD-0.0758
		16:9	最短 (LW)	L=0.0549×SD-0.0657
			最長 (LT)	L=0.0898×SD-0.0758
長焦点ズーム	品番：ET-DLE300	4:3	最短 (LW)	L=0.0795×SD-0.1380
			最長 (LT)	L=0.1232×SD-0.1310
		16:9	最短 (LW)	L=0.0866×SD-0.1380
			最長 (LT)	L=0.1342×SD-0.1310
超長焦点ズーム	品番：ET-DLE400	4:3	最短 (LW)	L=0.1176×SD+0.0244
			最長 (LT)	L=0.1646×SD+0.0651
		16:9	最短 (LW)	L=0.1281×SD+0.0244
			最長 (LT)	L=0.1793×SD+0.0651

● PT-DW5100、PT-DW5100Lの場合　（L, LW, LT： メートル、SD：インチ）

レンズタイプ		アスペクト比	投写距離（L）計算式	
標準ズーム		15:9	最短 (LW)	L=0.0402×SD-0.0650
			最長 (LT)	L=0.0530×SD-0.0638
		16:9	最短 (LW)	L=0.0409×SD-0.0650
			最長 (LT)	L=0.0539×SD-0.0638
広角固定焦点	品番：ET-DLE050	15:9		L=0.0180×SD-0.0361
		16:9		L=0.0183×SD-0.0361
広角ズーム	品番：ET-DLE100	15:9	最短 (LW)	L=0.0300×SD-0.0452
			最長 (LT)	L=0.0404×SD-0.0478
		16:9	最短 (LW)	L=0.0305×SD-0.0452
			最長 (LT)	L=0.0411×SD-0.0478
中焦点ズーム	品番：ET-DLE200	15:9	最短 (LW)	L=0.0547×SD-0.0657
			最長 (LT)	L=0.0895×SD-0.0758
		16:9	最短 (LW)	L=0.0556×SD-0.0657
			最長 (LT)	L=0.0910×SD-0.0758
長焦点ズーム	品番：ET-DLE310	15:9	最短 (LW)	L=0.0786×SD-0.1062
			最長 (LT)	L=0.1026×SD-0.1056
		16:9	最短 (LW)	L=0.0799×SD-0.1062
			最長 (LT)	L=0.1043×SD-0.1056
超長焦点ズーム	品番：ET-DLE410	15:9	最短 (LW)	L=0.1044×SD-0.1374
			最長 (LT)	L=0.1951×SD-0.1352
		16:9	最短 (LW)	L=0.1061×SD-0.1374
			最長 (LT)	L=0.1983×SD-0.1352

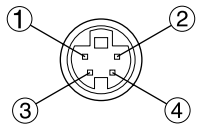
お知らせ
- 17、18ページの表の寸法や上記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。
- SXGA信号を入力して投写した場合、投写画面の左右がブランキングされ、画面サイズが5：4で投写されます。
- ワイド時とテレ時では明るさが変化します。

接続する

■ 接続する前に

- 接続の際は、接続される機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてからケーブルの接続を行ってください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、画面がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター（TBC）の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号はビデオ信号、Sビデオ信号、アナログRGB 信号（同期信号はTTL レベル）、およびデジタル信号です。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 各機器と本機を長いケーブルを使用して接続する場合はケーブル補償器などを使用しないと正常に出画できないことがあります。

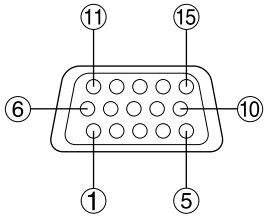
- Sビデオ入力（S-VIDEO IN）端子のピン配列と信号名は下記の通りです。



外側から見た図

ピンNo.	信　号
①	アース（輝度信号）
②	アース（色信号）
③	輝度信号
④	色信号

- RGB2入力端子のピン配列と信号名は下記の通りです。

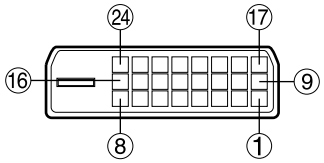


外側から見た図

ピンNo.	信　号
①	R/P_R
②	G/G・SYNC/Y
③	B/P_B
⑬	HD/SYNC
⑭	VD

⑨は未使用です。
④～⑧、⑩、⑪はGND端子です。

- DVI-D入力端子のピン配列と信号名は、下記の通りです。（DVI-D出力付パソコン用端子）

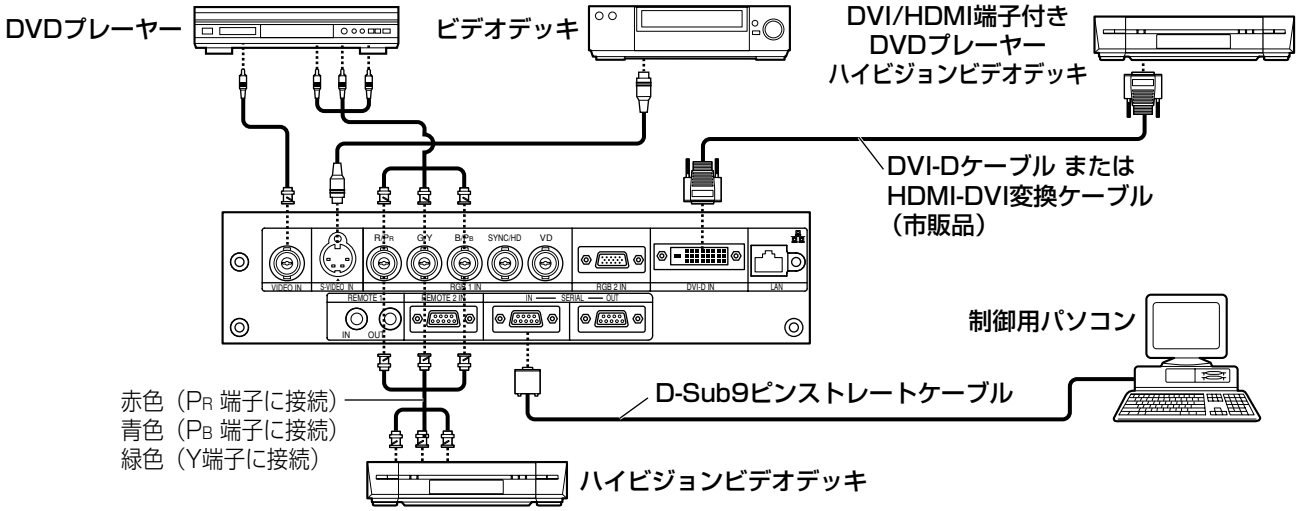


外側から見た図

ピンNo.	信　号	ピンNo.	信　号
①	T.M.D.Sデータ2−	⑬	──
②	T.M.D.Sデータ2+	⑭	+5V
③	T.M.D.Sデータ2シールド	⑮	グランド
		⑯	ホットプラグ検出
④	──	⑰	T.M.D.Sデータ0−
⑤	──	⑱	T.M.D.Sデータ0+
⑥	DDCクロック	⑲	T.M.D.Sデータ0シールド
⑦	DDCデータ		
⑧	──	⑳	──
⑨	T.M.D.Sデータ1−	㉑	──
⑩	T.M.D.Sデータ1+	㉒	T.M.D.Sクロックシールド
⑪	T.M.D.Sデータ1シールド		
		㉓	T.M.D.Sクロック+
⑫	──	㉔	T.M.D.Sクロック−

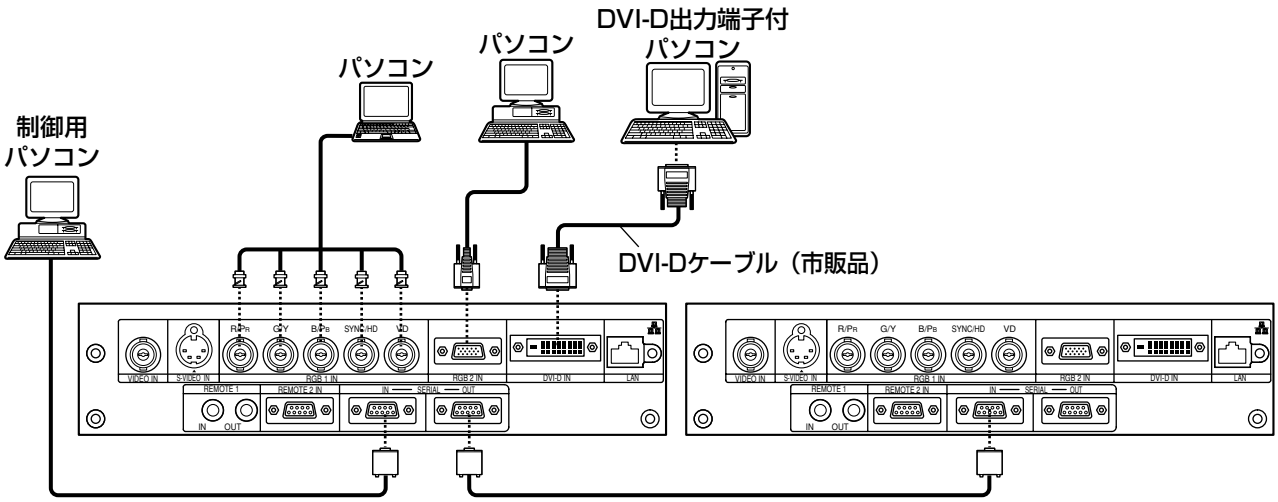
- DVI-D入力端子はシングルリンクのみ対応しています。
- 接続するDVI機器によっては、EDID設定が必要となることがあります。（35ページ）
- DVI-D入力端子はDVI機器との接続ができますが、一部の機器では映像が出ないなど、正常に動作しない場合があります。
- 本機はHDCP対応機器です。

■ AV機器との接続例



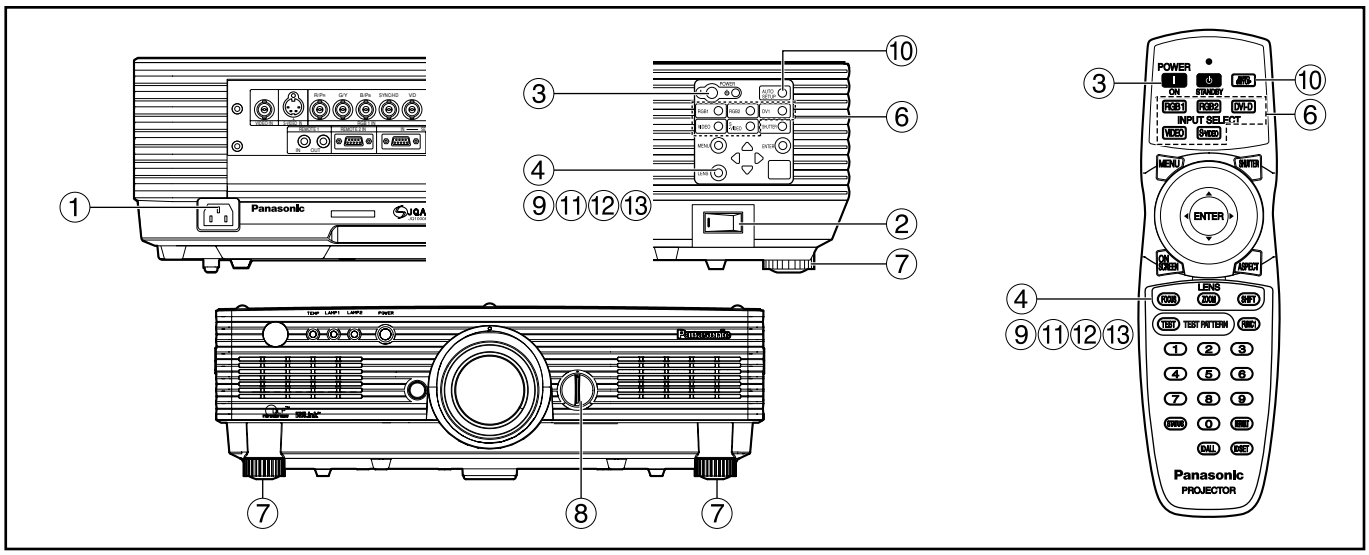
お願い
- ビデオデッキを接続するときは、必ずTBC(タイムベースコレクター)内蔵のものを使用するか、または本機とビデオデッキの間にTBCを使用してください。
- バースト信号が非標準の信号を接続すると、映像が乱れる場合があります。その場合は本機との間にTBCを接続してください。
- DVI-D入力時は接続する機器によっては、EDID設定が必要となることがあります。（35ページ）

■ パソコンとの接続例



お知らせ
- 本機に接続できるパソコンからのRGB信号は、60ページに記載のデータを参照ください。
- レジューム機能（ラストメモリー）のパソコンを使用される場合は、その機能をリセットしないと動作しない場合があります。
- SYNC ON GREEN信号入力時にSYNC/HD、VD端子へ同期信号を入力しないでください。
- DVI-D入力時は接続する機器によっては、EDID設定が必要となることがあります。（35ページ）

投写する



■ 電源を入れる

別売レンズをご使用の場合は、電源を入れる前に投写レンズを取り付けてください。(24ページ)
あらかじめレンズキャップを外してください。

① **電源コード(付属)を接続する。(AC 100 V 50 Hz/60 Hz)**

② **主電源(MAIN POWER)スイッチの「｜」側を押し電源を入れる。**
電源モニターが赤色に点灯してスタンバイ状態になります。

③ **電源入(｜)ボタンを押す。[本体またはリモコン]**
電源モニターが緑色に点灯し、しばらくすると映像が投写されます。

お知らせ
- 0 ℃付近での電源「入」は出画までに5分程度のウォームアップ時間が必要な場合があります。
  ウォームアップ中は温度モニター(TEMP)が点灯します。
  ウォームアップが完了すると温度モニター(TEMP)が消灯し、映像を投写します。
- 使用環境温度が低く、ウォームアップ時間が5分を超える場合は、異常とみなし、自動的に電源を「切」にします。この場合は使用環境温度を0 ℃以上にして、再度主電源「入」→電源「入」(｜)の操作を行ってください。

■ 調整・選択をする

フォーカス調整はウォームアップ時間が30分以上経過したのちに行うことをおすすめします。

＜リモコンで操作する場合＞

④ **フォーカス（FOCUS）ボタンを押して、画像のフォーカスをおおまかに合わせる。※**

⑤ **「設置設定」で投写方法を設定する。(36ページ)**

⑥ **入力切り換え(RGB1、RGB2、VIDEO、S-VIDEO、DVI-D)ボタンを押して入力信号を選択する。**

⑦ **セット脚を回して、本体の前後左右の傾きを調整する。**

⑧ **レンズ左右調整ダイヤルを使ってレンズの方向を調整する。(25ページ)**

⑨ **シフト（SHIFT）ボタンを押して、「レンズシフト」を調整する。※**

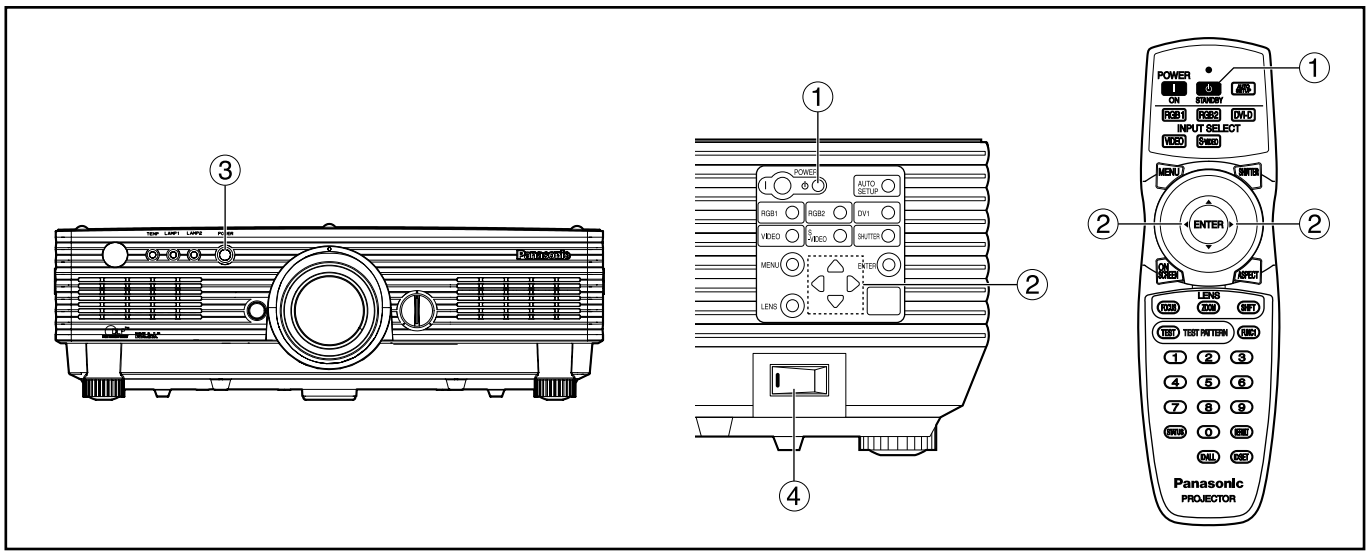
⑩ **入力信号がRGB／DVI信号の場合はオートセットアップ(AUTO SETUP)ボタンを押す。(25ページ)**

⑪ **ズーム（ZOOM）ボタンを押して、画像の大きさをスクリーンに合わせる。※**

⑫ **再度、フォーカス（FOCUS）ボタンで「レンズフォーカス」を調整する。※**

⑬ **再度、ズーム（ZOOM）ボタンで「レンズズーム」を調整して画像の大きさをスクリーンに合わせる。※**

※ 本体での操作方法は、24ページをご覧ください。



■ 電源の切りかた

① 電源スタンバイ(⏻)ボタンを押す。

② ◀ ▶ ボタンで「実行」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押す。
(または電源スタンバイ(⏻)ボタンを再度押す)

映像の投写が停止し、本体の電源モニターが橙色に点灯します。(冷却ファンは回転したままです。)

③ 本体の電源モニターが赤色に点灯(冷却ファンが停止)するまで待つ。

④ 主電源(MAIN POWER)スイッチの「○」側を押して電源を切る。

お願い
- **電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。**
  電源を切ったあとの光源ランプ冷却中に電源を入れても点灯しないことがあります。この場合は光源ランプ冷却が終了したあと、再度電源を入れ直してください。ランプの温度が高い状態で電源を入れるとランプの寿命を早める恐れがあります。

お知らせ
- スタンバイ状態で冷却ファンが停止した状態でも約10 Wの電力を消費しています。(電源モニター…赤点灯)
- 使用中に間違って主電源を切った場合、電源を入れてもランプが点灯しないことがあります。この場合は、しばらくたってから再度主電源を入れ直してください。

■ ダイレクトパワーオフ機能について

万一、停電時や電源を切った直後に電源コードを抜いてしまっても、内部に蓄えられた電力により冷却ファンが動作し、冷却を行います。

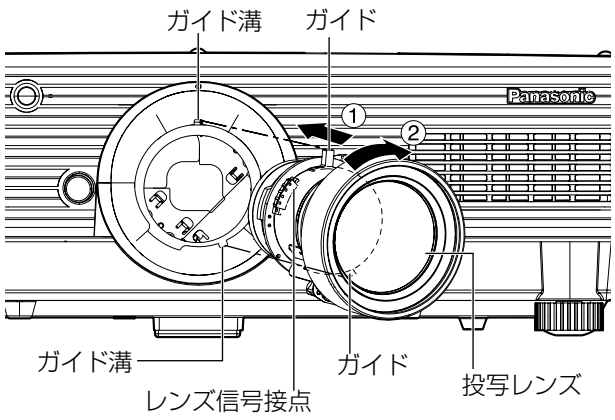
お知らせ
- ダイレクトパワーオフで冷却した場合、ランプの再点灯に通常よりも時間がかかることがあります。
- 冷却ファンが動作しているときは、箱や袋に入れたりしないでください。

投写レンズの取り付け／取り外しかた

■ 投写レンズの取り付けかた

① **投写レンズのガイドを本体のガイド溝に合わせて奥まで差し込む。**

② **時計方向に「カチッ」と音がするまで回す。**



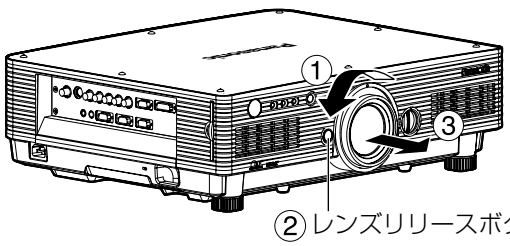
お願い
- レンズを反時計方向に回して、抜けないことを確認してください。

■ 投写レンズの取り外しかた

① **反時計方向に投写レンズを回しきる。**

② **レンズリリースボタンを押しながら、更に反時計方向に回す。**

③ **投写レンズを取り出す。**



お知らせ
- レンズ交換は本機の電源を切ってから行ってください。
- レンズ信号接点には指を触れないようにしてください。ほこりや汚れなどにより、接触不良の原因となることがあります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
- 交換したレンズは振動や衝撃を与えないように保管してください。

レンズ調整のしかた

■ フォーカス、ズーム、シフト調整のしかた

本機とスクリーンの位置関係が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像のフォーカス、ズーム、上下位置を調整できます。

■本体で操作する場合

① **本体操作部のレンズ（LENS）ボタンを押す**
ボタンを押すごとに「レンズフォーカス」「レンズズーム」「レンズシフト」の順に設定画面が切り換わります。

② **それぞれの調整項目を選び、▲ ▼ ◀ ▶ボタンで調整する**

■リモコンで操作する場合

① **リモコンのレンズボタン（FOCUS/ZOOM/SHIFT）を押す**
フォーカス（FOCUS）ボタンを押す：
　フォーカス調整をします。
ズーム（ZOOM）ボタンを押す：
　ズーム調整をします。
シフト（SHIFT）ボタンを押す：
　シフト調整をします。

② **それぞれの調整項目を選び、▲ ▼ ◀ ▶ボタンで調整する**

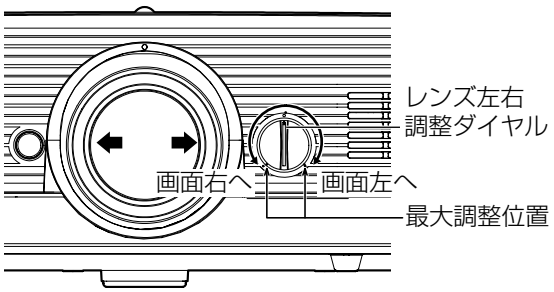
⚠注意

レンズシフト動作中は、レンズ周辺の開口部に手を入れない

お知らせ
- ズーム機能のないレンズを使用した場合でもズーム調整メニューが表示されますが動作はしません。
- レンズ上下位置シフトは、標準の位置から投写画面高さの50 %上方向の間で上下調整できます。ただし、ET-DLE050レンズをお使いの場合はシフトできません。
- 約3秒以上▲ ▼ ◀ ▶ボタンを押し続けると、速く動作させることができます。
- スイッチオン直後（およそ30分以内）はレンズフォーカス調整をしないでください。
- 使用する場合は、30分以上のエージングを実施することを推奨いたします。

■ レンズ位置左右調整のしかた

レンズ左右調整ダイヤルを時計方向に回すと画面は左へ動き、反時計方向に回すと画面は右へ動きます。左右の最大移動距離はそれぞれ投写画面幅の約10 %です。



お願い
- レンズ左右調整ダイヤルは最大調整位置までの位置で調整してください。無理に回すと故障の原因になります。

オートセットアップ(AUTO SETUP)機能について

オートセットアップ(AUTO SETUP)機能は、コンピューター信号のようなドット構成されたアナログRGB信号を入力したとき、解像度、クロックフェーズ、映像位置を自動で調整するものです。(動画入力、およびドットクロックが150 MHz以上の信号は自動調整できません。)また、DVI信号を入力したときは映像位置を自動調整します。
自動調整時は、最外郭が明るい白枠で、白黒がはっきりしたキャラクター文字などを含む画像を入力することをおすすめします。写真やCGのような中間調を含む画像は適しません。

お知らせ
- 正常終了した場合でも「クロックフェーズ」がずれることがあります。
  このときは「クロックフェーズ」を手動で調整してください。
- 画面の端がわからないような画像や暗い画像を入力すると、自動調整できません。また、コンポジットシンクやG-SYNCの同期信号、およびパソコンの機種によっては自動調整できない場合があります。
  このときは「入力解像度」「クロックフェーズ」「シフト」の項目を手動で調整してください。
- 自動調整中約4秒程度画像が乱れる場合がありますが異常ではありません。

ステータス機能

本体の状態を表示します。また、本体の状態をEメールで送信することができます。

① リモコンのステータス（STATUS）ボタンを押す。

お知らせ
- 詳しくは「ネットワークの設定」「パソコンの接続」「Webブラウザコントロールを使用する」をご覧ください。（39～47ページ）

シャッター(SHUTTER)機能を使う

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、メカニカルシャッターを使用して映像を一時的に消すことができます。

① リモコンまたは本体操作部のシャッター（SHUTTER）ボタンを押す。
映像が消えます。

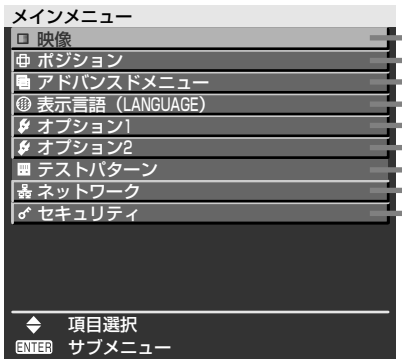
② リモコンまたは本体操作部のシャッター（SHUTTER）ボタンを押す。
映像が出ます。

オンスクリーンメニューについて

■ メニュー画面一覧

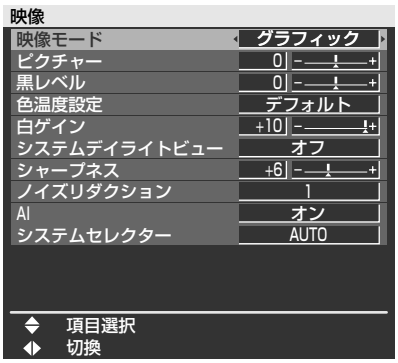
本機では、各種設定や調整および変更はメニュー操作によって実行されます。
本機のメニュー全体の構成は下図の通りです。

メインメニュー

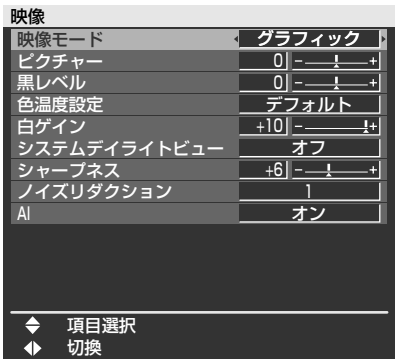


映像（28ページ）

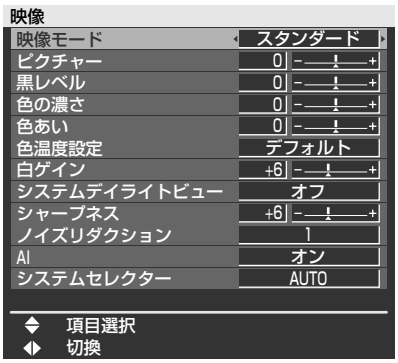
RGB信号入力時



DVI信号入力時



Sビデオ/ビデオ/YP_BP_R信号入力時

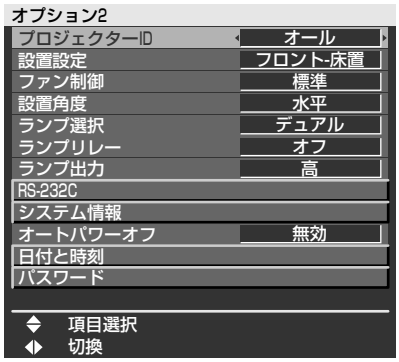


セキュリティ（49ページ）

ネットワーク（39ページ）

テストパターン（38ページ）

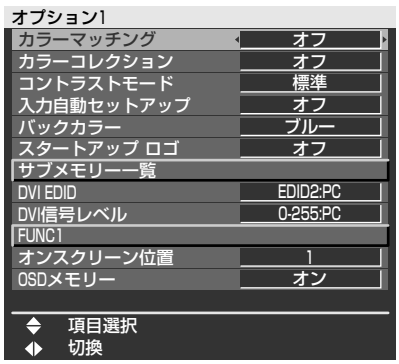
オプション2（36ページ）



ポジション（29ページ）

アドバンスドメニュー（30ページ）

オプション1（33ページ）

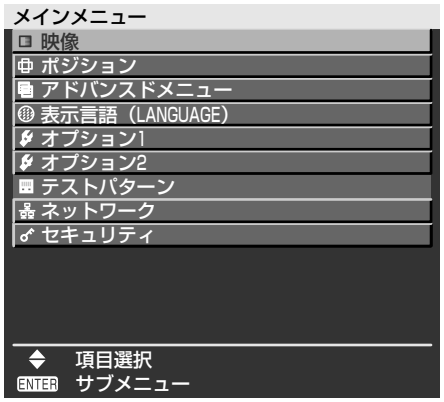


表示言語（LANGUAGE）（32ページ）

■ メニュー画面の基本操作

① メニュー(MENU)ボタンを押す。

メインメニュー画面を表示します。



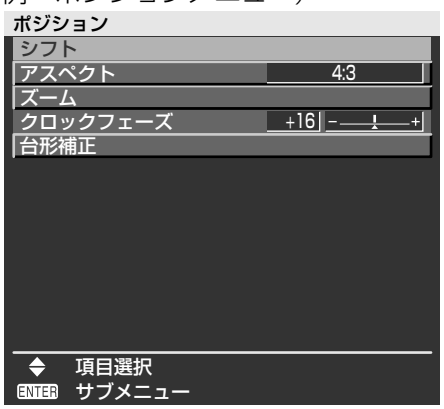
② ▲ または ▼ ボタンを押して項目を選択する。

選択中の項目は黄色で表示します。

③ エンター(ENTER)ボタンを押して決定する。

選択したメニュー画面の詳細が表示されます。

（例：ポジションメニュー）



④ ▲ または ▼ ボタンを押して項目を選択し、◀ または ▶ ボタンを押して設定の切り換えや調整をする。

（個別調整画面例）

- 個別調整画面表示中、約5秒間ボタン操作をしないと、前の画面に戻ります。

■ 前の画面に戻すには

- メニュー画面が表示されている状態のときにメニュー(MENU)ボタンを押すと前の画面に戻ります。
- メインメニュー画面が表示されている状態のときメニュー(MENU)ボタンを押すとメニュー画面が消えます。

■ メニュー画面の項目の黒色文字表示について

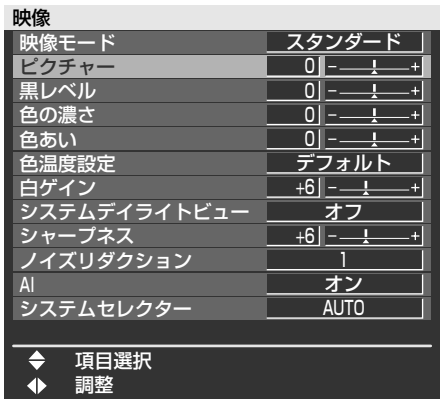
- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。
  調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が黒色の文字で表示され、項目は選択できません。

■ メニュー画面の表示について

- 選択された項目によりメニューの最下部の表示が異なります。
  - 設定の切り換え時は「◀ ▶ 切換」と表示されます。
  - バースケール(調整)項目は「◀ ▶ 調整」と表示されます。

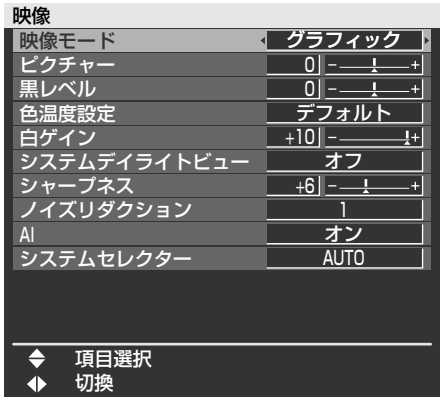
■ 調整値を工場出荷状態に戻す

調整項目を選び、デフォルト(DEFAULT)ボタンを押すと、調整値が工場出荷状態に戻ります。

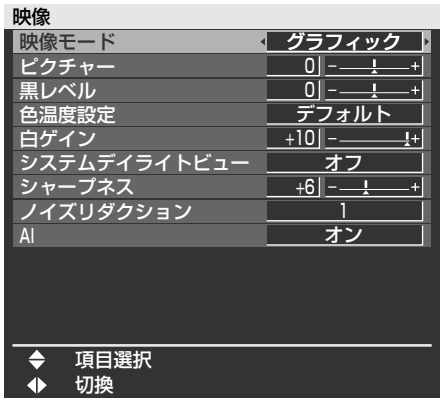


映像の調整

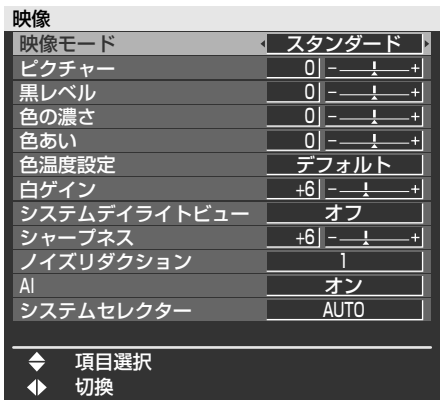
• RGB信号入力時



• DVI信号入力時



• Sビデオ/ビデオ/YPBPR信号入力時



■ 映像モード

映像ソースや本機を使用する場所の環境に適した見やすい映像に切り換えることができます。

ダイナミック ：明るい場所で使用する場合に適した画像になります。
グラフィック ：パソコン使用時に適した画像になります。
スタンダード ：動画系全般に適した画像になります。
シネマ ：映画再生に適した画像になります。
ナチュラル ：暗い部屋で使用する場合に適した画像になります。

■ ピクチャー

色の明暗度を調整します。

▶ ボタンを押すと：画面が明るく映像が濃くなります。
◀ ボタンを押すと：画面が暗く映像が薄くなります。

■ 黒レベル

画面の暗い部分（黒色）を調整します。

▶ ボタンを押すと：画面が明るくなります。
◀ ボタンを押すと：画面が暗くなります。

■ 色の濃さ（Sビデオ/ビデオ/YPBPR信号入力時のみ）

▶ ボタンを押すと：色が濃くなります。
◀ ボタンを押すと：色が薄くなります。

■ 色あい（Sビデオ/ビデオ/YPBPR信号入力時のみ）

肌色の部分を調整します。

▶ ボタンを押すと：色あいが変化し肌色が緑色がかった色になります。
◀ ボタンを押すと：色あいが変化し肌色が赤紫色がかった色になります。

■ 色温度設定

映像の白色部分が赤み、または青みを帯びたりしている場合に調整します。

デフォルト：標準の設定です。
ユーザー ：白バランスのRGBの値を個別に設定します。
エンター（ENTER）ボタンを押し、「ホワイトバランス 高」または「ホワイトバランス 低」のいずれかを選び、詳細の設定を行ってください。
▶ ボタンを押すと：
選択した項目の色が強くなります。
◀ ボタンを押すと：
選択した項目の色が弱くなります。
中 ：やや赤色気味に調整します。
高 ：白色部分をより青白く調整します。

■ 白ゲイン

映像の白色部分の明るさを調整します。

▶ ボタンを押すと：白色の輝きが強くなります。
◀ ボタンを押すと：自然な画像になります。

■ システムデイライトビュー

明るい照明下で映像を投写する場合に、映像が鮮やかに見えるように補正します。

オフ：この機能をオフにします。
1： 弱
2： 中
3： 強

■ シャープネス

映像の画質を調整します。

▶ ボタンを押すと：画質がシャープになります。

◀ ボタンを押すと：画質がソフトになります。

■ ノイズリダクション

映像ノイズを軽減するモードです。

オフ　：補正なし

1　　：弱

2　　：中

3　　：強

■ AI

映像に合わせて階調制御を行い、コントラスト感のある最適な映像を投写します。

オン　：AI補正を有効にします。

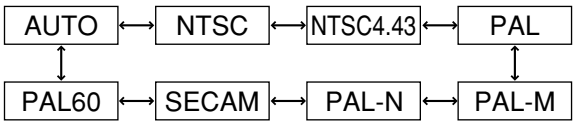
オフ　：AI補正を無効にします。

■ システムセレクター

接続されている信号方式に応じた設定をします。

(Sビデオ/ビデオ端子入力信号)

AUTO：標準の設定です。受像している信号の方式を自動判別します。



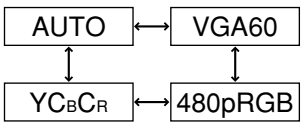
お知らせ

- 「AUTO」で信号の劣化などにより正常に表示しない場合は、接続されている信号方式にあわせて設定を変更してください。

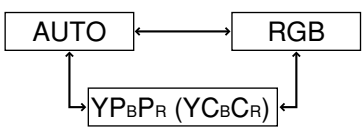
(RGB1/RGB2端子入力信号)

AUTO：標準の設定です。受像している信号の方式を自動判別します。

VGA60/480p信号入力時



VGA60/480p信号以外入力時



対応する信号については60ページをご覧ください。

ポジションの調整

■ シフト

映像の表示位置を移動させることができます。

◀ ▶：水平方向に移動します。

▲ ▼：垂直方向に移動します。

■ アスペクト

AUTO：（Sビデオ/ビデオ信号入力時のみ）
Sビデオ端子入力時はS1映像信号※1、ビデオ端子入力時はビデオID信号を識別し、自動的に16:9のアスペクト比に変換して表示します。

16:9　：標準信号入力時※2は、16:9にアスペクト比を変換して表示します。
ワイド信号入力時※3は、入力アスペクト比のまま表示します。

4:3　：標準信号入力時※2は、入力アスペクト比のまま表示します。
ワイド信号入力時※3 は、PT-D5700/PT-D5700Lは4:3にアスペクト比を変換して表示します。
PT-DW5100/PT-DW5100Lは4:3スクリーンに収まるようにアスペクト比を変換せずに縮小して表示します。

S4:3　：16:9スクリーン使用時に選択してください。

H FIT　：水平方向のパネル画素をすべて使って表示します。パネル画素※4のアスペクト比よりも縦長のアスペクト比を持つ信号は、画像の上下が切れて表示されます。

V FIT　：垂直方向のパネル画素をすべて使って表示します。パネル画素※4のアスペクト比よりも横長のアスペクト比を持つ信号は、画像の左右が切れて表示されます。

HV FIT　：パネル画素※4全体に映像を表示します。入力信号とパネル画素※4のアスペクト比が異なる場合は、パネル画素※4のアスペクト比に変換して表示します。

※1　S1映像信号とは、ワイド対応ビデオデッキなどから出力される検知信号が付加されている16:9の映像信号です。

※2　標準信号入力時とは、アスペクト比4:3、5:4の入力信号です。

※3　ワイド信号入力時とは、アスペクト比16:9、15:9、15:10の入力信号です。

※4　パネル画素のアスペクト比はPT-D5700/PT-D5700Lは4:3、PT-DW5100/PT-DW5100Lは15:9です。

お願い

- 入力信号と異なるアスペクト比を選択されますと、オリジナルの映像と見えかたに差がでます。この点にご留意のうえ、アスペクト比を選択してください。

（次ページへつづく）

お知らせ
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト比切り換え（16:9）を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド画像でない従来（通常）の4:3の映像をワイド画面で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、4:3の映像でご覧ください。

■ ズーム

拡大率を変えて表示させることができます。

◀ ▶ ボタンを押すと：水平方向の拡大率を変えます。
▲ ▼ ボタンを押すと：垂直方向の拡大率を変えます。

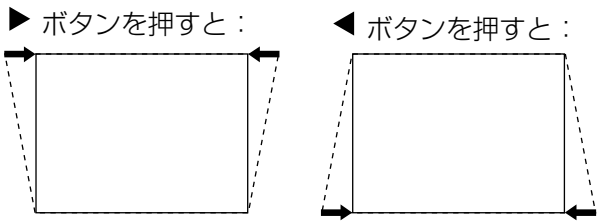
■ クロックフェーズ

（RGB/YPBPR信号入力時のみ）
◀ ▶ ボタンを押してノイズが目立たないように調整してください。

お知らせ
- ドットクロック周波数が150 MHz以上の信号を投写する場合は「クロックフェーズ」を調整してもノイズがなくならない場合があります。
- デジタル信号入力時は調整することができません。

■ 台形補正

台形補正：投写画面が台形歪になっている場合に水平方向のみ台形歪の調整ができます。



お知らせ
- 台形歪は本機の前後の傾きに対して± 30° まで補正できますが、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるよう設置してください。
- 台形補正を行うと画像サイズも変化します。

リニアリティ：「台形補正」の調整後に◀ または ▶ ボタンでこの調整を行ってください。台形補正の調整値が「0」の場合はリニアリティの項目は表示されません。

アドバンスドメニュー

■ デジタルシネマリアリティー

Sビデオ/ビデオ及び480i、576i、1080/60i、1080/50i信号が入力されたときに垂直解像度をさらに上げることができます。

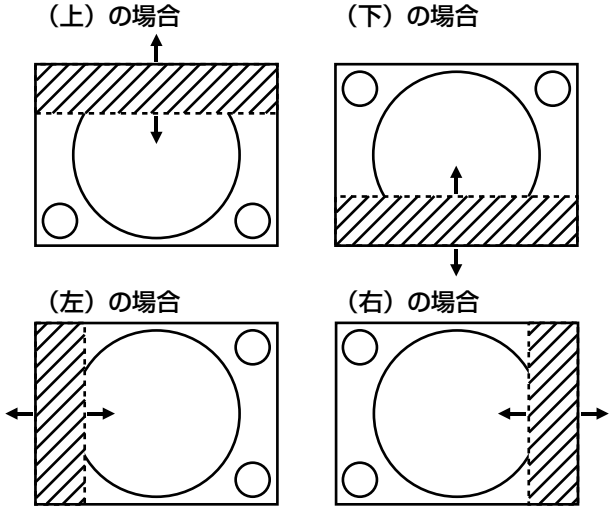
自動　　：自動検出し、シネマ処理をします。（工場出荷設定値）
オフ　　：シネマ処理をしません。
25p 固定：PALまたはSECAM、576i、1080/50i 信号が入力されたとき強制シネマ処理（2:2 プルダウン）をします。
30p 固定：NTSCまたは480i、1080/60i 信号が入力されたとき強制シネマ処理（2:2 プルダウン）をします。

お知らせ
- 入力信号が2:2でプルダウンされた信号でないときに「25p 固定」もしくは「30p 固定」に設定すると画質が劣化します。（垂直解像度が悪くなります）

■ ブランキング

ビデオデッキなどの映像投写時に画面端にノイズが出ている場合やスクリーンから画像がわずかにはみ出ている場合などにブランキングで微調整します。

▲ ▼ ボタン：上下左右の調整項目を選択します。
◀ ▶ ボタン：ブランキングの幅を調整します。



■ 入力解像度

画面のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

▲ ▼ ボタン：下記の各項目を選択します。
◀ ▶ ボタン：値を指定します。

「総ドット数」「表示ドット数」「総ライン数」「表示ライン数」

各項目には入力した信号に応じた数値が自動的に表示されます。画面に縦縞や画面欠けが発生する場合、表示された数値を上下させて画面を見ながら最適な点に調整してください。

お知らせ
- 全白信号入力では上記縦縞は発生しません。
- 調整中に画像が乱れる場合がありますが、異常ではありません。
- 入力解像度が調整できるのは、RGB1、RGB2入力でRGB信号を入力した場合のみです。
- ドットクロックが150 MHz以上の信号は調整できません。

■ クランプ位置

(RGB/YP_BP_R信号入力時のみ)

映像の黒部分がつぶれている場合や、緑色になっている場合はクランプ位置調整で最良点にします。

◀ ▶ ボタンで調整します。

調整値は0～255まで変化します。

クランプ位置調整の最適値は

- 黒部分がつぶれている場合
  → 黒部分のつぶれがもっとも改善する点が最適値です。
- 黒部分が緑色になっている場合
  → 緑色部分が黒くなりつぶれていない点が最適値です。

お知らせ
- クランプ位置の調整ができるのは、RGB1、RGB2入力で信号を入力した場合のみです。

■ エッジブレンディング

マルチ画面での使用時につなぎ目を目立ちにくくする機能を備えています。

① ▲ ▼ ボタンで「エッジブレンディング」を選択する。

② ◀ ▶ ボタンで「エッジブレンディング」を切り換える。

オフ　：マルチ画面で使用しないとき。
オン　：エッジブレンディング機能を使用するとき。

③ エンター(ENTER)ボタンを押す。

「エッジブレンディング」画面を表示します。

④ ▲ ▼ ボタンで補正する場所を指定する。

- 上をつなぐ場合：「上」を「オン」
- 下をつなぐ場合：「下」を「オン」
- 左をつなぐ場合：「左」を「オン」
- 右をつなぐ場合：「右」を「オン」

⑤ エンター(ENTER)ボタンを押して「オン」「オフ」を切り換える。

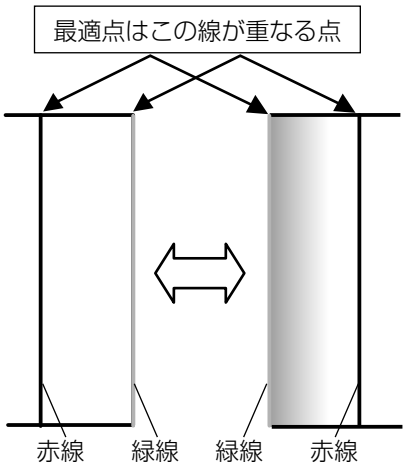
⑥ ◀ ▶ ボタンで補正幅および開始位置を調整する。

＜調整用のマーカーを表示させる場合＞

⑦ ▲ ▼ ボタンで「マーカー」を選択する。

⑧ エンター(ENTER)ボタンで「オン」に切り換える。

映像位置調整用のマーカーが表示されます。つなぎ合わせるセット同士で赤と緑の線が重なる位置が最適点です。ただし、設置条件、使用するレンズによってはドットずれが生じます。
つなぎ合わせるセット同士の補正幅は必ず同じ値にしてください。補正幅が異なるセット同士では、最適なつなぎ合わせができなくなります。



⑨ ▲ ▼ ボタンで「黒レベル調整」を選択する。

⑩ エンター(ENTER)ボタンを押す。

「黒レベル調整」画面を表示します。

⑪ ▲ ▼ ボタンで「黒レベル インサイド」を選択する。

（次ページへつづく）

⑫ **エンター(ENTER)ボタンを押す。**

「黒レベル インサイド」個別調整画面を表示します。「連動」を「オフ」に設定すると、「R」、「G」、「B」の個別調整が可能です。

⑬ **▲ ▼ボタンで項目を選択し、◀ ▶ボタンで調整する。**

調整が終わったら、メニュー(MENU)ボタンを押して「黒レベル調整」画面に戻ります。

⑭ **▲ ▼ボタンで「上」「下」「左」「右」を選択する。**

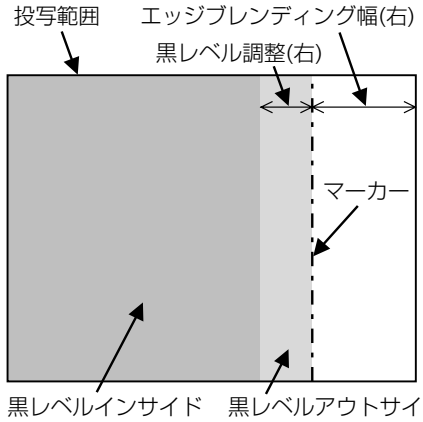
⑮ **◀ ▶ボタンで黒レベル インサイド補正する幅を調整する。(0 ～255)**

⑯ **▲ ▼ボタンで「黒レベル アウトサイド」を選択する。**

⑰ **エンター(ENTER)ボタンを押す。**

「黒レベル アウトサイド」個別調整画面を表示します。「連動」を「オフ」に設定すると、「R」、「G」、「B」の個別調整が可能です。

⑱ **▲ ▼ボタンで項目を選択し、◀ ▶ボタンで調整する。**



お知らせ
- 「黒レベル調整」は、「エッジブレンディング」を用いてマルチ画面を構成した場合に、映像を重ね合わせた部分の黒レベルが明るくなるのを目立ちにくくする機能です。「黒レベル インサイド」を調整し、映像を重ね合わせた部分と重ね合わせていない部分の黒レベルが同じになる補正量が最適点です。「黒レベル インサイド」を調整後、映像を重ね合わせた部分と重ね合わせていない部分の境目付近のみが明るくなる場合は、上、下、左、右の幅を調整してください。幅調整により境目付近のみ暗くなった場合は、「黒レベル アウトサイド」を調整してください。
- ゲインの高いスクリーンやリアスクリーン使用時は、見る位置によってつなぎ合わせ部が不連続に見えることがあります。
- 「エッジブレンディング」を「オフ」以外に設定した場合、「AI」は調整できません。

■ ラスターポジション

入力された映像が表示可能エリア全体を使用していない場合、映像を表示エリア内で任意の位置に移動させることができます。

◀ ▶：水平方向の値を調整します。
▲ ▼：垂直方向の値を調整します。

■ XGAモード

XGA（RGB）信号を入力したときのみ有効となります。

XGA　：標準の設定です。
WXGA：WXGA信号を入力している場合に設定してください。

■ SXGAモード

SXGA（RGB）信号を入力したときのみ有効となります。

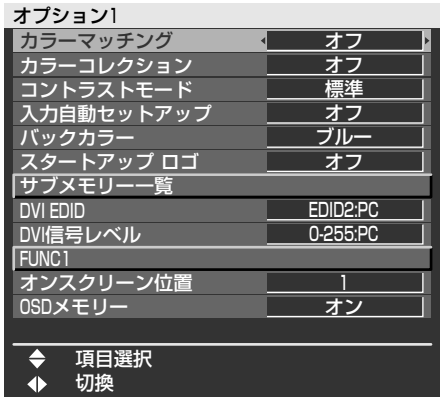
SXGA　：標準の設定です。
SXGA+：画面が切れている場合に設定してください。

表示言語の切り換え

切り換えた言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などが表示されます。
英語（ENGLISH）、ドイツ語（DEUTSCH）、フランス語（FRANÇAIS）、スペイン語（ESPAÑOL）、イタリア語（ITALIANO）、日本語、中国語（中文）、ロシア語（РУССКИЙ）、韓国語（한국어）の切り換えができます。

お知らせ
- 本機は、日本語でオンスクリーン表示するように設定されています。（工場出荷時）

オプション1の設定



■ カラーマッチング

本機は複数のセットを同時に使うような用途で、セット間の色バラツキを補正する機能を備えています。

① ▲ ▼ボタンで「カラーマッチング」を選択する。

② ◀ ▶ボタンで「カラーマッチング」を切り換える。

ボタンを押すごとに切り換わります。

オフ　　：カラーマッチングの調整をしません。
3カラーズ：「R（赤）」「G（緑）」「B（青）」の3色と「Wh（白ゲイン）」※を調整することができます。
※ 3カラーズ時の「Wh」については明るさのみ調整できます。
7カラーズ：「R（赤）」「G（緑）」「B（青）」「Cy（シアン）」「Mg（マゼンタ）」「Ye（イエロー）」「Wh（ホワイト）」の7色を調整することができます。
測定　　：右の「測定器を用いたカラーマッチング」をご覧ください。

手順2で「3カラーズ」または「7カラーズ」を選択した場合

③ エンター(ENTER)ボタンを押す。

「カラーマッチング：3カラーズ」または「カラーマッチング：7カラーズ」画面を表示します。

④ ▲ ▼ボタンで「R」「G」「B」「Wh」を選択する。

（7カラーズ時は「R」「G」「B」「Cy」「Mg」「Ye」「Wh」）

⑤ エンター(ENTER)ボタンを押す。

⑥ ◀ ▶ボタンで調整する。

調整値は0～2048（初期値が2048の色については256～2048）まで変化します。

お知らせ

- **調整色を補正する場合の動作**
  調整色と同じ補正色を動かす場合：
  調整色の輝度が変化します。
  補正色赤を動かす場合：
  調整色に赤を加減します。
  補正色緑を動かす場合：
  調整色に緑を加減します。
  補正色青を動かす場合：
  調整色に青を加減します。
- 調整には熟練度を要しますのでプロジェクターに関する知識のある方もしくはサービスマンの方が調整を行ってください。
- 各調整項目はすべてデフォルト（DEFAULT）ボタンを押すと工場出荷値に戻すことができます。
- 「カラーマッチング」を「オフ」以外に設定した場合、「AI」、「カラーコレクション」、「色温度設定」は調整できません。
- 「自動テストパターン」を「オン」にしておくと、選択された調整色の調整用テストパターンが自動的に表示されます。

■ 測定器を用いたカラーマッチング

色度座標と輝度が測定できる色彩色度計を用いて「R（赤）」「G（緑）」「B（青）」「Cy（シアン）」「Mg（マゼンタ）」「Ye（イエロー）」「Wh（ホワイト）」の色をお好みの色に変更することができます。

現在の輝度と色度座標を入力する

① ▲ ▼ボタンで「カラーマッチング」を選択する。

② ◀ ▶ボタンで「測定」を選択する。

③ エンター（ENTER）ボタンを押す。

「カラーマッチング：測定」画面を表示します。

④ ▲ ▼ボタンで「測定データ」を選択する。

⑤ エンター(ENTER)ボタンを押す。

「測定データ」画面を表示します。

⑥ 色彩色度計で輝度(Y)と色度座標(x、y)を測定する。

⑦ ▲ ▼ボタンで色を選択し、◀ ▶ボタンで数値を調整する。

⑧ すべての入力が終わったら、メニュー(MENU)ボタンを押す。

「カラーマッチング：測定」画面を表示します。

（次ページへつづく）

お好みの色の座標を入力する

⑨ ▲ ▼ボタンで「ターゲットデータ」を選択する。

⑩ エンター（ENTER）ボタンを押す。

「ターゲットデータ」画面を表示します。

⑪ ▲ ▼ボタンで色を選択し、◀ ▶ボタンでお好みの色の座標を入力する。

⑫ すべての入力が終わったら、メニュー(MENU)ボタンを押す。

お知らせ
- ターゲットデータが本機の色域外の場合、正しい色が表示できません。
- 「自動テストパターン」を「オン」にしておくと、選択された調整色の調整用テストパターンが自動的に表示されます。
- 色彩色差計などの計測器を使用して測定データを測定する場合は映像モード「ダイナミック」で測定してください。
- 使用される計測器及び測定環境によってターゲットデータの色度座標と測定器の測定値にずれが発生する場合があります。

■ カラーコレクション

オフ　　：標準の設定です。
ユーザー：ビデオ、Sビデオ、RGB、YP_BP_Rの4つの信号方式ごとに赤、緑、青、シアン、マゼンタ、黄の6色を調整し、登録することができます。
エンター（ENTER）ボタンを押し、詳細の設定を行ってください。

現在の信号方式を表示します。

■ コントラストモード

使用環境に合わせるために2種類のモードを持っています。

標準　：明るさが最大になります。
高　　：コントラストが最大になります。

■ 入力自動セットアップ

会議などで信号を頻繁に入力する場合、その都度リモコンのオートセットアップ(AUTO SETUP)ボタンを押さなくても画面表示位置を自動で調整することができます。

オン　：投写中の映像信号が変わった場合に自動的にオートセットアップを行います。
オフ　：入力自動セットアップ機能をオフにします。

■ バックカラー

本機に信号が入力されていないときの画面の色を設定します。

ブルー　：青色に設定します。
ブラック：黒色に設定します。
ロゴ1　：ユーザーが登録した画像を表示します。
ロゴ2　：Panasonicロゴを表示します。

■ スタートアップロゴ

電源を入れたときに表示するロゴ画面を設定します。

ロゴ2：標準の設定です。Panasonicロゴを表示します。
なし　：この機能をオフにします。
ロゴ1：ユーザーが登録した画像を表示します。

お知らせ
- 「ロゴ1」の画像作成には別途ソフトウェアが必要です。
販売店にご相談ください。

■ サブメモリー一覧

信号の種類が同じ画像調整データ（映像、ポジション、アドバンスドメニューの調整値）を複数登録できます。

サブメモリーへの登録方法

① ▲ ▼ボタンで登録するサブメモリー番号を選択する。
② エンター（ENTER）ボタンを押す。

お知らせ
- サブメモリーは1から8まであります。

サブメモリーへの切り換え方法

① ▲ ▼ボタンで切り換えるサブメモリー番号（1～8）を選択する。サブメモリーを使用しない場合は「－」を選択する。
② エンター（ENTER）ボタンを押す。

お知らせ
- 異なる信号方式のサブメモリーは選択できません。

サブメモリーの削除方法

① ▲ ▼ボタンで削除するサブメモリー番号（1～8）を選択する。

② デフォルト（DEFAULT）ボタンを押す。

③ 確認メッセージを確認して選択する。

■ DVI EDID

本機と外部機器をDVIで接続し、正常な映像が映らない場合は設定を切り換えてください。

EDID1

動画系の映像信号を出力する外部機器（DVDプレイヤーなど）がDVI端子に接続されている時に主に選択します。

EDID2:PC

静止画系の映像信号を出力する外部機器（パソコンなど）がDVI端子に接続されている時に主に選択します。

モード	EDIDデータ
EDID1	480p、576p、1080/60i、1080/50i、720/60p、720/50p、1080/60p、1080/50p
EDID2:PC	VGA60、SVGA60、XGA50、XGA60、XGA70、XGA75、XGA85、WXGA768/50※、WXGA768/60※、SXGA60

※PT-DW5100、PT-DW5100Lのみ

お知らせ
- 最適な設定は接続する外部機器の出力設定によって異なります。外部機器の出力については外部機器の取扱説明書などをご確認ください。
- 一部の機器では映像が出ないなど正常に動作しない場合があります。

■ DVI信号レベル

本機と外部機器をDVIで接続し、正常な映像が映らない場合は設定を切り換えてください。

0−255：PC

外部機器（パソコンなど）がDVI端子出力で接続されているときに主に選択します。

16−235

外部機器（DVDプレイヤーなど）が、HDMI端子出力で変換ケーブルなどを使用して接続しているときに主に選択します。

お知らせ
- 最適な設定は接続する外部機器の出力設定によって異なります。外部機器の出力については外部機器の取扱説明書などをご確認ください。
- 一部の機器では映像が出ないなど正常に動作しない場合があります。

■ FUNC1

リモコンのFUNC1ボタンの機能を設定します。

システムセレクター：

「映像」の「システムセレクター」と同じ働きをします。

システムデイライトビュー：

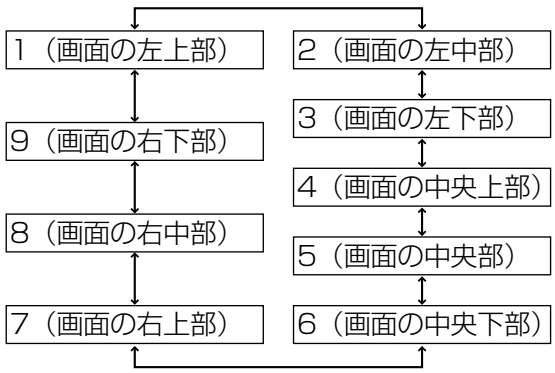
「映像」の「システムデイライトビュー」と同じ働きをします。

サブメモリー一覧：

「オプション1」の「サブメモリー一覧」と同じ働きをします。

■ オンスクリーン位置

オンスクリーンメニューが表示される位置を設定できます。



■ OSDメモリー

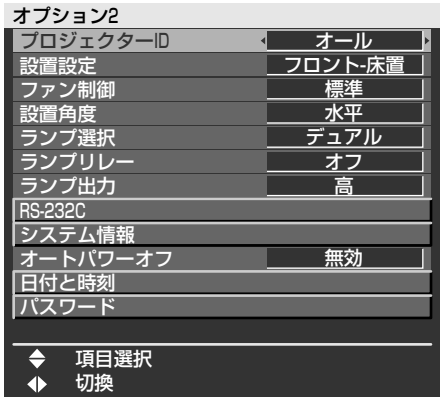
オンスクリーンメニューのカーソル位置の保持状態を設定できます。

オン　：カーソル位置を保持します。

オフ　：カーソル位置を保持しません。

お知らせ
- 「オン」に設定している場合でも本体の主電源をオフにした場合、カーソル位置は保持されません。

オプション2の設定



■ プロジェクターID

本機にはIDナンバーの設定機能があり、本機を複数台並べてご使用の場合には、１つのリモコンで同時制御や個別制御できます。**工場出荷時は「オール」に設定されていますので、１台だけでご使用の場合はIDナンバーの設定の必要はありません。**

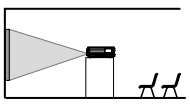
1～64：IDナンバーをこの範囲で設定します。

お知らせ
- IDナンバーは「オール」「1」～「64」まで設定可能です。
- IDナンバーを指定した場合は、リモコンのIDナンバーを本機のIDナンバーに合わせる必要があります。
- IDナンバー「オール」に設定すると、リモコンまたはコンピューターで制御の際、何番を指定してもIDナンバー「オール」の本機は動作します。本機を複数台並べて設置の場合、IDナンバーを「オール」に設定していると、他のIDナンバーを設定した本機と分けて制御することができなくなります。
  リモコンのID設定のしかたは15ページをご参照ください。

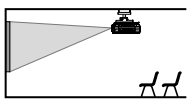
■ 設置設定

本体の設置方法に合わせて切り換えます。

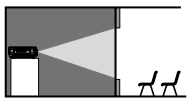
フロント-床置



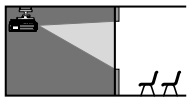
フロント-天つり



リア-床置



リア-天つり



■ ファン制御

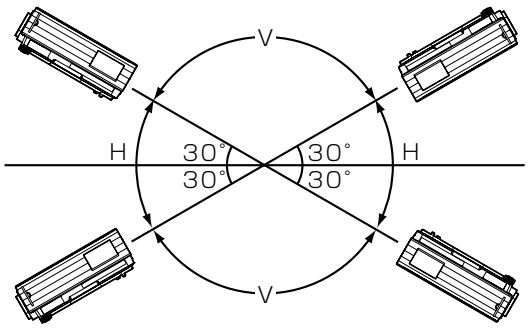
使用する状況によってファンを制御します。

標準　：標準の設定です。
高地　：海抜1 400 m以上で使用するときに選びます。

■ 設置角度

投写する方向によってファンを制御します。

水平　：標準の設定です。
垂直　：垂直方向に大きく傾けて（水平から30度を越える角度で）投写するときに選びます。



H：「水平」を選ぶ
V：「垂直」を選ぶ

お願い
- 投写する方向に合わせて、「設置角度」を正しく設定してください。
  誤った設定のままで使用するとランプの寿命を早める原因になります。

■ ランプ選択

本体に内蔵されている2個の光源ランプを使用条件や目的に合わせ「デュアル」と「シングル」の明るさに切り換えができます。
また「シングル」ではランプの自動切り換えと2灯のうちどちらか1灯を点灯する設定ができます。

デュアル ：2灯が点灯します。
シングル ：1灯が点灯します。（使用時間の短いランプを自動選択します）
ランプ1 ：ランプユニット1が常に点灯します。
ランプ2 ：ランプユニット2が常に点灯します。

上記を選んで、エンター（ENTER）ボタンを押すと設定が有効になります。

お知らせ

- 「シングル」、「ランプ1」、「ランプ2」のとき、ランプが不点灯状態になったり、積算時間が2 000時間（ランプ出力「高」設定時）を超えたりするともう一方のランプが点灯します。「デュアル」のとき、いずれかのランプが不点灯状態になったり、積算時間が2 000時間（ランプ出力「高」設定時）を超えたりするともう一方のランプのみ点灯します。
  ただし、どちらのランプも不点灯状態になったり、どちらのランプも2 000時間（ランプ出力「高」設定時）を越えている場合、本機はスタンバイ状態になります。
- 項目の色は状態を示しています。
  - 緑 →現在の設定
  - 黄 →現在の設定（失灯か点灯失敗しているランプがあるとき）
  - 赤 →点灯に失敗したランプ
  - 白 →上記以外
- 短時間の使用を繰り返すと、ランプの交換サイクルが早くなります。

■ ランプリレー

24時間以上連続で使用する場合、自動で点灯するランプを切り換えることによりランプの連続使用による劣化を軽減することができます。

オフ ：標準の設定です。この機能をオフにします。
00:00～23:00：00:00から23:00まで1時間間隔で設定できます。

お知らせ

- 「ランプ選択」で「デュアル」「シングル」選択時のみ「ランプリレー」機能は有効です。「ランプ1」「ランプ2」選択時は「ランプリレー」機能は使用できません。
- 「ランプ選択」で「デュアル」選択時は設定した時刻から4時間の間はランプ1灯のみ点灯状態となります。
- 「ランプ選択」で「シングル」選択時は設定した時刻に点灯していないランプを点灯させてから設定した時刻まで点灯していたランプを消灯させます。
- 時刻はローカル時刻で動作します。（38ページ）

■ ランプ出力

本体の使用環境や目的に合わせてランプの明るさを切り換えることができます。

高：高い輝度が必要なときに設定します。
低：高い輝度を必要としないときに設定します。

お知らせ

- 「低」の場合は、消費電力の節約、動作音の低減、ランプの寿命をのばすことができます。

■ RS-232C

シリアル端子での通信条件設定を行います。
シリアル端子については、「シリアル端子を使う」（50ページ）をご覧ください。

(入力) 通信速度：9600、19200、38400のいずれかを選びます。
(入力) パリティ：なし、偶数、奇数のいずれかを選びます。
(出力) 通信速度：9600、19200、38400のいずれかを選びます。
(出力) パリティ：なし、偶数、奇数のいずれかを選びます。
VPSシステム ：マスター、スレーブのいずれかを選びます。
グループ ：A～Zのいずれかを選びます。また、マスター、スレーブのいずれかを選びます。

■ システム情報

本機のシステムの情報を見ることができます。

■ オートパワーオフ

設定時間までに信号が入力されない場合、自動的に本機をスタンバイ状態にすることができます。

無効：
　標準の設定です。この機能をオフにします。
45分～90分：
　45分～90分まで15分間隔で設定できます。

■ 日付と時刻

本機内蔵時計のタイムゾーンと日時を設定できます。

タイムゾーン：日本は「+9:00」に設定してください。
時刻設定　　：現在の年月日と時刻を設定します。
ローカル日付 / ローカル時刻
　　：上で設定した日付と時刻が表示されます。

■ パスワード

サービス担当者が使用します。
リモコンの数字ボタン(0～9)で入力し、エンター(ENTER)ボタンで確定します。

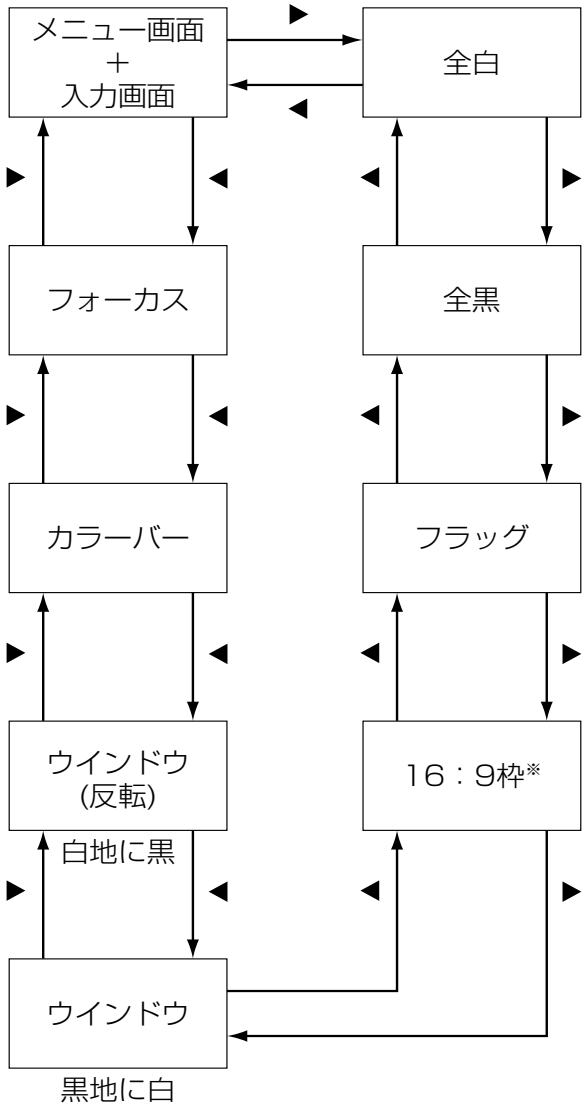
テストパターンの表示

本機の状態を確認するためのテストパターンを8種類内蔵しています。
テストパターンを表示させる場合は次の手順で操作してください。

リモコンのテストパターン(TEST PATTERN)ボタンを押す。
または、メインメニューで「テストパターン」を選択し、◀ ▶ボタンで各種テストパターンを切り換える。

お知らせ
- 位置、サイズなどの調整内容はテストパターンには反映されません。必ず入力信号を表示させた状態で各種設定を行ってください。

■ 内蔵テストパターンの表示チャート



※ PT-DW5100、PT-DW5100Lは4:3枠になります。

ネットワークの設定

パソコンで本機を制御するWebブラウザ（40ページ）機能を使うために、ネットワークに必要な設定をしておく必要があります。

ホスト名　：DHCPサーバーを利用する場合などに必要があれば変更してください。
有効文字数は1～12文字（空欄は不可）。

DHCP　：DHCPサーバーを利用し自動的にIPアドレスを取得する場合はDHCP項目をオンにします。
DHCPサーバーを利用しない場合はオフにします。

IPアドレス　：DHCPサーバーを利用しない場合はIPアドレスを入力します。

サブネットマスク：DHCPサーバーを利用しない場合はサブネットマスクを入力します。

ゲートウェイ　：DHCPサーバーを利用しない場合はゲートウェイアドレスを入力します。

ネットワーク ステータス
：DHCP、IPアドレスなど、本体のネットワークの状態を表示します。

保存　：設定した内容を保存します。

お願い
- DHCPサーバーを利用する場合、DHCPサーバーが立ち上がっていることを確認ください。
- IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ ネットワーク機能の設定を工場出荷状態に戻す

IPアドレスやパスワード、Eメールの設定などネットワーク機能の全ての設定を工場出荷状態にできます。

① **▲ ▼ボタンで「保存」を選択する。**

② **デフォルト（DEFAULT）ボタンを3秒間押し続ける。**
確認画面を表示します。
実行しない場合はメニュー（MENU）ボタンを押すと「ネットワーク」画面を表示します。

③ **エンター（ENTER）ボタンを押す。**

パソコンの接続

■ 必要なシステム構成

ネットワーク機能を使用するには下記の条件を満たすシステムが必要です。

● **パソコン**

OS　：Windows XP/2000/Me（Millennium Edition）/98SE（Second Edition）
CPU　：PentiumⅢ以上のプロセッサー搭載
メモリー　：64 MB以上（Windows XP/2000の場合は、128 MB以上）
Webブラウザ　：Internet Explorer 6.0以上
Netscape Communicator7.0以上

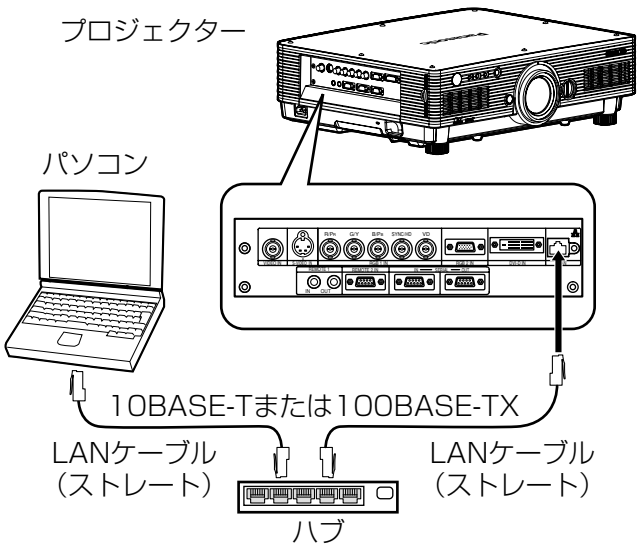
● **LANケーブル**

タイプ　：ストレート結線でカテゴリー5対応のもの
長さ　：100 m以下

お願い
- Eメール機能を使用する場合は、Eメールが使用できることを確認しておいてください。

上記の条件を満たす、すべてのシステムについて動作を保証するものではありません。

■ 接続例



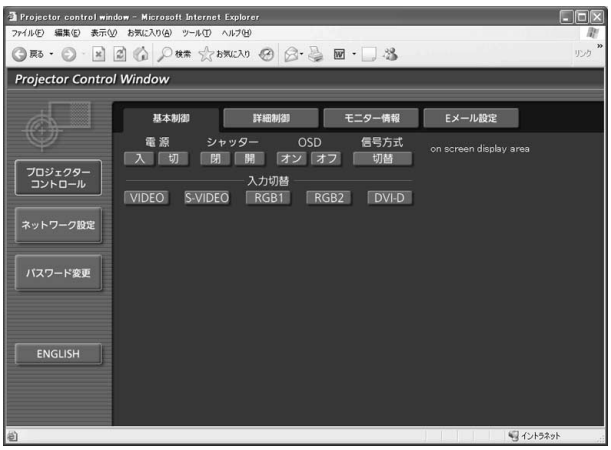
お願い
- 静電気を帯びた手（体）でLAN端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。
LAN端子及びLANケーブルの金属部に触れないようにしてください。
- LANは屋内の機器に接続してください。

Webブラウザコントロールを使用する

本機はネットワーク機能を備えており、Webブラウザコントロールを使用してパソコンから下記のような操作ができます。

- プロジェクターの設定と調整
- プロジェクターの状態表示
- プロジェクターが異常時のEメールメッセージの送信

■ Webブラウザからのアクセスのしかた



① パソコンのWebブラウザを起動し、本機で設定したIPアドレスを入力する。

② ユーザー名欄に“user1”を入力し、パスワード欄にパスワードを入力する。

パスワードの初期設定は、“panasonic（小文字）”です。変更したときは、変更後のパスワードを入力してください。

“領域”には本機で設定したホスト名が表示されます。

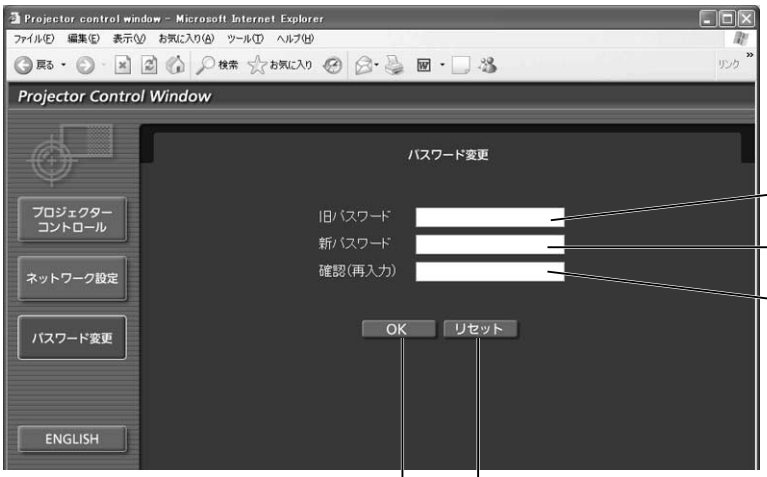
③［OK］をクリックする。

基本制御ページが表示されます。

お知らせ
- Webブラウザを同時に複数立ち上げて、設定や制御を行うのは避けてください。
- まず最初にパスワードの変更を行ってください。

■ パスワード変更ページ

［パスワード変更］をクリックします。



旧パスワード入力欄

新パスワード入力欄

新パスワード（確認）入力欄

入力した文字を全て消去するためのボタン

パスワード変更の実行ボタン

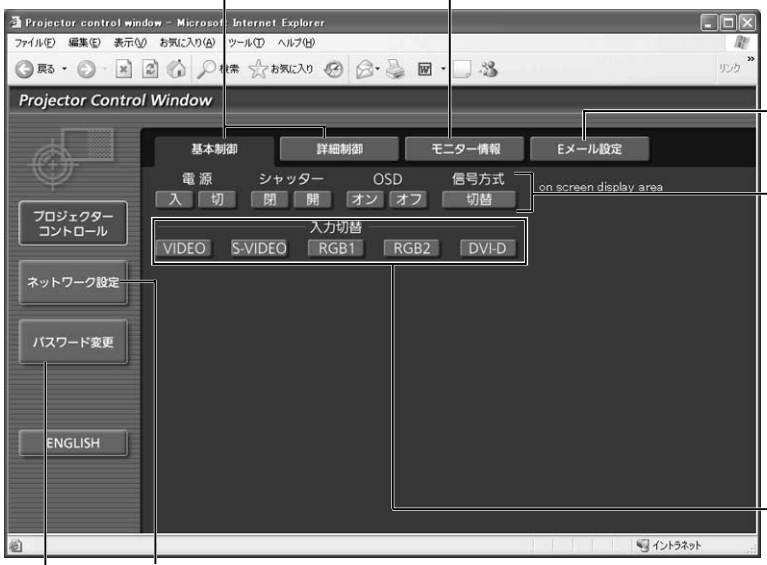
■ 基本制御ページ

Webブラウザからアクセスしたときの最初のページです。
他のページから移行するときは、［プロジェクターコントロール］→［基本制御］をクリックします。

コントロールボタン
この項目をクリックすると、プロジェクターの制御ページが表示されます。

モニター情報ボタン
この項目をクリックすると、プロジェクターの状態が表示されます。

E-メール設定ボタン
この項目をクリックすると、E-メール設定ページが表示されます。



電源：電源のON/OFF操作

シャッター：シャッターの操作

OSD：オンスクリーン表示（OSD）の表示／非表示の切り換え

信号方式：信号方式の切り換え

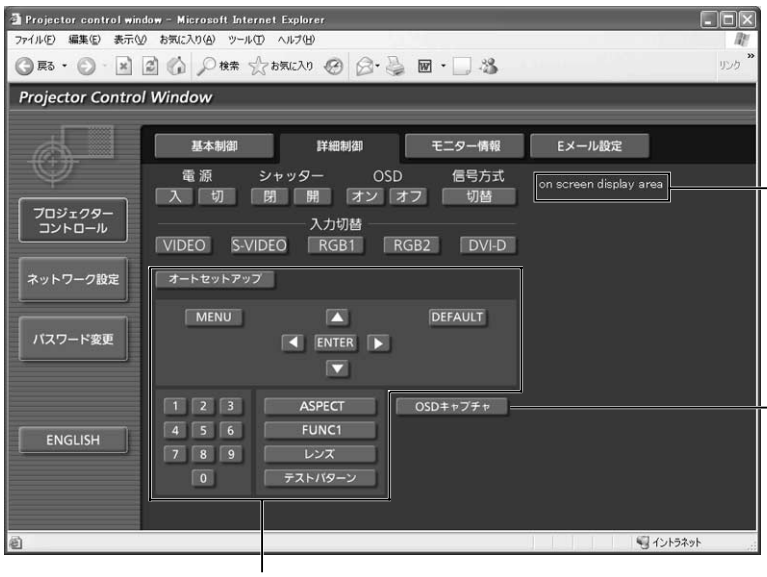
入力切り換え

ネットワーク設定ボタン
この項目をクリックすると、IPアドレスなどのネットワーク設定ページが表示されます。

パスワード変更ボタン

■ 詳細制御ページ

［プロジェクターコントロール］→［詳細制御］をクリックします。



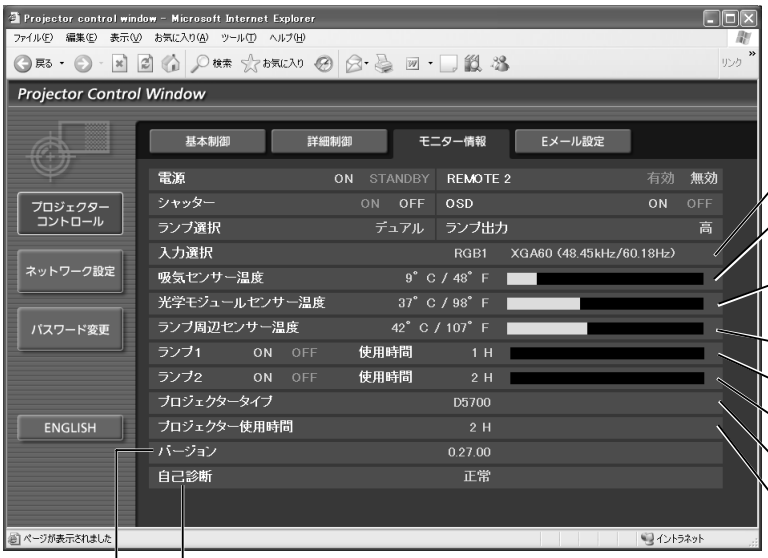
オンスクリーン状態を表示します。プロジェクターのオンスクリーンがオフに設定されていても表示します。

制御ページ右側のオンスクリーンを最新の状態に更新します。

リモコンのボタンと同じように各ボタンを押すことによりプロジェクターを制御します。制御後に制御ページ右側のオンスクリーンを更新します。

■ モニター情報ページ

［プロジェクターコントロール］→［モニター情報］をクリックします。
以下の項目における本機の状態を表示します。



入力切り換えの状態を表示します。

プロジェクターの吸気温度状態を表示します。

プロジェクターの庫内温度状態を表示します。

ランプ周辺の温度状態を表示します。

ランプ1の点灯時間を表示します。

ランプ2の点灯時間を表示します。

プロジェクターの種類を表示します。

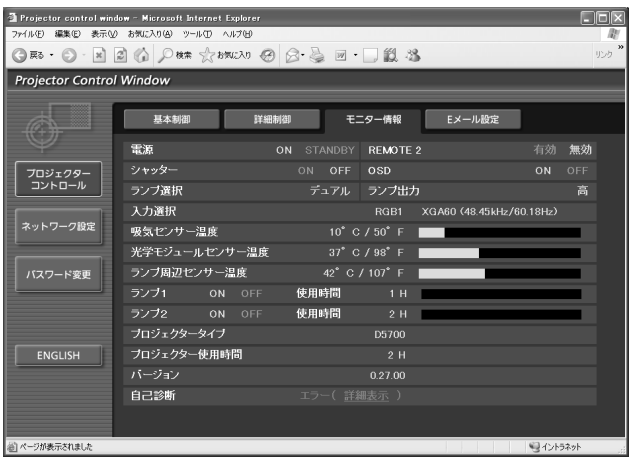
プロジェクターの使用時間を表示します。

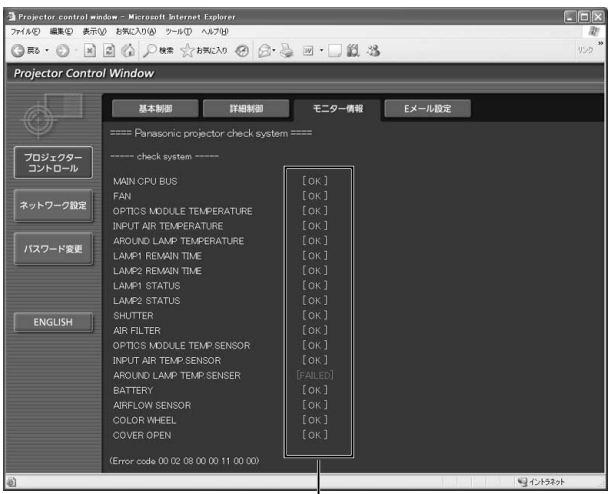
自己診断情報を表示します。

プロジェクター本体のファームウェアバージョンを表示します。

■ エラー情報ページ

モニター情報画面で エラー 詳細表示 が表示されたとき、その部分をクリックするとエラー内容が表示されます。





OK：正常動作
FAILED：異常発生

お知らせ・エラーの内容によっては、プロジェクター保護のためスタンバイ状態になります。

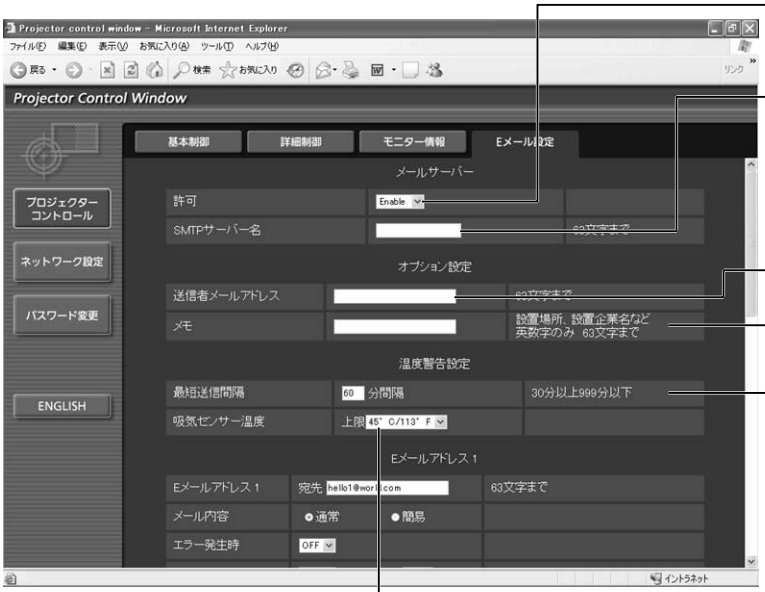
[FAILED] と表示されたとき：

項　目	説　明
MAIN CPU BUS	マイコン回路に異常があります。販売店にご相談ください。
FAN	ファンやファン駆動回路に異常があります。販売店にご相談ください。
OPTICS MODULE TEMPERATURE	本機内部の温度が高くなっています。 暖房機器の近くなど、周囲温度の高い環境で使用している可能性があります。
INPUT AIR TEMPERATURE	吸気温度が高くなっています。 暖房機器の近くなど、周囲温度の高い環境で使用している可能性があります。
AROUND LAMP TEMPERATURE	ランプ周辺の温度が高くなっています。 排気孔がふさがれている可能性があります。
LAMP REMAIN TIME	ランプ使用時間が所定の積算時間を越えており、ランプを交換する時期になっています。
LAMP STATUS	ランプ点灯に失敗しています。 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。
SHUTTER	シャッター回路に異常があります。販売店にご相談ください。
AIR FILTER	エアーフィルターにほこりがたまり過ぎています。 23ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、エアーフィルターの掃除を行ってください。(53ページ)
OPTICS MODULE TEMP.SENSOR	本機内部の温度感知センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
INPUT AIR TEMP.SENSOR	吸気温度感知用センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
AROUND LAMP TEMP. SENSOR	ランプ周辺温度感知用センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
BATTERY	電池交換が必要です。販売店にご相談ください。
AIRFLOW SENSOR	風量センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
COLOR WHEEL	カラーホイールやカラーホイール駆動回路に異常があります。 販売店にご相談ください。
COVER OPEN	ランプユニット収納扉の取り付けが不完全です。ランプユニット収納扉の取り付けを確認してください。(55ページ)

■ Eメール設定ページ

異常時やランプの使用時間が設定値になったとき、あらかじめ設定しておいたEメールアドレス（最大2個所）にメールを送信することができます。

［プロジェクターコントロール］→［Eメール設定］をクリックします。



E-メール機能を使用する場合は「Enable」を選択してください。

E-メールサーバー（SMTP）のIPアドレスかサーバー名を入力してください。
サーバー名を入力する場合はDNSサーバーの設定が必要です。

プロジェクターのE-メールアドレスを入力してください。（半角で63文字まで）

E-メールの発信元がわかりやすいようにプロジェクターの設置場所などを入力することができます。
（半角で63文字まで）

温度警告メールの最少時間間隔を変更できます。
初期値は60分です。この場合、温度警告メールを送信後60分間は、再び警告温度になってもメールを送信できません。

温度警告メール用の設定温度を変更できます。
この値を超えた場合、温度警告メールを送信します。

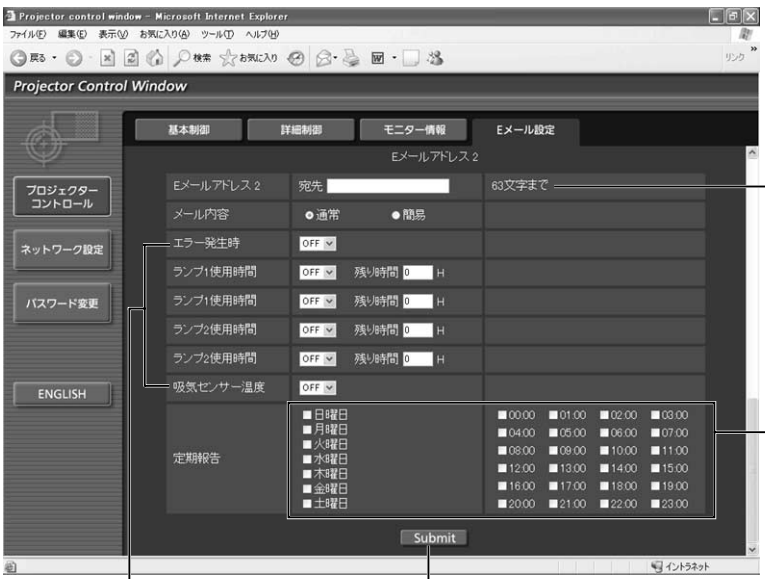
（次ページへつづく）

■Eメール設定ページ（つづき）

送信する宛先のE-メールアドレスを入力してください。

E-メールを送信する条件を選択します。
エラー発生時：
自己診断でエラーが発生した場合
ランプ使用時間：
ランプの点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合
吸気センサー温度：
吸気温度が上欄に設定された値になった場合

E-メールを定期的に送信する場合はチェックします。チェックのついている曜日・時間にメールを送信します。



2つのE-メールアドレスを使う場合に、送信する宛先のE-メールアドレスを入力します。2つのE-メールアドレスを使わない場合は未記入にします。

2つ目のE-メールアドレスにE-メールを定期的に送信する場合はチェックします。チェックのついている曜日・時間にメールを送信します。

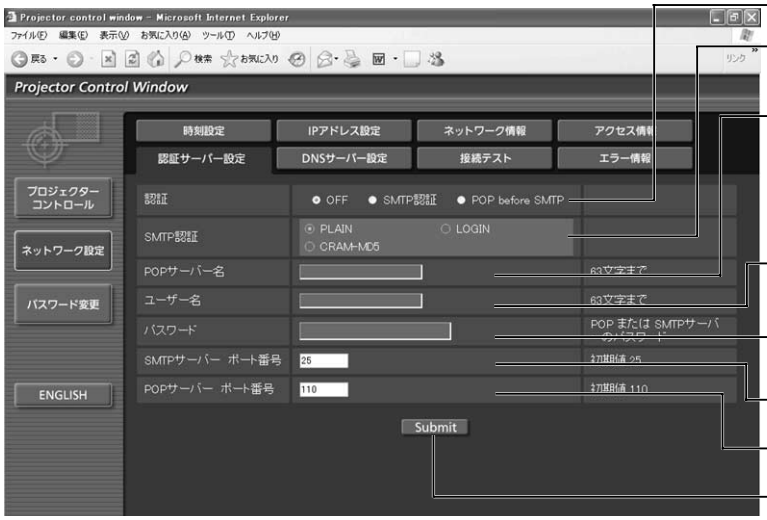
全ての入力を終えたら、Submitボタンを押します。

2つ目のE-メールアドレスにE-メールを送信する条件を選択します。
エラー発生時：自己診断でエラーが発生した場合
ランプ使用時間：ランプの点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合
吸気センサー温度： 吸気温度が上欄に設定された値になった場合

お知らせ・メールアドレスに設定できる文字は、英数字、ピリオド(.)、下線(_)、ハイフン(−)、アットマーク(@)のみです。

■ 認証サーバー設定ページ

メール送信にPOP認証またはSMTP認証が必要な場合は認証項目を設定します。
［ネットワーク設定］→［認証サーバー設定］をクリックします。



認証方式を切り換えます。

SMTP 認証の場合、使用する認証方式を切り替えます。

POP サーバーの名前を入力します。
使用可能文字：
英数字（A-Z、a-z、0-9）
マイナス記号（−）ピリオド（.）

SMTP サーバーまたは、POP サーバーのユーザー名を入力します。

SMTP サーバーまたは、POP サーバーのパスワードを入力します。

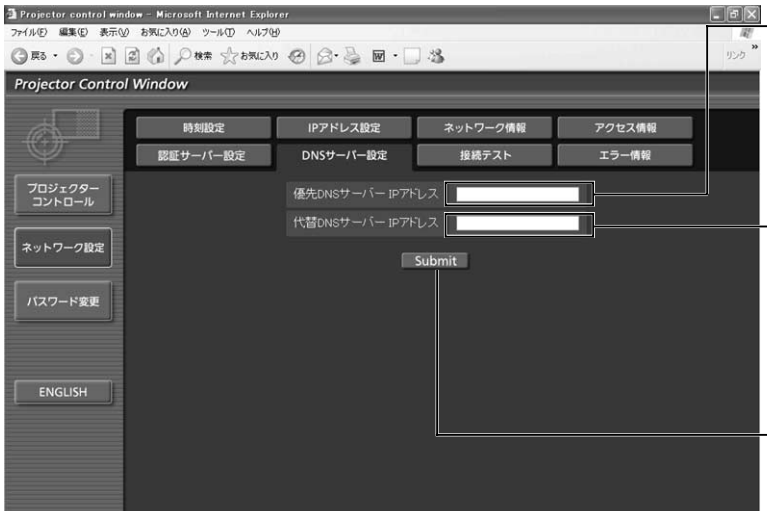
SMTP サーバーのポート番号を入力します。

POP サーバーのポート番号を入力します。

設定の更新ボタン

■ DNSサーバー設定ページ

［ネットワーク設定］→［DNSサーバー設定］をクリックします。



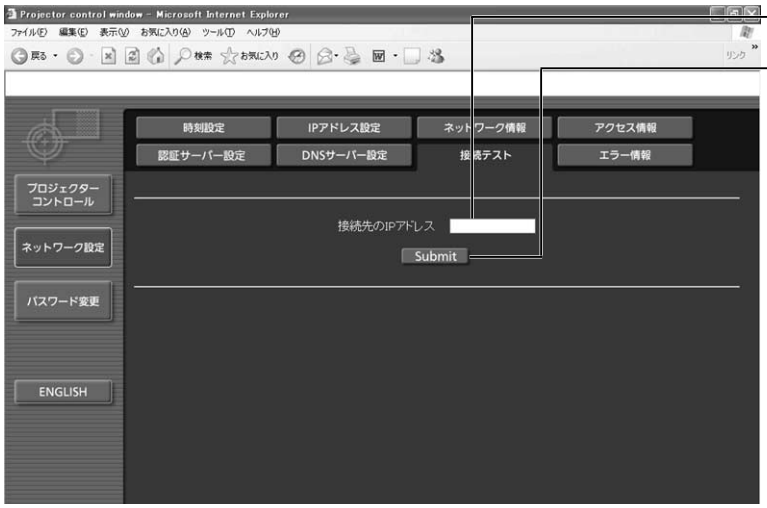
DNSサーバーアドレス（プライマリー）の入力
使用可能文字：
数字（0-9）、ピリオド（.）
（例：192.168.0.253）

DNSサーバーアドレス（セカンダリー）の入力
使用可能文字：
数字（0-9）、ピリオド（.）
（例：192.168.0.254）。

設定の更新ボタン

■ 接続テストページ

メールサーバー、認証サーバー、DNSサーバーなどとネットワークが接続しているかを確認できます。
［ネットワーク設定］→［接続テスト］をクリックします。



テストするサーバーのIPアドレスの入力

テストの実行ボタン

```
PING 192.168.0.122 (192.168.0.122): 56 data bytes
64 bytes from 192.168.0.122: icmp_seq=0 ttl=128 time=0.6 ms
64 bytes from 192.168.0.122: icmp_seq=1 ttl=128 time=3.1 ms
64 bytes from 192.168.0.122: icmp_seq=2 ttl=128 time=4.5 ms
64 bytes from 192.168.0.122: icmp_seq=3 ttl=128 time=5.8 ms

--- 192.168.0.122 ping statistics ---
4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.6/3.5/5.8 ms
```

接続できた場合の表示

```
PING 192.168.0.122 (192.168.0.122): 56 data bytes

--- 192.168.0.122 ping statistics ---
4 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
```

接続できなかった場合の表示

■送信するメール内容

●E-メール設定を行ったときはこのようなメールを発信します。

```
=== Panasonic projector report(CONFIGURE) ===
Projector Type        : D5700

-----  E-mail setup data -----
TEMPERATURE WARNING SETUP
MINIMUM TIME          at [ 60] minutes interval
INPUT AIR TEMPERATURE  Over [ 45C / 113F ]

ERROR                          [ ON ]
LAMP1 RUNTIME                  [ ON ]    at REMAIN [ 100] H
LAMP1 RUNTIME                  [ ON ]    at REMAIN [ 200] H
LAMP2 RUNTIME                  [ ON ]    at REMAIN [ 300] H
LAMP2 RUNTIME                  [ ON ]    at REMAIN [ 400] H
INPUT AIR TEMPERATURE    [ OFF ]

PERIODIC REPORT
Sunday    [ ON ]  Monday  [ OFF ]  Tuesday  [ ON ]  Wednesday  [ OFF ]
Thursday  [ ON ]  Friday    [ OFF ]  Saturday [ ON ]

00:00 [ ON ]   01:00 [ OFF ]   02:00 [ ON ]   03:00 [ OFF ]
04:00 [ OFF ]  05:00 [ ON ]    06:00 [ OFF ]  07:00 [ ON ]
08:00 [ ON ]   09:00 [ OFF ]   10:00 [ ON ]   11:00 [ OFF ]
12:00 [ OFF ]  13:00 [ ON ]    14:00 [ OFF ]  15:00 [ ON ]
16:00 [ ON ]   17:00 [ OFF ]   18:00 [ ON ]   19:00 [ OFF ]
20:00 [ OFF ]  21:00 [ ON ]    22:00 [ OFF ]  23:00 [ ON ]

-----  check system -----
MAIN CPU BUS                          [   OK   ]
FAN                                   [   OK   ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE     [   OK   ]
INPUT AIR TEMPERATURE         [   OK   ]
AROUND LAMP TEMPERATURE       [   OK   ]
LAMP2 REMAIN TIME             [   OK   ]
LAMP1 REMAIN TIME             [   OK   ]
•
•
•
```

●エラーになったときはこのようなメールを発信します。

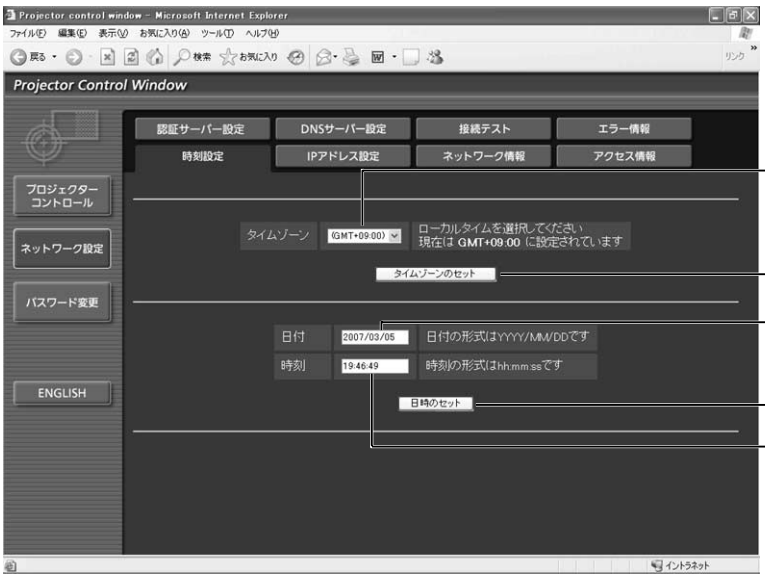
```
=== Panasonic projector report(ERROR) ===
Projector Type        : D5700

------  check system ------
MAIN CPU BUS                          [   OK   ]
FAN                                   [   OK   ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE     [   OK   ]
INPUT AIR TEMPERATURE         [   OK   ]
AROUND LAMP TEMPERATURE       [   OK   ]
LAMP2 REMAIN TIME             [   OK   ]
LAMP1 REMAIN TIME             [   OK   ]
LAMP2 STATUS                  [   OK   ]
LAMP1 STATUS                  [   OK   ]
SHUTTER                       [ FAILED ]
AIR FILTER                    [   OK   ]
OPTICS MODULE TEMP.SENSOR     [   OK   ]
INPUT AIR TEMP.SENSOR         [   OK   ]
AROUND LAMP TEMP.SENSOR       [   OK   ]
BATTERY                       [   OK   ]
AIRFLOW SENSOR                [   OK   ]
COLOR WHEEL                   [   OK   ]
COVER OPEN                    [   OK   ]
(Error code 00 10 00 00 00 00 00 00)
Input air temperature         : 30 degC /  86 degF
Optics module temperature  : 30 degC /  86 degF
Around lamp temperature    : 37 degC /  98 degF
SET RUNTIME          30 H
POWER ON             33 times
LAMP1 ON             34 times
LAMP1 LOW            25 H
LAMP1 HIGH            5 H
LAMP2 ON             24 times
LAMP2 LOW            16 H
LAMP2 HIGH            4 H
LAMP1 REMAIN     1476 H
LAMP2 REMAIN     1484 H

----- Network configuration -----
IP address 192.168.0.8
MAC address 00:00:00:00:00:00
Thu Mar 02 14:11:02 2006
----- Memo -----
```

■時刻設定ページ

［ネットワーク設定］→［時刻設定］をクリックします。



タイムゾーンの選択
（日本はGMT＋09:00）

タイムゾーンの設定更新ボタン

変更する日にちの入力

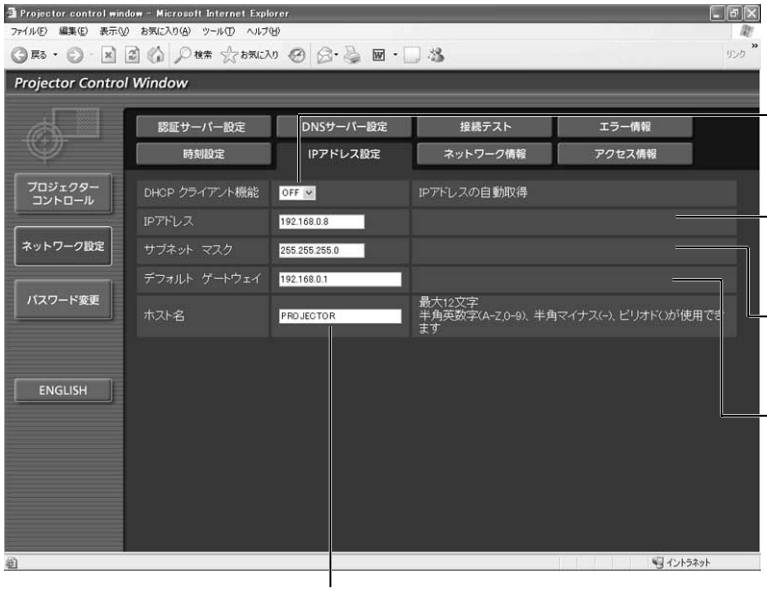
日時設定の更新ボタン

変更する時間の入力

お知らせ・時刻を設定してもすぐに時刻が合わなくなる場合は、電池交換が必要です。
お買い上げの販売店にご相談ください。

■ IPアドレス設定ページ

［ネットワーク設定］→［IPアドレス設定］をクリックします。



DHCPクライアント機能を有効にする場合はONにします。

DHCPサーバーを利用しない場合はIPアドレスを入力します。

DHCPサーバーを利用しない場合はサブネットマスクを入力します。

DHCPサーバーを利用しない場合はゲートウェイアドレスを入力します。

プロジェクターの名前を入力します。DHCPサーバーを利用する場合などにホスト名が必要であれば入力してください。

■ ネットワーク情報ページ

［ネットワーク設定］→［ネットワーク情報］をクリックします。

ネットワークソフトのバージョン表示

設定したIPアドレスの表示

設定したサブネットマスクの表示

MACアドレスの表示

ネットワークの状態表示

PJLink™プロトコルを使用する

本機のネットワーク機能はPJLink™クラス１に対応しており、PJLink™プロトコルを使用してパソコンから下記のような操作ができます。

- プロジェクターの設定
- プロジェクターの状態問い合わせ

■ 対応コマンド

PJLink™プロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容	備　考
POWR	電源制御	パラメーター 0＝スタンバイ 1＝電源「入」
POWR ?	電源状態問合せ	パラメーター 0＝スタンバイ 1＝電源「入」 2＝クーリング中 3＝ウォームアップ中
INPT	入力切り換え	パラメーター 11＝RGB1 12＝RGB2 21＝VIDEO 22＝S-VIDEO 31＝DVI-D
INPT ?	入力切り換え問合せ	
AVMT	シャッター制御	パラメーター 30＝シャッターモード オフ（映像ミュート解除） 31＝シャッターモード オン（映像ミュート）
AVMT ?	シャッター状態問合せ	
ERST ?	エラー状態問合せ	パラメーター 1バイト目：ファンエラーを意味し、0～2のいずれか 2バイト目：ランプエラーを意味し、0～2のいずれか 3バイト目：温度エラーを意味し、0～2のいずれか 4バイト目：カバーオープンエラーを意味し、0～2のいずれか 5バイト目：フィルター警告を意味し、0～2のいずれか 6バイト目：その他のエラーを意味し、0～2のいずれか 0～2の各意味は以下の通り 0＝エラーを検知していない　　1＝警告　　2＝エラー
LAMP ?	ランプ状態問合せ	パラメーター 1つ目の数字(1～5桁)：ランプ1積算時間 2つ目の数字：0＝ランプ1消灯、1＝ランプ1点灯 3つ目の数字(0～5桁)：ランプ2積算時間 4つ目の数字：0＝ランプ2消灯、1＝ランプ2点灯
INST ?	入力切り換え一覧問合せ	パラメーターは下記の値を応答します 「11 12 21 22 31」
NAME ?	プロジェクター名問合せ	「ネットワーク」の「ホスト名」で設定した名称を応答します
INF1 ?	メーカー名問合せ	「Panasonic」と応答します
INF2 ?	機種名問合せ	「D5700」または「DW5100」と応答します
INFO ?	その他情報問合せ	バージョン番号などを応答します
CLSS ?	クラス情報問合せ	「1」と応答します

■ PJLink™セキュリティ認証

PJLink™で使用するパスワードはWebブラウザコントロールで設定したパスワードと同じです。
認証なしで使用する場合は、Webブラウザコントロールのパスワードをなしに設定してください。

- PJLink™は、日本、米国、その他の国や地域における出願商標です。
  PJLink™に関する仕様については(社)ビジネス機械･情報システム産業協会のWEBサイトを参照してください。
  URL　http://pjlink.jbmia.or.jp/

セキュリティの設定

本機のセキュリティ機能としてパスワード入力画面を表示させたり、投写している映像の下に会社のURLなどを設定して表示させることができます。

(はじめてご使用になる場合)

▲ ▶ ▼ ◀ ▲ ▶ ▼ ◀ ボタンを順に押し、エンター(ENTER)ボタンを押してください。

(以前にパスワードを変更された場合)

変更したパスワードを入力し、エンター(ENTER)ボタンを押してください。

■ パスワード入力

電源を入れたときにパスワード入力画面を表示させることができます。正しくパスワードを入力しない限り、電源(POWER)ボタン以外の操作ができなくなります。

オン　：パスワード入力を有効にします。

オフ　：パスワード入力を無効にします。

■ パスワード変更

パスワードを変更することができます。エンター(ENTER)ボタンを押してください。

① ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンでパスワードを設定する。(最大8つのボタンを設定できます。)

② エンター(ENTER)ボタンを押す。

③ 確認のため、再度パスワードを入力する。

④ エンター(ENTER)ボタンを押す。(設定終了)

お知らせ
- パスワードを入力しても画面上では、＊印で表示されます。
- パスワードを間違えると「新規」に戻ります。再度パスワードを入力してください。

■ 表示設定

下記設定のように表示させることができます。

オフ　　：通常の映像を表示します。

テキスト：投写中の映像の下に設定した文字を常時表示します。

ロゴ1　：ユーザーが登録した画像を表示します。

ロゴ2　：Panasonicロゴを表示します。

■ テキスト変更

「表示設定」を「テキスト」にしたときに表示される文字を変更することができます。

エンター(ENTER)ボタンを押してください。

① ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで文字を選び、エンター(ENTER)ボタンを押す。(22文字まで続けて入力することができます。)

② ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで「OK」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押す。

- 中止したい場合は「CANCEL」を選んでください。

■ 操作設定

リモコン及び本体操作部からの制御を制限する事ができます。

本体操作部　：本体操作部からの制御の制限を設定できます。
　有効：本体操作部制御有効
　無効：本体操作部制御無効

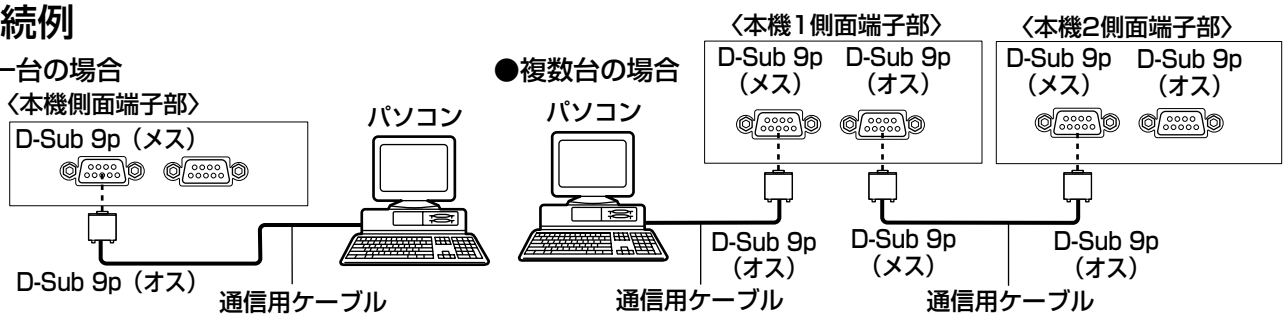
リモコン　　：リモコンからの制御の制限を設定できます。
　有効：リモコン制御有効
　無効：リモコン制御無効

お知らせ
- 変更した設定は、「有効」「無効」メニューでエンター(ENTER)ボタンを押した後に表示される確認画面で「実行」が選択された場合にのみ反映されます。設定が反映されるとオンスクリーンメニューが消えます。継続して操作を行う場合はMENUボタンを押してメインメニューを表示させてください。
- 「無効」に設定したリモコン、もしくは本体操作部から制御された場合は、セキュリティパスワード画面が表示されます。設定を変更する場合はセキュリティパスワードを入力し操作設定を変更してください。セキュリティパスワード画面はMENUボタンを押下、もしくは10秒間何も操作されない場合消えます。

シリアル端子を使う

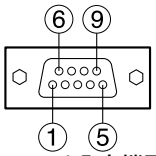
本体側面端子部のシリアル(SERIAL)端子はRS-232C準拠のためパソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。シリアル出力端子を設けていますので本体の複数制御が可能です。

■ 接続例



■ ピン配列と信号名

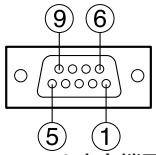
D-Sub 9p（メス）
外側から見た図



シリアル入力端子

ピンNo.	信号名	内　容
①		NC
②	TXD	送信データ
③	RXD	受信データ
④		内部で接続されています
⑤	GND	グランド
⑥		NC
⑦	CTS	内部で接続されています
⑧	RTS	
⑨		NC

D-Sub 9p（オス）
外側から見た図



シリアル出力端子

ピンNo.	信号名	内　容
①		NC
②	RXD	受信データ
③	TXD	送信データ
④		NC
⑤	GND	グランド
⑥		NC
⑦	RTS	内部で接続されています
⑧	CTS	
⑨		NC

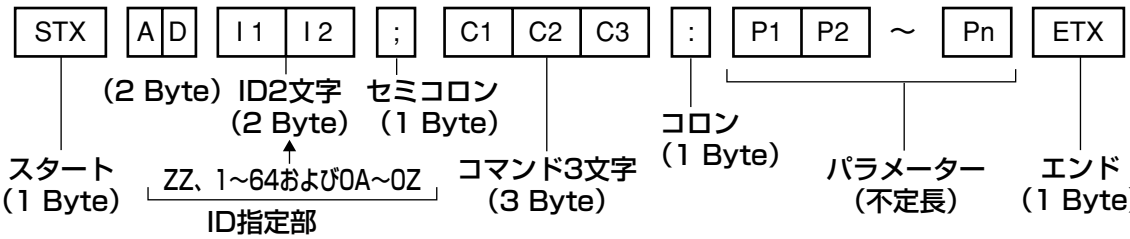
■ 通信条件

（工場出荷設定）

信号レベル	RS-232C準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600 bps
パリティ	なし
キャラクター長	8ビット
ストップビット	1ビット
Xパラメーター	なし
Sパラメーター	なし

■ 基本フォーマット

パソコンからの伝送はSTXで開始され、続いてID、コマンド、パラメーター、最後にETXの順に送信します。
パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



お願い

- ランプ点灯開始直後、約60秒間にコマンドを送信すると、応答が遅く帰ってきたり、コマンドが実行できないことがあります。60秒経過後に送受信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから0.5秒以上経過後に次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン（：）は必要ありません。

お知らせ

- コマンドが実行できない場合、本機から「ER401」という応答がパソコン側に送信されます。
- 無効なパラメーターを送信すると、本機から「ER402」という応答がパソコン側に送信されます。
- RS-232CでのID送信はZZ(オール)と1から64および0A～0Zのグループの対応になっています。
- ID指定でコマンドを送信した場合、以下のときのみパソコンへの応答を返します。
  本機IDと一致した場合
  ID指定がオールかつVPS-システムがマスターの場合
  ID指定がグループかつグループがマスターの場合
- STXは16進数で02、ETXは16進数で03のキャラクターコードです。

■ 制御コマンド

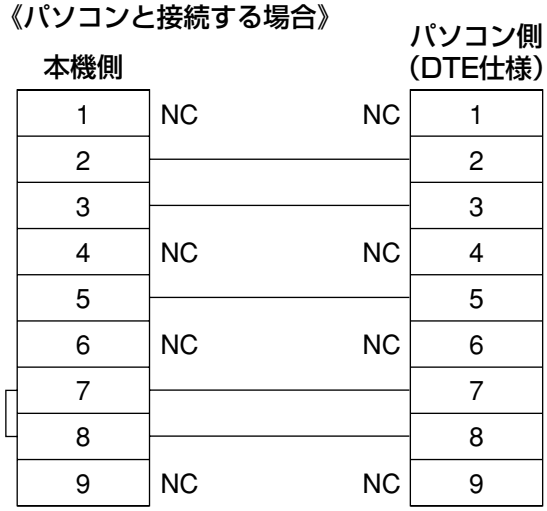
パソコンで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容	備　考
PON	電源「入」	電源「入」になっているかを確認する場合は、「電源問い合わせ」コマンドを使用してください。
POF	電源「スタンバイ」	
QPW	電源問い合わせ	パラメーター 000＝スタンバイ 001＝電源「入」
I I S	入力切り換え	パラメーター VID＝VIDEO　SVD＝S-VIDEO RG1＝RGB1　RG2＝RGB2 DVI=DVI-D
QSL	使用ランプモード問い合わせ	パラメーター 0＝デュアル 1＝シングル 2＝ランプ1 3＝ランプ2 ※「シングル」はランプ1、ランプ2のうち使用時間の短い方を使用する。
LPM	使用ランプモード	パラメーター 0＝デュアル 1＝シングル 2＝ランプ1のみオン 3＝ランプ2のみオン
OLP	ランプ出力設定	パラメーター 0=高、1=低

お知らせ
- 詳しいコマンドリストが必要な場合は、販売店にご相談ください。

■ ケーブル仕様

《パソコンと接続する場合》

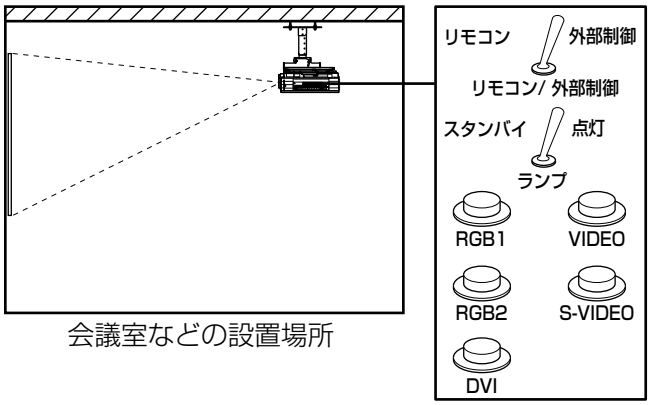


お願い
- シリアル(SERIAL)端子とパソコンをつなぐ通信用ケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

リモート2端子を使う

本体側面端子部のリモート2入力(REMOTE 2 IN)端子を使用することで、設置場所から離れたリモコンの信号が届かない場所にある制御盤などから、本体を遠隔制御することができます。

設置例

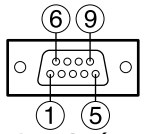


会議室などの設置場所

別の場所にある遠隔制御盤

ピン配列と制御内容について

制御を行う場合は必ず、①番ピンと⑨番ピンは短絡させてください。



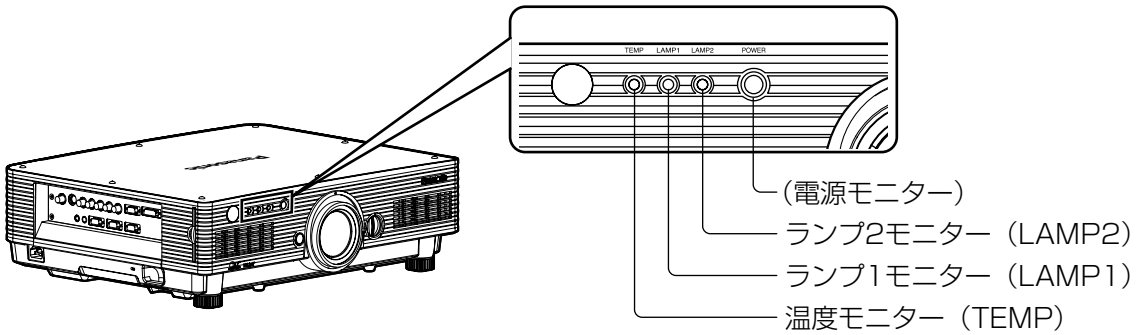
D-Sub 9p(メス)
外側から見た図

	端子名称	オープン（H）	ショート（L）
①	GND	――	GND
②	POWER	OFF	ON
③	RGB1	その他	RGB1
④	RGB2	その他	RGB2
⑤	VIDEO	その他	VIDEO
⑥	S-VIDEO	その他	S-VIDEO
⑦	DVI	その他	DVI
⑧	SHUTTER	OFF	ON
⑨	RST / SET	リモコン制御	外部接点制御

お知らせ
- ①番、⑨番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの以下のボタンが使用できなくなります。
  電源(POWER)ボタン、SHUTTERボタン
  また、これらの機能に相当するRS-232C用コマンドやネットワーク機能も使用できなくなります。
- ①番、⑨番ピンを短絡させて、さらに③～⑦番ピンのいずれかと①番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの以下のボタンが使用できなくなります。
  POWER、RGB1、RGB2、DVI-D、
  VIDEO、S-VIDEO、SHUTTER
  また、これらの機能に相当するRS-232C用コマンドやネットワーク機能も使用できなくなります。

モニター部の表示について

本体前面上部には、ランプの交換時期、内部温度の異常を知らせる3つのモニターがついています。
これらのモニターは異常などを点滅や点灯で表示します。
電源を切り下記の処置をしてください。



モニター名	モニター表示	現象	ここをお調べください	処置のしかた
温度モニター TEMP ◎	赤色点灯	ウォームアップ状態	• 気温が低い(0 ℃付近)状況で電源を「入」にしませんでしたか。	• このままの状態で5分ほどお待ちください。 • 周囲温度0 ℃～45 ℃の場所に設置してください。
		内部が高温になっている(警告)	• 通風孔がふさがれていませんか。 • 気温の高い所で使用していませんか。 • エアーフィルターにほこりがたまっていませんか。	• 通風孔をふさいでいるものを取り除いてください。 • 周囲温度0 ℃～45 ℃、周囲湿度20 %～80 %(非結露)の場所に設置してください。 • 23ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、エアーフィルターの掃除を行ってください。(53ページ)
	赤色点滅(1回)	フィルターがめづまりしている		
	赤色点滅(2回)	内部が高温になっている(スタンバイ状態)		
	赤色点滅(3回)	ファンが止まっている	———	• 23ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、販売店にご相談ください。
ランプモニター LAMP1 ◎ LAMP2 ◎	赤色点灯	ランプユニットの交換時期を表示している	• 本機の電源を入れたときに「ランプ交換」という表示が出ませんでしたか。 • ランプユニットが正しく装着されていますか。	• ランプユニットの使用時間が1 800時間（ランプ出力「高」設定時）に達すると点灯します。
	赤色点滅(3回)	ランプまたはランプ用電源の異常を検知している	• 電源を切ってからすぐに電源を入れ直していませんか。	• 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。
			• ランプ回路に異常が発生しています。 • 電源電圧が変動(低下)していませんか。	• 23ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、販売店にご相談ください。

お願い
- 温度モニター（TEMP）、ランプモニター（LAMP）の表示により処置を行うときの電源操作は22、23ページの手順を必ずお守りください。
- 電源モニターが赤色点滅（3回）した場合は、内部に異常が発生しています。販売店に修理をご依頼ください。
- 電源モニターが赤色点滅（1回）した場合はランプユニット収納扉が正しく取り付けできていません。ランプユニット収納扉の取り付けを確認してください。

エアーフィルターの清掃と交換

エアーフィルターにほこりがたまり過ぎると、オンスクリーンの左下に「エアフィルター清掃」※が表示され、温度モニター(TEMP)が1回点滅します。さらにエアーフィルターにほこりがたまると本体内部温度が高温になり、温度モニター(TEMP)が2回点滅し、電源が切れます。
使用場所により異なりますが、エアーフィルター部の清掃は約100時間を目安に行ってください。

※ 電源を入れて3分間以内に、30秒間のみ表示されます。表示中に本体後面操作ボタンまたはリモコンのボタンのいずれかを押すと表示が消えます。

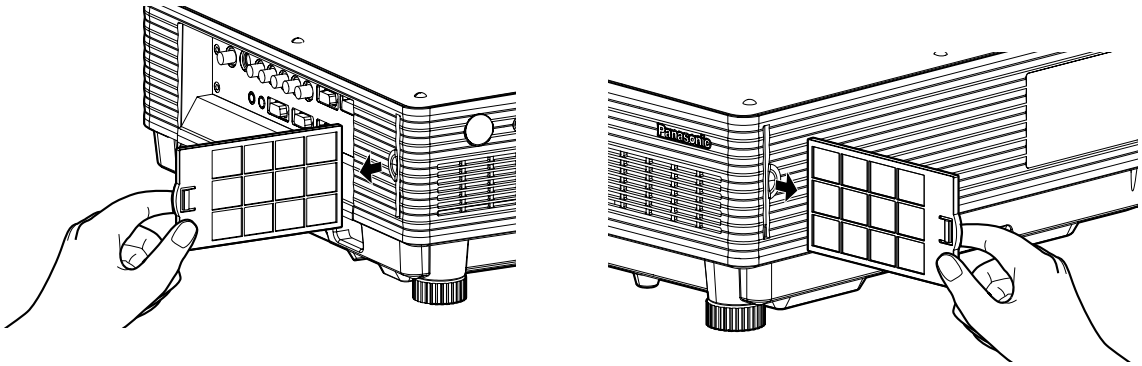
■ 清掃手順

① 主電源を切り電源プラグをコンセントから抜く。

23ページの「電源の切りかた」の手順を守り、主電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

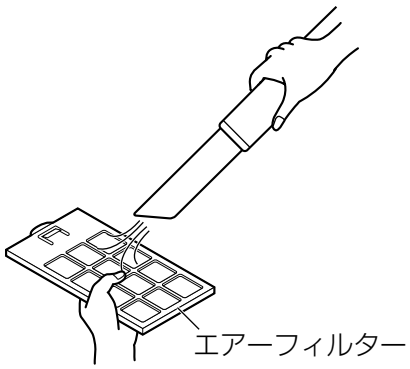
② エアーフィルターを外す。

エアーフィルターは左右2か所にあります。
エアーフィルターのツメを指で引っ張りながら本体から外します。



③ エアーフィルターを掃除する。

たまったほこりを掃除機で吸い取ります。



お願い
- エアーフィルターを吸い込まないようにしてください。
- エアーフィルターは水洗いしないでください。水洗いすると、ほこりの防止能力が低下します。

④ エアーフィルターを取り付ける。

②と逆の方法でエアーフィルターを取り付けます。

お願い
- フィルター素材が後ろになるように入れてください。
  （左右のフィルターはそれぞれ同じ形状です。）
- エアーフィルターは必ず取り付けてご使用ください。
  エアーフィルターを取り付けずに使用すると、ゴミやほこりを吸い込み、故障の原因となります。

お知らせ
- 掃除をしてもほこりが取れなくなったらエアーフィルターの交換時期です。販売店にご相談ください。また、ランプユニットの交換の際は、あわせてエアーフィルターも交換してください。
- エアーフィルターは、必ず、専用のものをご使用ください。

ランプユニットの交換

⚠警告

ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1時間以上待って）行う
カバー内部がかなり熱く、やけどの原因になります。

ランプユニットは必ず2ユニット装着する

ランプユニット交換上のお願い

主電源を切ったあと、コンセントから電源プラグを抜き、ランプユニット近辺が冷えていることを確認してください

- 光源ランプは内部気圧が高く、堅い物に当てたり、落下させると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した古いランプユニットは、乱雑に取り扱うと破裂する場合があります。
  処分は産業廃棄物処理業者にご依頼ください。
- 交換時期を超えたランプを使用し続けると、ランプが破裂する場合があります。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。ドライバー使用時は手をすべらせないようご注意ください。

お知らせ
- ランプユニットが2ユニット装着されていない場合は電源オンできません。
- ランプユニットは別売り部品です。販売店にご相談ください。（サービス部品扱い）
  ランプユニット品番：ET-LAD57（1灯）　ET-LAD57W（2灯）
- 上記のランプ以外は使用しないでください。

■ ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。交換の目安は2 000時間※1ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境などの影響を受けて、2 000時間※1に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めのランプユニットの準備をお勧めします。
2 000時間※1を過ぎると、ランプが破裂する可能性が高くなるため、ランプは自動的に消灯します。

	オンスクリーン表示 	ランプモニター
1 800時間※2以降	30秒間表示されます。いずれかのボタンを押せば表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。
2 000時間※1以降	いずれかのボタンを押さない限り表示は消えません。	

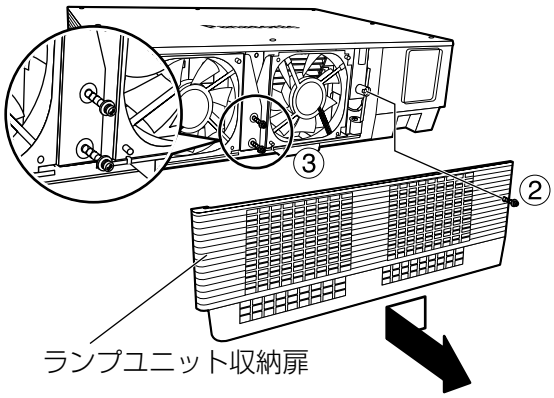
※1 ランプ出力「高」設定のみで使用された場合のランプ使用時間です。ランプ出力「低」設定のみで使用された場合は3 000時間となります。ランプ出力「高」と「低」を切り換えて使用された場合は下記換算式のランプ使用時間が2 000時間となった場合となります。
ランプ使用時間＝ランプ出力「高」使用時間＋（ランプ出力「低」使用時間×2÷3）

※2 ランプ出力「高」設定のみで使用された場合のランプ使用時間です。ランプ出力「低」設定のみで使用された場合は2 700時間となります。ランプ出力「高」と「低」を切り換えて使用された場合は下記換算式のランプ使用時間が1 800時間となった場合となります。
ランプ使用時間＝ランプ出力「高」使用時間＋（ランプ出力「低」使用時間×2÷3）

■ ランプユニットの交換手順

① 23ページの「電源の切りかた」の手順を守り、主電源を切ったあと、コンセントから電源プラグを抜き、ランプユニット近辺が冷えていることを確認する。

ファンの回転が停止していることを確認してください。

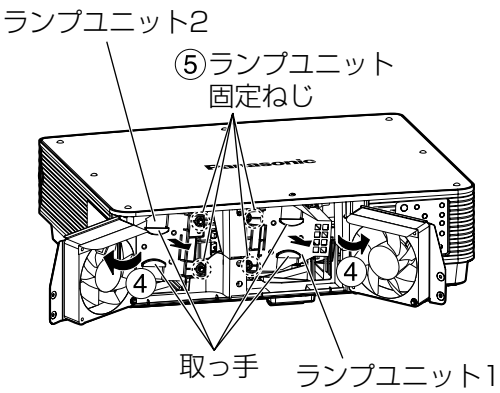


あらかじめプラスドライバーを用意してください。

② ランプユニット収納扉固定ねじ（1本）を外し、ランプユニット収納扉を少し左にスライドして外す。

③ ファンユニット固定ねじ（2本）を外す。

お知らせ • ③のねじは完全に抜け落ちないような構造になっています。



④ ファンユニットを図のように開ける。

⑤ ランプユニット固定ねじ（それぞれ2本ずつ）を外し、取っ手をつまんでランプユニットを取り出す。

⑥ 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込む。

⑦ ランプユニット固定ねじ（それぞれ2本ずつ）をプラスドライバーでしっかりと締めつける。

⑧ ファンユニット固定ねじ（2本）をしっかりとめる。

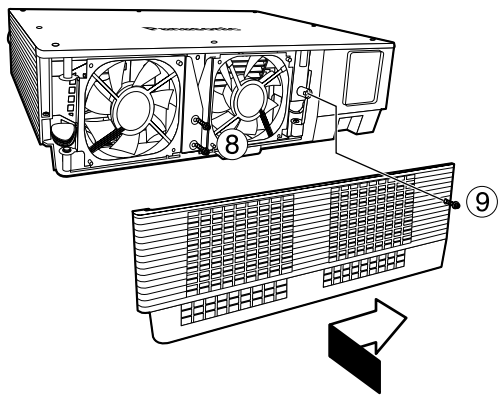
⑨ 扉を少し右へスライドして、ランプユニット収納扉固定ねじでしっかりとめる。

お願い • ランプユニットや、ランプユニット収納扉は確実に取り付けてください。ランプユニットやランプ収納扉の取り付けが不完全だと、保護回路が動作し電源が入りません。

⚠注意

使用直後のランプユニットは高温なので注意する

触るとやけどの原因になります。



天つり金具取り付け時の注意事項

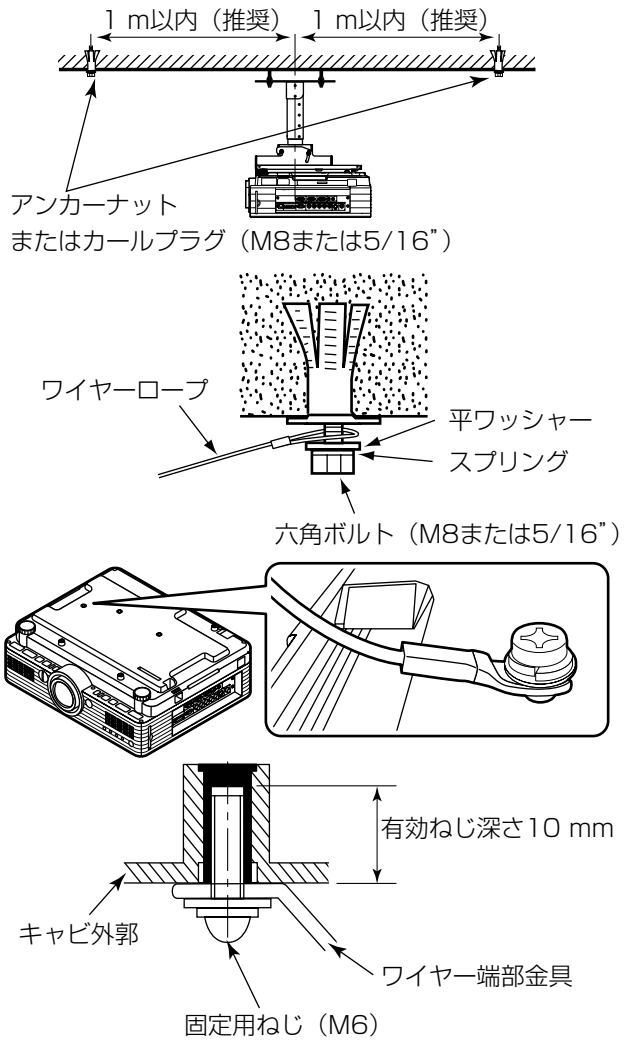
付属品に以下のものが同梱されています。

天吊用落下防止具　[TTRA0146]	
ワイヤーロープ（1本）	ワイヤー止めM6ねじ （首下長さ：10 mm）（1本）

本製品に天つり金具を使用して取り付けする場合は、付属のワイヤーロープをプロジェクター本体の底面に取り付けご使用いただきます様にお願いします。（安全性には問題ありませんが万一ねじが緩んでいた場合など、不慮の事故を防止するために必要です。）

工事は下の工事手順に従い工事の専門技術者にご依頼してください。

- 当社製以外の天つり金具ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保障期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ねじ類の締めつけの際はトルクドライバーなどを使用し、電動ドライバー・インパクトドライバーを使用しないでください。
- ご使用を終了した製品は工事の専門技術者にご依頼の上、速やかに撤去してください。



＜工事手順＞

① 天つり金具の工事説明書に従い、プロジェクターに取り付け金具を取り付けてください。

② 市販品のアンカーナットまたはカールプラグ（M8または5/16”）をしっかりした天井面（左図の位置）に、本体付属のワイヤーロープがたるまない位置に取り付けてください。

③ アンカー部にワイヤーロープの輪を通して、六角ボルトを締め付けてください。

④ ワイヤーの先端の金具を付属のワイヤー止めM6ねじで本体の固定穴に締め付けて固定してください。

※ 万一、同梱のねじが紛失などにより、なくなった場合は、下記のねじをご使用ください。
ねじ径：M6　　首下長さ：10 mm
（セット側の有効ねじ深さは10 mmです。）

※ 同様に専用天つり金具を固定するねじも紛失された場合は下記のねじをご使用ください。
ねじ径：M6　　首下長さ：10 mm
（セット側の有効ねじ深さは10 mmです。）
締め付けねじトルク：4±0.5 N·m（6 mmの場合）

修理を依頼される前に･･･もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください
電源が入らない	・電源コードがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ・主電源(MAIN POWER)スイッチが「○」側になっていませんか。 ・コンセントに電源がきていますか。 ・本機前面の温度モニター(TEMP)が点灯または点滅していませんか。(52ページ) ・本機前面のランプモニター(LAMP)が点灯または点滅していませんか。(52ページ) ・ランプユニット収納扉は完全に取り付けられていますか。 ・ID設定の操作を間違えていませんか。(15、36ページ)
映像が出ない	・レンズキャップがかぶさったままではありませんか。 ・映像入力は正しく接続されていますか。 ・入力切り換えの設定が正しくなっていますか。(22ページ) ・黒レベル調整が最小になっていませんか。(28ページ) ・本機に接続している機器は正常に動作していますか。 ・シャッター機能を使用していませんか。(25ページ)
映像がボヤけている	・レンズのフォーカスは合っていますか。(24ページ) ・投写距離は適切ですか。(17、18ページ) ・レンズが汚れていませんか。 ・本機がスクリーンに対して直角に設置されていますか。(16ページ)
色が薄い／色あいが悪い	・色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。(28ページ) ・本機に接続している機器は正しく調整されていますか。
リモコンが働かない	・乾電池が消耗していませんか。 ・極性は正しくセットされていますか。(14ページ) ・リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。(14ページ) ・リモコン有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。(14ページ) ・リモート2入力(REMOTE 2 IN)端子を使って外部制御を行っていませんか。(51ページ) ・外光などの影響を受けていませんか。 ・ID設定の操作を間違えていませんか。(15、36ページ) ・オンスクリーン表示機能が「切」になっていませんか？（9ページ）
正常な映像が映らない	・入力切り換えが正しく行われていますか。(22ページ) ・信号方式（システムセレクター）の選択は正しく行われていますか。(29ページ) ・ビデオテープなどソース側に異常はありませんか。 ・本機が対応できない信号を入力していませんか。(60ページ)
パソコンからの映像が映らない	・ケーブルが長過ぎませんか。 ・パソコンの映像信号出力先が正しく設定されていますか。 (詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照ください)

仕様

品番		PT-D5700	PT-D5700L	PT-DW5100	PT-DW5100L
使用電源		AC100 V　50 Hz／60 Hz			
消費電力		770 W(スタンバイ時 約10 W　ただし、ファン停止時)			
消費電流		8 A			
DLP™パネル	パネルサイズ	0.7 型(アスペクト比 4:3)		0.65 型(アスペクト比 15:9)	
	表示方式	DLP™チップ 1 枚 DLP™方式			
	画素数	786 432 画素(1 024×768 ドット)		983 040 画素(1280×768 ドット)	
レンズ	電動ズーム	1～1.32 倍	オプション	1～1.32 倍	オプション
	電動フォーカスレンズ	F＝1.7～2.0 f＝25.6 mm ～33.8 mm		F＝1.7～2.0 f＝25.6 mm ～33.8 mm	
光源ランプ		275 W UHMランプ×2 灯			
光出力		6 000 lm※1		5 500 lm※1	
対応走査周波数	ビデオ信号時(Sビデオ含む)	水平 15.73 kHz／15.63 kHz　垂直 59.94 Hz／50 Hz			
	RGB信号時	水平 15 kHz～91 kHz　垂直 50 Hz～85 Hz　PIAS(Panasonic Intelligent Auto Scanning)方式 ドットクロック周波数 150 MHz以下			
	DVI-D信号時	HDCP※2対応 480p、576p、1080/60i、1080/50i、720/60p、720/50p、1080/60p、1080/50p VGA60、SVGA60、XGA50、XGA60、XGA70、XGA75、XGA85、XGA89、WXGA768/50、WXGA768/60、SXGA60			
	YPBPR信号時	[480i]　水平 15.73 kHz　垂直 59.94 Hz [480p]　水平 31.5 kHz　垂直 59.94 Hz [1035/60i]　水平 33.75 kHz　垂直 60 Hz [1080/60i]　水平 33.75 kHz　垂直 60 Hz [1080/50i]　水平 28.13 kHz　垂直 50 Hz		[576i]　水平 15.63 kHz　垂直 50 Hz [576p]　水平 31.25 kHz　垂直 50 Hz [720/60p]　水平 45 kHz　垂直 60 Hz [720/50p]　水平 37.5 kHz　垂直 50 Hz [1080/60p]　水平 67.5 kHz　垂直 60 Hz [1080/50p]　水平 56.25 kHz　垂直 50 Hz • HD/SYNC、VD端子は、3値SYNCには対応していません。	
カラー方式		7 方式(NTSC／NTSC4.43／PAL／PAL-N／PAL-M／SECAM／PAL60)			
投写画面サイズ		50～600 型※3			
画面アスペクト比		4:3		15:9	
投写方式		フロント／リア／天つり／床置 (メニュー設定方式)			
コントラスト比		2 000：1 (「コントラストモード」が「高」のとき)			
接続端子	RGB1入力端子	1系統　BNC×5 [YPBPR入力時]　Y：1.0 V[p-p]　同期信号を含む、PBPR：0.7 V[p-p]　75 Ω [RGB入力時]　0.7 V[p-p]　75 Ω G-SYNC時　1.0 V[p-p]　75 Ω HD/SYNC　TTL　ハイインピーダンス　正／負極性自動対応 VD　TTL　ハイインピーダンス　正／負極性自動対応 • HD/SYNC、VD端子は、3値SYNCには対応していません。			

※1 PT-D5700、PT-DW5100に付属のレンズの値です。レンズによって値は異なります。

※2 HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)
HDCPはコンテンツ保護を目的に開発されたデジタル画像信号の暗号方式です。

※3 ET-DLE050レンズ使用時は最大200型になります。

品番		PT-D5700	PT-D5700L	PT-DW5100	PT-DW5100L
接続端子	RGB2入力端子	1系統　高密度D-Sub 15p(メス) [YPBPR入力時]　Y：1.0 V[p-p]　同期信号を含む、PBPR：0.7 V[p-p]　75 Ω [RGB入力時]　0.7 V[p-p]　75 Ω G-SYNC時　1.0 V[p-p]　75 Ω HD/SYNC　TTL　ハイインピーダンス　正／負極性自動対応 VD　TTL　ハイインピーダンス　正／負極性自動対応 • HD/SYNC、VD端子は、3値SYNCには対応していません。			
	ビデオ入力端子	1系統　BNC　1.0 V[p-p]　75 Ω			
	Sビデオ入力端子	1系統　Mini DIN 4p　Y　1.0 V[p-p]、C　0.286 V[p-p]　75 Ω　S1信号に対応			
	シリアル入出力端子	D-Sub 9p(メス/オス)各1系統　RS-232C準拠　パソコン制御用			
	リモート1入出力端子	M3ステレオミニジャック　各1系統　ワイヤードリモコン、連結制御用			
	リモート2入力端子	1系統　D-Sub 9p(メス)　外部制御用			
	DVI-D入力端子	1系統　DVI-D 24p　シングルリンク　HDCP対応			
	LAN端子	1系統　RJ-45　PJLink™対応			
電源コードの長さ		3.0 m			
キャビネット		樹脂成形品			
外形寸法		横幅：530 mm　高さ：167 mm　奥行：425 mm			
質量		13.9 kg	13.1 kg	13.9 kg	13.1 kg
使用環境条件		使用環境温度※4　：0 ℃～45 ℃ 使用環境湿度　：20 %～80 %(結露のないこと)			
リモコン	使用電源	DC 3 V(単3形乾電池 2コ)			
	操作距離	約30 m(受光部正面)			
	質量	134 g(乾電池含む)			
	外形寸法	横幅：51 mm　厚さ：23 mm　奥行：176 mm			
別売品	天つり金具	高天井用：ET-PKD56H 低天井用：ET-PKD55S			
	投写レンズ	ET-DLE100、ET-DLE200、ET-DLE300、ET-DLE400、ET-DLE050		ET-DLE100、ET-DLE200、ET-DLE310、ET-DLE410、ET-DLE050	
	交換用ランプユニット	ET-LAD57(1灯)、ET-LAD57W(2灯)			

- 外形寸法はレンズなどの突起部を含みません。詳しくは62ページをご覧ください。
- 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書2に基づいています。
- 本機を使用できるのは、日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
  (This DLP™ based Projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

※4 高地(1 400 m～2 700 m)で使用する場合、使用環境温度の上限は5 ℃低くなります。

対応信号リスト

表示モード		解像度（ドット）※1	走査周波数 水平 (kHz)	走査周波数 垂直 (Hz)	ドットクロック周波数 (MHz)	画質※2	フォーマット
NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60		720×480i	15.7	59.9		A	VIDEO/S-VIDEO
PAL/PAL-N/SECAM		720×576i	15.6	50.0		A	VIDEO/S-VIDEO
480i		720×480i	15.7	59.9	13.5	A	YP_BP_R/RGB
576i		720×576i	15.6	50.0	13.5	A	YP_BP_R/RGB
480p		720×483	31.5	59.9	27.0	A	YP_BP_R/RGB/DVI
576p		720×576	31.3	50.0	27.0	A	YP_BP_R/RGB/DVI
1080/60p		1 920×1 080	67.5	60.0	148.5	A	YP_BP_R/RGB/DVI
1080/50p		1 920×1 080	56.3	50.0	148.5	A	YP_BP_R/RGB/DVI
1080/60i		1 920×1 080i	33.8	60.0	74.3	A	YP_BP_R/RGB/DVI
1080/50i		1 920×1 080i	28.1	50.0	74.3	A	YP_BP_R/RGB/DVI
720/60p		1 280×720	45.0	60.0	74.3	A	YP_BP_R/RGB/DVI
720/50p		1 280×720	37.5	50.0	74.3	A	YP_BP_R/RGB/DVI
VGA400		640×400	31.5	70.1	25.2	A	RGB
		640×400	37.9	85.1	31.5	A	RGB
VGA480	※3	640×480	31.5	59.9	25.2	A	RGB/DVI
		640×480	35.0	66.7	30.2	A	RGB
		640×480	37.9	72.8	31.5	A	RGB
		640×480	37.5	75.0	31.5	A	RGB
		640×480	43.3	85.0	36.0	A	RGB
SVGA		800×600	35.2	56.3	36.0	A	RGB
	※3	800×600	37.9	60.3	40.0	A	RGB/DVI
		800×600	48.1	72.1	50.0	A	RGB
		800×600	46.9	75.0	49.5	A	RGB
		800×600	53.7	85.1	56.3	A	RGB
MAC16		832×624	49.7	74.6	57.3	A	RGB
XGA	※3	1 024×768	39.6	50.0	51.9	AA	RGB/DVI
	※3	1 024×768	48.4	60.0	65.0	AA	RGB/DVI
		1 024×768	56.5	70.1	75.0	AA	RGB/DVI
		1 024×768	60.0	75.0	78.8	AA	RGB/DVI
		1 024×768	68.7	85.0	94.5	AA	RGB/DVI
		1 024×768i	35.5	87.0	44.9	AA	RGB
MXGA		1 152×864	64.0	71.2	94.2	A	RGB
		1 152×864	67.5	74.9	108.0	A	RGB
		1 152×864	76.7	85.0	121.5	A	RGB
WXGA	※3	1 280×800	41.3	50.0	68.6	A	RGB
	※3	1 280×800	49.7	59.8	83.5	A	RGB
	※3	1 280×768	39.6	50.0	65.2	AA※4	RGB/DVI
	※3	1 280×768	47.7	60.0	80.1	AA※4	RGB/DVI
MAC21		1 152×870	68.7	75.1	100.0	A	RGB
MSXGA	※3	1 280×960	60.0	60.0	108.0	A	RGB
SXGA	※3	1 280×1 024	64.0	60.0	108.0	A	RGB/DVI
		1 280×1 024	80.0	75.0	135.0	A	RGB
		1 280×1 024	91.1	85.0	157.5	B	RGB
	※3	1 400×1 050	64.0	60.0	108.0	A	RGB/DVI
UXGA	※3	1 600×1 200	75.0	60.0	162.0	B	RGB

※1 解像度の後ろの“i” は、インターレース信号を意味します。

※2 画質を表す記号は下記の通りです。
AA＝最高の画質で投写します。（PT-D5700/PT-D5700LはXGAのとき、PT-DW5100/PT-DW5100LはXGA及びWXGA1 280×768のとき）
A＝画像処理回路で変換し投写します。B＝データを間引いて簡易投写します。

※3 フレームロック機能に対応している信号です。

※4 PT-D5700/PT-D5700LではAになります。

お知らせ
- 表示ドット数はPT-D5700/PT-D5700Lの場合は1 024×768、PT-DW5100/PT-DW5100Lの場合は1 280×768です。上記データで表示ドット数が異なる信号はPT-D5700/PT-D5700Lの場合は1 024×768、PT-DW5100/PT-DW5100Lの場合は1 280×768ドットに変換されて表示します。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

1.保証書（別添付）

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

2.保証期間

お買い上げ日から本体1年間。ただし、光源ランプは6カ月または600時間の早い方。

3.修理を依頼されるとき

57ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。
ただし、プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

注）補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

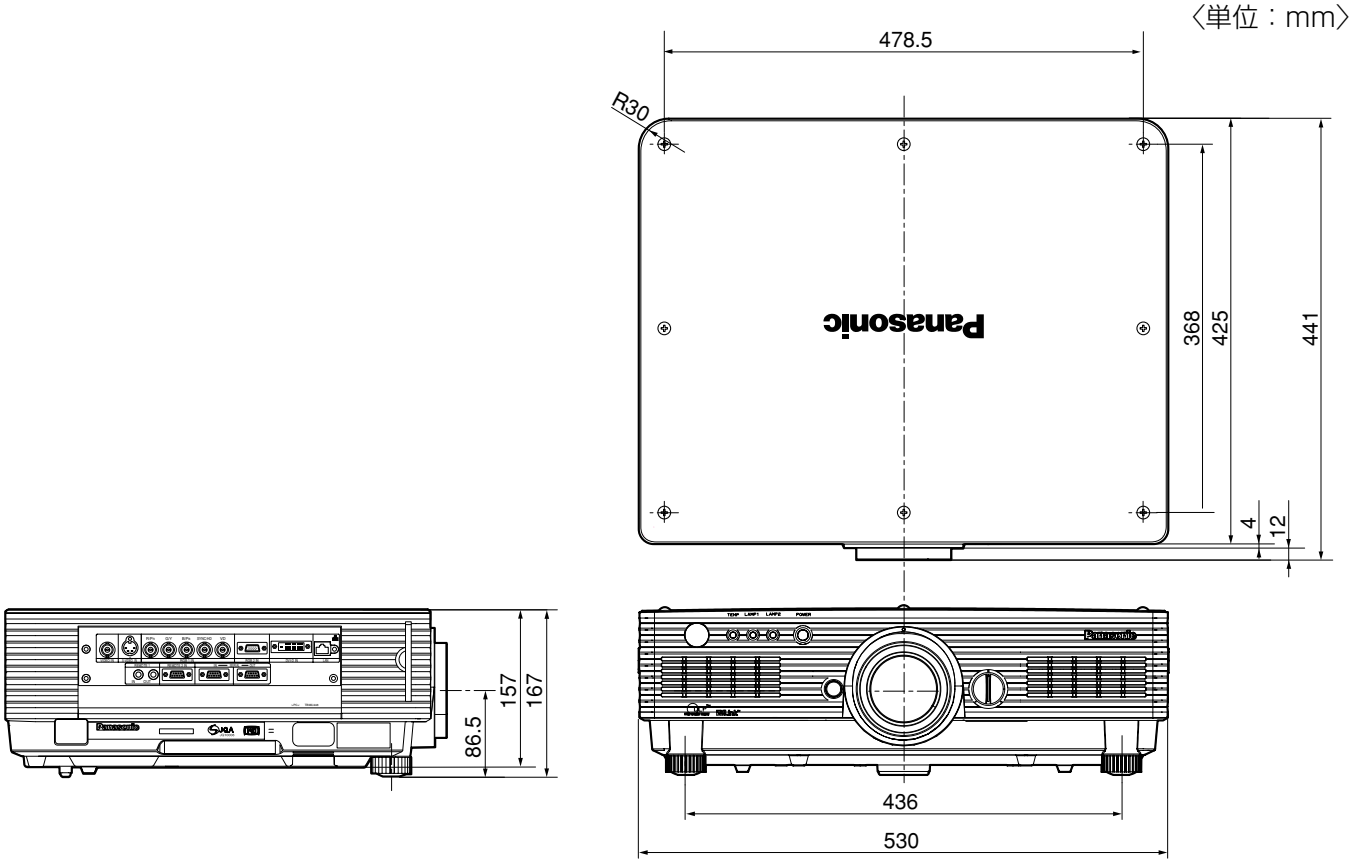
4.ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

松下電器産業株式会社および関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話をさせていただくときのために、ナンバーディスプレイを採用している場合があります。当社は、お客様の個人情報を、適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問合せはご相談された窓口にご連絡ください。

修理を依頼されるときにご連絡いただきたい内容	
ご　氏　名	
ご　住　所	付近の見取図、目印など。
電　話　番　号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番 お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または 異常の内容	11ページのモニター部の内容も含め、できるだけ詳しくお願いします。
訪問ご希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

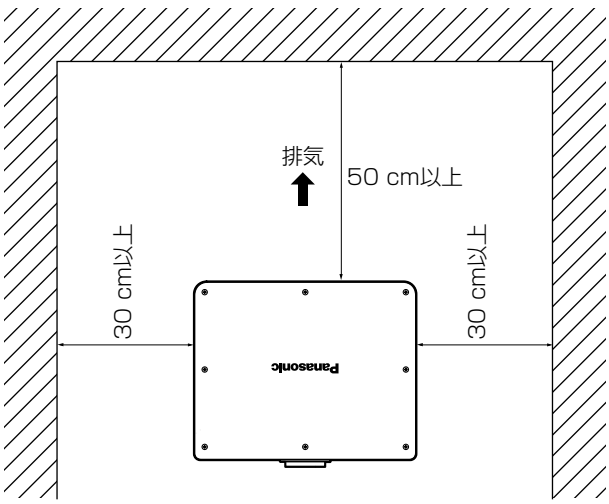
外形寸法図

〈単位：mm〉

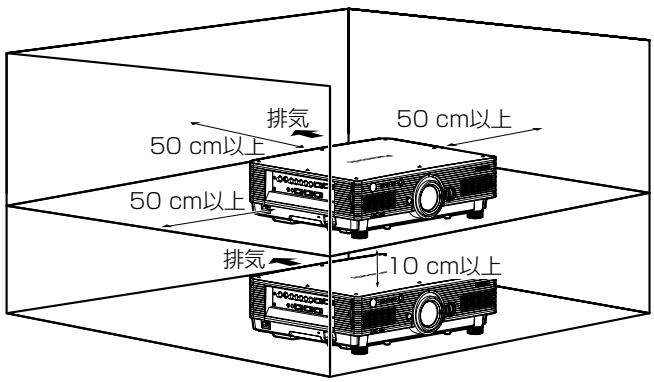


設置寸法図

（図1：1台で使用する場合）



（図2：2台で使用する場合）



お願い

- 後面の排気口をふさがないように 50 cm以上の隙間をあけて設置してください。
- 本体の後側は空気の滞留が生じないようにしてください。また、排気口から出た熱が吸気口に回り込まないようにしてください。
- エアーフィルターの取り外し、取り付けを行うために、側面の隙間を30 cm以上あけて設置してください。
- プロジェクターをボックスに入れて運用する場合、運転状態でボックス内の周囲温度が0 ℃～40 ℃の範囲内になるようにしてください。また、排気口、吸気孔をふさがないようにしてください。周囲温度が40 ℃以下の場合でも、排気熱が内部に滞留することによって本体の保護回路が働き、シャットダウンする場合があります。周囲温度環境については十分な設計考慮をお願い致します。（図2）

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2 に適合しています。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

注意

お客様は、本ソフトウェア（プロジェクターに内蔵されているマイコン、ROMなどに記録された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。
本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証を致しません。

商標について

- VGA、XGAは米国International Business Machines Corporationの商標です。
- S-VGAはVideo Electronics Standards Associationの商標または登録商標です。
- Microsoft Windowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- Netscape及びNetscape NavigatorはNetscape Communicationsの米国及びその他の国における登録商標です。
- Digital Light Processing、DLP、DLP™ CHIPはTexas Instrumentsの登録商標です。
- PJLink™は、日本、米国、その他の国や地域における出願商標または登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia interfaceはHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

Panasonic

高輝度DLP™方式プロジェクター　PT-D5700　PT-D5700L　PT-DW5100　PT-DW5100L　取扱説明書

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	**お買い上げ日**	年　月　日	**品　番**	PT-D5700 PT-D5700L PT-DW5100 PT-DW5100L
	販 売 店 名	☎（　　）　－		

松下電器産業株式会社　システム事業グループ

〒571-8503　大阪府門真市松葉町2番15号　☎（06）6901－1161

© 2007　Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.（松下電器産業株式会社）All Rights Reserved.

M0507-3077